

METASEQUOIA

(山口大学保健管理センター年報)

NO.24 2022・2023 年度



山口大学健康科学センター

巻 頭 言

保健管理センター年報「METASEQUOIA第24号」を発行できました。この年報は、保健管理センターの活動状況をまとめたもので、2年毎に定期的に発刊しています。日々の活動を振り返る良い機会であり、業務の見直しにも大変役立っています。今回の第24号は、2022・2023年度2年間分の年報で、PDF版として保健管理センターホームページに掲載しています。詳細は、本文をご参照ください。

保健管理センターでは、学生・教職員の健康増進・疾病予防だけでなく、大学構成員の心身の健康実態を把握・解析研究し、必要な健康サポート対策に取り組み、啓発活動に力を入れています。その活動の三本柱が、①健康診断の実施とその結果に基づく健康管理・健康増進支援、②心身の健康相談・支援、③安全衛生推進活動とその支援、となっており、病気の予防、健康確保の面から、学生・教職員個人、そして大学組織に対して、専門的な立場から支援・提案をしています。そのために、吉田・常盤・小串の3キャンパスにそれぞれ室を設け、多様化するニーズに対応するため、限られたスタッフが協力しながらフル活動しています。

従来と大きく違って、今回の年報集計期間は新型コロナウイルス感染症パンデミック、いわゆる“コロナ禍”が終息し始めた時期でした。健康診断実施方法や日程の大幅な変更を行った後で、徐々に元の実施に戻していく過渡期となっております。

各学生・教職員が日々できるだけ充実したキャンパス生活を送ることができるように、保健管理センターは大学構成員の皆様方をサポートしたいと考えており、日ごろの健康予防教育・啓発活動は、生涯健康を守るためだけではなく、人間力をつけるためにも重要だと考えて、益々精進して、頑張っていきたいと思っています。

また今回までで保健管理センターの名称もなくなり、2024年度より新しく「健康科学センター」と名称変更と新しい教員の赴任等組織再編成され、コロナ禍で培った経験より健康診断実施方法や日程等今までの様々な保健管理センターでの取り組みを大幅に変更して、コロナ禍後の新しい時代に沿う効率的なシステムや方策を導入して、新しい取り組みを行っていく予定です。

今後とも、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

(山口大学 健康科学センター長 山本 直樹)

目 次

巻頭言 山口大学健康科学センター長 山本 直樹

I 学生の健康管理

1. 定期健康診断	1
1) 対象と概要	
2) 受診状況	
(1) 2022 年度	
(2) 2023 年度	
3) 新入生健康診断	
(1) 新入生健康調査	
(2) 新入生健康診断概況	
(3) 新入生健康診断結果	
① 身長・体重計測	
② 血圧測定	
③ 尿検査	
④ 胸部 X 線検査	
⑤ 内科・問診（自覚症状および既往歴等）	
⑥ 心電図検査	
4) 在学生健康診断	
(1) 学部生健康診断概況	
(2) 学部生健康診断結果	
① 身長・体重計測	
② 血圧測定	
③ 尿検査	
④ 聴力検査	
⑤ 胸部 X 線検査	
⑥ 心電図検査	
⑦ 内科・問診（自覚症状および既往歴等）	
(3) 大学院生健康診断概況	
(4) 大学院生健康診断結果	
① 身長・体重計測	
② 血圧測定	
③ 尿検査	
④ 聴力検査	
⑤ 胸部 X 線検査	
⑥ 心電図検査	
⑦ 内科・問診（自覚症状および既往歴等）	
5) 秋季入学生健康診断	
(1) 対象と概要	
(2) 受診状況	
2. 特別健康診断	24
1) スポーツ関係者健康診断	
(1) 対象と概要	
(2) 受診状況	

- 2) 獣医師免許取得のための健康診断
 - (1) 対象と概要
 - (2) 受診状況
- 3) 肺結核接触者健康診断
 - (1) 対象と概要
 - (2) 受診状況
- 4) 帰国後健康状況チェック
 - (1) 対象と概要
 - (2) 受診状況

II 職員の健康管理

1. 定期健康診断	29
1) 対象と概要	
2) 受診状況	
(1) 職員健康診断概況	
(2) 体格(BMI)	
(3) 血圧測定	
(4) 尿検査	
(5) 聴力検査	
(6) 胸部X線検査	
(7) 血液検査	
(8) 心電図検査	
2. 特定業務従事者健康診断	41
1) 対象と概要	
2) 方法と手順	
3) 受診状況	
3. 特殊健康診断(電離放射線)	43
1) 対象と概要	
2) 方法と手順	
3) 受診状況	
4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)	46
1) 対象と概要	
2) 方法と手順	
3) 受診状況	
5. がん検診等	49
1) 対象と概要	
2) 受診状況	

III 山口大学の安全衛生管理

1. 安全衛生管理体制	54
2. 山口大学における主な取り組み	55
3. 安全衛生に関する日常業務内容	57
1) 学内巡視	
2) 作業環境測定	
3) ひやりはつと報告	
4) 安全衛生教育	
5) 安全衛生委員会等	

IV 特別事業報告

1. 研究業績一覧	58
2. 研究費等交付	60
3. 講演その他	61
4. 保健管理センター便り発行	63

V 保健管理センター利用状況

1. 医療機関紹介	64
1) 山口地区	
2) 常盤地区	
3) 小串地区	
2. 月別利用状況内訳	67
1) 2022 年度	
2) 2023 年度	
3) 2022. 2023 年度（全地区）	
3. 健康診断証明書発行状況	74
1) 2022 年度	
2) 2023 年度	
4. カウンセリング相談件数(山口地区)	76
1) 2022 年度	
①各学部・学年の対象者別の相談件数（新規のみ）	
②相談内容別の回数（新規・継続）	
2) 2023 年度	
①各学部・学年の対象者別の相談件数（新規のみ）	
②相談内容別の回数（新規・継続）	

VI 保健管理センターの業務その他

1. 保健管理センターの業務内容	80
2. 保健管理センターの関係職員	80
3. 保健管理センターの年間主要行事	81

I 学生の健康管理

I 学生の健康管理

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、本学に在籍する全ての学生(学部生、大学院生、留学生、研究生等)を対象として、健康診断を年1回実施している。

本学は、山口市(吉田地区)と宇部市(常盤地区、小串地区)にキャンパスが分散している。吉田地区には人文学部・教育学部・経済学部・理学部・農学部・共同獣医学部・国際総合科学の7学部、常盤地区には工学部、小串地区には医学部があり、キャンパスごとに健診会場を設けて実施している。各地区の健康診断は、健診スタッフや健診機器台数の都合上、実施時期が重ならないよう計画・調整している。なお、健康診断の実施、方法および技術的基準については、学校保健安全法および学校保健安全法施行規則に準拠して行っている。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、2020年度から実施時期や方法、検査項目の見直し、時間あたりの受診者数調整等を行ってきたが、2022年度、2023年度も引き続き同様の対策を行い、受診者の不織布マスク着用、受付前の体調確認、消毒等を励行しながら健康診断を実施している。

①新入生健康診断：全学部新入生を対象に実施

2022年度	健診会場	保健管理センター(事務局1階、リフレッシュルーム)
	実施期間	4/11~4/20(土日を除く、4/20は午前のみ)
	備考	入学後に実施、4/19, 20は在学生・新入生とも受診可
2023年度	健診会場	保健管理センター(事務局1階、リフレッシュルーム)
	実施期間	4/12~4/21(土日を除く、4/21は午前のみ)
	備考	入学後に実施

②在学生健康診断：2年生以上の学部生、大学院生(大学院新入生含む)、留学生、研究生等を対象に実施

2022年度	吉田地区	健診会場	保健管理センター(事務局1階、リフレッシュルーム)
		実施期間	①4/4~4/8 ②4/19, 4/20(4/20は午前のみ) ③5/24~5/26, 5/31, 6/1
	常盤地区	健診会場	本館西1階セミナー室、会議棟
		実施期間	4/22~4/28(土日を除く)
	小串地区	健診会場	医学部福利厚生棟(医心館)
		実施期間	①5/9・5/10 ②6/8・6/10(②は午後のみ)
備考	・3地区ともWeb予約システム導入		
2023年度	吉田地区	健診会場	保健管理センター(事務局1階、リフレッシュルーム)
		実施期間	①4/5~4/11(土日を除く)、②5/23~5/25, 5/30, 5/31
	常盤地区	健診会場	本館西1階セミナー室、会議棟
		実施期間	4/25~5/1(土日祝を除く、5/1は午前のみ)
	小串地区	健診会場	医学部福利厚生棟(医心館)
		実施期間	①5/8・5/9、②6/7・6/9(②は午後のみ)
備考			

【検査項目・対象者】

表1 各検査の対象者および検査項目

	身長	体重	視力	聴力	血圧	尿検査	心電図	内科診察	胸部X線	問診	備考
新入生	◎	◎	-	-	◎	◎	○	○	◎	◎	心理検査(UPI・SDS等)を全員に実施
学部生	◎	◎	-	-	◎	◎	○	○	△	◎	
留学生 研究生等	◎	◎	-	-	◎	◎	○	○	◎	◎	全員に内科診察を促す

※◎印は全員（必須項目）、○印は看護職による問診で振分基準に基づき健診当日に指示された者、△印は必須ではないが毎年検査を受けるように指示された学生、および当該年度中に健康診断証明書が必要になる学生

※胸部X線検査は必須としていないが、全員に受診を勧奨

※視力・聴力検査は健康診断時には実施していないが、希望する場合や健康診断証明書が必要な場合に後日実施

2) 受診状況

2022年度及び2023年度の学部別定期健康診断受診状況を表2～7に示した。

(受診状況には学外医療機関受診し、結果を提出した学生(2022年度66名、2023年度48名)を含む)

(1) 2022年度

①学部新入生

表2 新入生受診状況(2022年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	全体
受診者数	192	190	351	217	106	32	105	227	545	1965
対象者数	192	190	353	221	107	32	105	227	551	1978
受診率	100.0	100.0	99.4	98.2	99.1	100.0	100.0	100.0	98.9	99.3

※未受診者内訳:入学辞退3名、入学後休学5名、未受診2名

②学部在学学生

表3 在学学生受診状況(2022年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	学部全体
受診者数	454	543	636	389	239	142	254	939	1128	4724
対象者数	620	591	1139	707	318	173	332	975	1801	6656
受診率	73.2	91.9	55.8	55.0	75.2	82.1	76.5	96.3	62.6	71.0

学部		2年	3年	4年	5年	6年	非正規生	学部全体	
吉田地区	人文学部	受診者数	146	130	171			7	454
		対象者数	199	184	229			8	620
		受診率	73.4	70.7	74.7			87.5	73.2
	教育学部	受診者数	186	171	182			4	543
		対象者数	189	187	200			15	591
		受診率	98.4	91.4	91.0			26.7	91.9
	経済学部	受診者数	176	168	282			10	636
		対象者数	340	348	436			15	1139
		受診率	51.8	48.3	64.7			66.7	55.8
	理学部	受診者数	135	90	163			1	389
		対象者数	221	259	225			2	707
		受診率	61.1	34.7	72.4			50.0	55.0
	農学部	受診者数	76	77	86			0	239
		対象者数	105	113	99			1	318
		受診率	72.4	68.1	86.9			0.0	75.2
	共同獣医学部	受診者数	25	24	33	24	35	1	142
		対象者数	31	33	35	28	36	10	173
		受診率	80.6	72.7	94.3	85.7	97.2	10.0	82.1
国際総合科学部	受診者数	89	62	88			15	254	
	対象者数	106	98	109			19	332	
	受診率	84.0	63.3	80.7			78.9	76.5	
小串地区	医学部	受診者数	234	233	235	112	125	0	939
		対象者数	249	241	238	115	131	1	975
		受診率	94.0	96.7	98.7	97.4	95.4	0.0	96.3
常盤地区	工学部	受診者数	366	359	399			4	1128
		対象者数	551	700	537			13	1801
		受診率	66.4	51.3	74.3			30.8	62.6
学部全体	受診者数	1433	1314	1639	136	160	42	4724	
	対象者数	1991	2163	2108	143	167	84	6656	
	受診率	72.0	60.7	77.8	95.1	95.8	50.0	71.0	

※集計には留年生・休学者を含む

③大学院生

表4 大学院生受診状況(2022年度)

	山口地区	常盤地区	小串地区	非正規性	全体
受診者数	274	649	28	1	952
対象者数	445	831	191	11	1478
受診率	61.6	78.1	14.7	9.1	64.4

※2022年4月入学大学院生のみ受診率 吉田:143/171(83.6%)、常盤:349/413(84.5%)、小串:35/47(74.5%)

※上記以外に鳥取大学連合農学研究科 山口大学配属学生 2名受診

(2) 2023年度

①学部新入生

表5 新入生受診状況 (2023年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	全体
受診者数	192	192	346	223	103	32	113	228	548	1977
対象者数	192	192	346	223	103	32	113	229	549	1979
受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.6	99.8	99.9

※未受診者内訳：休学2名

②学部在学生

表6 在学生受診状況 (2023年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	学部全体
受診者数	504	555	749	478	270	154	292	926	1169	5097
対象者数	620	600	1133	701	322	164	391	960	1800	6691
受診率	81.3	92.5	66.1	68.2	83.9	93.9	74.7	96.5	64.9	76.2

	学部	学年						非正規生	学部全体
		2年	3年	4年	5年	6年			
吉田地区	人文学部	受診者数	165	152	177			10	504
		対象者数	200	186	222			12	620
		受診率	82.5	81.7	79.7			83.3	81.3
	教育学部	受診者数	188	181	181			5	555
		対象者数	190	188	197			25	600
		受診率	98.9	96.3	91.9			20.0	92.5
	経済学部	受診者数	264	205	268			12	749
		対象者数	351	339	414			29	1133
		受診率	75.2	60.5	64.7			41.4	66.1
	理学部	受診者数	147	156	173			2	478
		対象者数	220	261	215			5	701
		受診率	66.8	59.8	80.5			40.0	68.2
	農学部	受診者数	85	83	101			1	270
		対象者数	114	98	108			2	322
		受診率	74.6	84.7	93.5			50.0	83.9
	共同獣医学部	受診者数	30	27	35	33	28	1	154
		対象者数	33	30	35	33	28	5	164
		受診率	90.9	90.0	100.0	100.0	100.0	20.0	93.9
国際総合科学部	受診者数	98	71	88			35	292	
	対象者数	105	106	120			60	391	
	受診率	93.3	67.0	73.3			58.3	74.7	
小串地区	医学部	受診者数	240	229	228	116	113	0	926
		対象者数	251	238	234	118	117	2	960
		受診率	95.6	96.2	97.4	98.3	96.6	0.0	96.5
常盤地区	工学部	受診者数	383	396	384			6	1169
		対象者数	545	742	500			13	1800
		受診率	70.3	53.4	76.8			46.2	64.9
学部全体	受診者数	1600	1500	1635	149	141	72	5097	
	対象者数	2009	2188	2045	151	145	153	6691	
	受診率	79.6	68.6	80.0	98.7	97.2	47.1	76.2	

※集計には留年生・休学者を含む

③大学院生

表7 大学院生受診状況 (2023年度)

	山口地区	常盤地区	小串地区	非正規生	全体
受診者数	352	674	46	2	1074
対象者数	452	854	192	7	1505
受診率	77.9	78.9	24.0	28.6	71.4

※2023年4月入学大学院生のみ受診率 吉田：142/174(81.6%)、常盤：286/353(81.0%)、小串：20/44(45.5%)

※上記以外に鳥取大学連合農学研究科 山口大学配属学生 3名受診

3) 新入生健康診断

(1) 新入生健康調査

本学では、新入生のメンタルスクリーニングとして、UPI (大学人格検査)、SDS (Zung 自己評価式うつ病尺度)、Eating Attitude Test-26 (EAT-26) を実施している。スクリーニングの目的は、発病する可能性の高い学生や罹病学生を入学後の早い時点で発見し、健康教育や保健指導を行うこと、必要な治療へつなげることである。

新入生健康診断前後の4~6月にかけてWeb上にて調査を行っている。Web調査での回答率は、2022年度は83.1%であったが、2023年度は69.9%にとどまり、今後の課題となった(表8)。

スクリーニングの呼出基準は、UPIとSDSに関しては、①「UPI-LS得点(UPI総得点からLieスコア得点を減算)が30点以上」および「SDS総得点が50点以上」、②「UPI質問項目25番(死にたくなる)にチェックしている」のいずれかに該当する学生が対象である。また、EAT-26に関しては、合計点20点以上もしくは無月経(既往含む)の項目に○をつけている学生が対象である。対象学生には、個別にメールまたは電話にて来室を促している。来室時に看護職がスクリーニング票を用いて問診を行い、呼出内容や問診内容に応じて、精神科医および公認心理師による面談を実施している。

2022年度及び2023年度の健康調査における呼出対象者数及びスクリーニング検査(面談)受診状況を表9~12に示した。呼び出し対象者の面談受診率は、2022年度、2023年度とも89.1%であった。未受診学生への働きかけも今後の課題である。

面談後の事後措置としては、「要治療」の判定となった者は2022年度が5名、2023年度が7名であった。

表8 新入生健康調査回答率

	2022年度			2023年度		
	対象者数	回答数	回答率%	対象者数	回答数	回答率%
人 文	192	174	90.6%	192	160	83.3%
教 育	190	161	84.7%	192	143	74.5%
経 済	353	294	83.3%	346	240	69.4%
理	221	176	79.6%	223	156	70.0%
医	227	204	89.9%	229	175	76.4%
工	551	445	80.8%	549	330	60.1%
農	107	87	81.3%	103	80	77.7%
共同獣医	32	27	84.4%	32	24	75.0%
国際総合科学部	105	76	72.4%	113	76	67.3%
合 計	1960	1922	83.1%	1979	1384	69.9%

表9 学部別・メンタルスクリーニングテスト別呼出対象者数（2022年度）

	EAT-26	UPI/SDS	U25のみ	US+U25	US+EAT	EAT+U25	EAT+US+U25	合計
人文	4	4	11	2	1	1	1	24
教育	5	1	5	1	0	0	0	12
経済	4	2	7	1	0	1	0	15
理	0	2	5	1	1	0	0	9
医	7	0	5	0	0	1	0	13
工	5	1	15	4	0	0	1	26
農	2	1	2	0	0	0	0	5
共同獣医	0	0	0	0	0	0	0	0
国際総合科学部	4	0	0	2	0	0	0	6
合計	31	11	50	11	2	3	2	110

表10 呼出対象者の面談受診状況及び事後措置（2022年度）

	呼出 対象者数	面談 受診者数	面談 受診率 (%)	事後措置			
				異常なし	要観察	要精査/要治療	未受診
人文	24	21	87.5	11	9	1	3
教育	12	11	91.7	6	1	4	1
経済	15	13	86.7	9	4	0	2
理	9	6	66.7	2	4	0	3
医	13	12	92.3	9	3	0	1
工	26	25	96.2	16	9	0	1
農	5	4	80.0	2	2	0	1
共同獣医	0	-	-	-	-	-	-
国際総合科学部	6	6	100.0	2	4	0	0
合計	110	98	89.1	57	36	5	12

表11 学部別・メンタルスクリーニングテスト別呼出対象者数（2023年度）

	EAT-26	UPI/SDS	U25のみ	US+U25	US+EAT	EAT+U25	EAT+US+U25	合計
人文	2	0	9	0	1	0	0	12
教育	7	0	4	1	1	0	0	13
経済	8	1	7	4	0	0	1	21
理	2	0	3	5	0	1	0	11
医	10	0	1	1	1	0	0	13
工	6	1	14	1	0	0	0	22
農	2	0	1	1	0	0	1	5
共同獣医	1	0	1	0	0	0	0	2
国際総合科学部	0	1	1	0	0	0	0	2
合計	38	3	41	13	3	1	2	101

表 12 呼出対象者の面談受診状況及び事後措置（2023 年度）

	呼出 対象者数	面談 受診者数	面談 受診率 (%)	事後措置			
				異常なし	要観察	要精査/要治療	未受診
人文	12	11	91.7%	7	4	0	1
教育	13	11	84.6%	4	5	2	2
経済	21	19	90.5%	8	9	2	2
理	11	9	81.8%	3	5	1	2
医	13	13	100.0%	10	3	0	0
工	22	19	86.4%	10	8	1	3
農	5	5	100.0%	3	1	1	0
共同獣医	2	1	50.0%	1	0	0	1
国際総合科学部	2	2	100.0%	1	1	0	0
合計	101	90	89.1%	47	36	7	11

(2) 新入生健康診断概況

「学生健康診断票」と特異体質や既往歴などを書き込む「保健調査票」を入学の手引きに綴じ込み、入学手続き関係書類とともに事前に配布している。これらの書類は原則として健康診断までに自宅で記入し、健康診断当日に持参することになっている。保健調査票には保護者からの要望記入欄も設けている。また、学生健康診断票の裏面には学校感染症の罹患歴や予防接種自己申告書欄があり、記入された情報を感染症対策に活用している。

2021年度から授業開始後に健康診断を実施することとなり、受診率の低下が心配されたが、受診勧奨を繰り返し、Web予約やWeb問診が困難な学生には個別対応することによって、休学者を除く全員受診を継続できている。

(3) 新入生健康診断結果

①身長・体重計測

2022年度と2023年度のBMI判定結果を表13に、最近6年間の年度別BMI判定を図1、2に示した。男子学生の約70%、女子学生の約75%は適正值内にあるが、男女ともやせの動向には注意を要する。

表13 BMI判定結果

年度	対象者数	受検者数(%)		判定結果区分(%)						
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度	
2022	男	1178	1172 (99.5)	196 (16.7)	836 (71.3)	120 (10.2)	18 (1.5)	2 (0.2)		
	女	789	787 (99.7)	171 (21.7)	581 (73.8)	28 (3.6)	6 (0.8)	1 (0.1)		
	計	1967	1959 (99.6)	367 (18.7)	1417 (72.3)	148 (7.6)	24 (1.2)	3 (0.2)		
2023	男	1139	1138 (99.9)	175 (15.4)	809 (71.1)	128 (11.2)	22 (1.9)	4 (0.4)		
	女	840	839 (99.9)	159 (19.0)	632 (75.3)	42 (5.0)	4 (0.5)	1 (0.1)	1 (0.6)	
	計	1979	1977 (99.9)	334 (16.9)	1441 (72.9)	170 (8.6)	26 (1.3)	5 (0.3)	1 (0.3)	

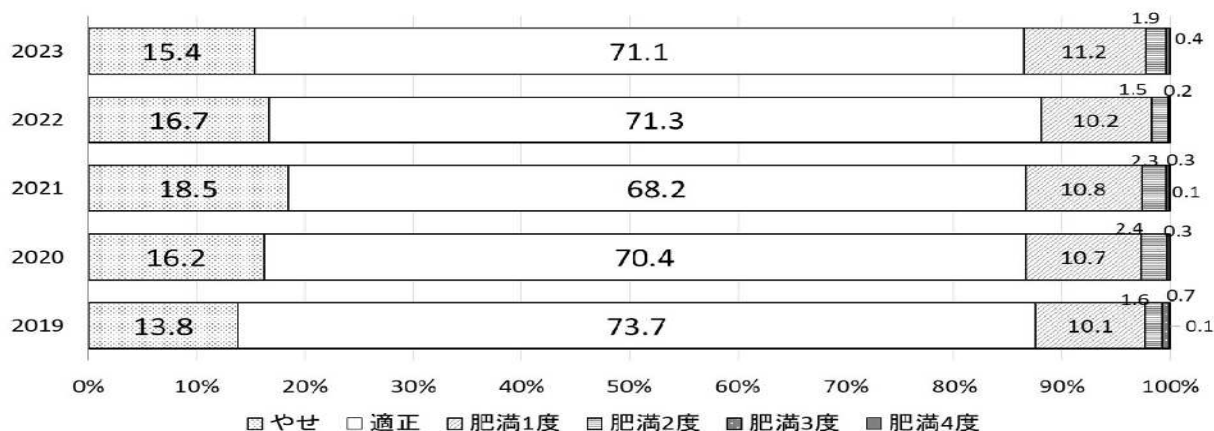


図1 年度別BMI判定(男子)

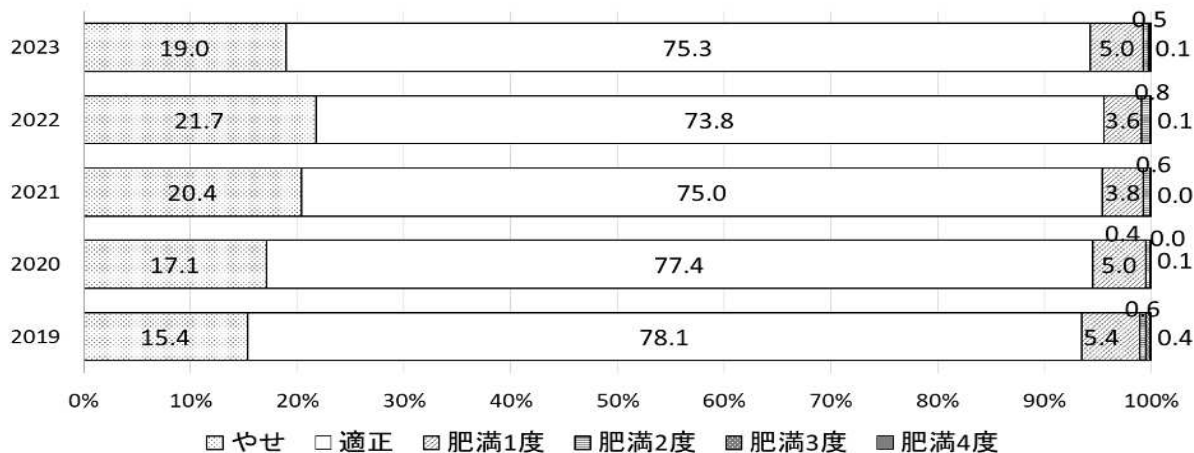


図2 年度別BMI判定(女子)

②血圧測定

2022年度と2023年度の血圧測定結果を表14に、年度別有所見率(男女別)を図3、4に示した。

収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧95mmHg以上を高血圧、収縮期血圧140～159mmHgまたは拡張期血圧90～94mmHgを境界域、収縮期血圧90mmHg未満を低血圧として集計している。二次検査は一次検査の環境を考慮し、収縮期血圧145mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上だった者を対象としている。

二次検査(個別測定)を受検した者はほぼ異常なしであるため、一次検査時の測定環境(集団測定)は個別にパーティションで仕切る等、落ち着いた測定環境となるように毎年工夫を重ねながら実施している。

表14 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2022	男	1178	1172(99.5)	7	82	1082	1	42	24	4	0	14
	女	789	787(99.7)	2	10	773	2	8	6	1	0	1
	計	1967	1959(99.6)	9	92	1855	3	50	30	5	0	15
2023	男	1139	1138(99.9)	12	72	1051	3	50	24	3	0	23
	女	840	839(99.9)	0	6	830	3	2	0	0	0	2
	計	1979	1977(99.9)	12	78	1881	6	52	24	3	0	25

※経過観察には治療中の者も含む

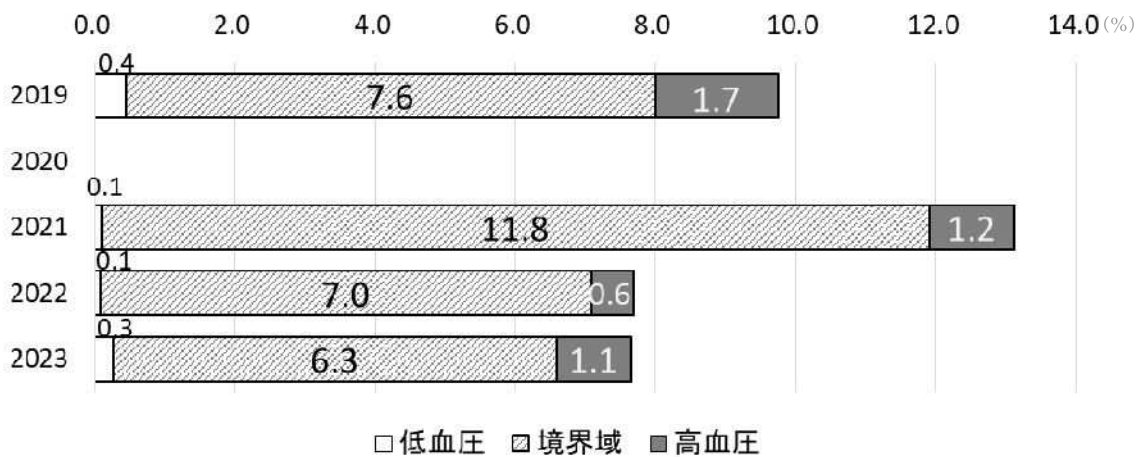


図3 血圧 年度別有所見率(男子)

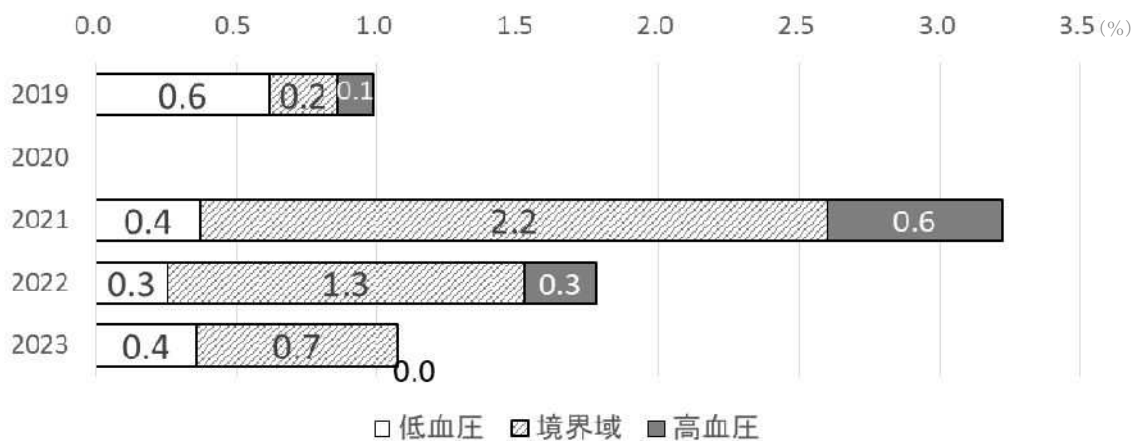


図4 血圧 血圧有所見率(女子)

③尿検査

2022年度と2023年度の尿検査結果を表15に示した。

2020年度から、健診会場で尿採取キットを配布し、後日早朝尿提出の検査方式に変更している(随時尿⇒早朝尿)。随時尿で実施していたときの一次検査における有所見率は約11～13%であったが、早朝尿で実施するようになって約2%と大幅に減っている。一方で、未提出者が約300人程度いることから、今後は提出率を上げることが課題である。

表15 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次検査(再検結果)				病院紹介件数
				有所見者	有所見内訳			一次結果(指導区分)			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2022	男	1178	941	20	13	6	1	921	2	18(7)	8	7	0	1(1)	8
	女	789	730	15	4	0	11	715	2	13(1)	11	11	0	0	1
	計	1967	1671	35	17	6	12	1636	4	31(8)	19	18	0	1(1)	9
2023	男	1138	910	28	25	2	2	882	1	27(6)	20	19	0	1(1)	7
	女	839	758	17	13	4	0	741	0	17(6)	11	10	0	1(1)	7
	計	1977	1668	45	38	6	2	1623	1	44(12)	31	29	0	2(2)	14

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の()内の数値は病院紹介者数で内数

※二次検査(再検結果)の()内の数値は病院紹介者数で内数

④胸部X線検査

2022年度と2023年度の胸部X線検査結果を表16に示した。

肺野外所見者の大半は側弯である。病院紹介者は確実に受診するよう勧奨しており、2023年度は病院紹介した7名のうち3名が更なる精査や治療に繋がった。

表16 胸部X線検査結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	特に支障なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精査治療
2022	男	1178	1169(99.1)	9(0.8)	8	1	6	1	2	2	0	2	0
	女	789	787(99.7)	1(0.1)	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	1967	1956(99.4)	10(0.5)	9	1	6	2	2	2	0	2	0
2023	男	1138	1138(100.0)	20(1.8)	8	12	2	13	5	5	3	0	2
	女	839	839(100.0)	18(2.1)	2	16	1	15	2	2	1	0	1
	計	1977	1977(100.0)	38(1.9)	10	28	3	28	7	7	4	0	3

⑤内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2022年度と2023年度の間診票所見結果を表17に示した。

医師による内科診察は、健診当日に看護職が全員に面談(一次検査)を行い、振り分け基準や問診結果から対象者を選別して実施している。

表17 内科診察・問診所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査(※看護職振分)				二次検査(※医師診察・後日呼出)			
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査		異常なし	経過観察	病院紹介
2022	男	1178	1172(99.5)	399(34.0)	188	206	5	3	1	2	0
	女	789	787(99.7)	312(39.6)	150	155	7	5	2	1	2
	計	1967	1959(99.6)	711(36.3)	338	361	12	8	3	3	2
2023	男	1138	1138(100.0)	597(52.5)	350	236	10	10	0	7	3
	女	839	839(100.0)	371(44.2)	165	185	21	21	2	13	6
	計	1977	1977(100.0)	968(49.0)	515	421	31	31	2	20	9

⑥心電図検査

2022年度と2023年度の心電図所見結果を表18に示した。

2021年度以降は心電図検査基準を設け、健診当日に看護職が該当者を選別して実施している。新入生全体で、2022年度は3名、2023年度は2名を医療機関へ紹介しているが、受診結果は経過観察または異常なしであった。

表18 心電図検査結果

年度	対象者数		心電図対象者数(%)	一次検査				二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2022	男	1178	259(22.0)	13(5.0)	246	11	2	2	0	2	0
	女	789	234(29.7)	13(5.6)	221	12	1	1	0	1	0
	計	1967	493(25.1)	26(5.3)	467	23	3	3	0	3	0
2023	男	1138	381(33.5)	14(3.7)	367	12	2	1	1	0	0
	女	839	227(27.1)	9(4.0)	218	7	2	1	1	0	0
	計	1977	608(30.8)	23(3.8)	585	19	4	2	2	0	0

4) 在学生健康診断

(1) 学部生健康診断概況

過去10年間の学部学生の学部別健康診断受診率を図5に、学年別健康診断受診率を図6に示した。2019年度までは受診率は全体的に増加傾向にあったが、2020年度にコロナ禍で受診率が一時激減した。コロナ禍を機に、Web予約やWeb問診システムを導入し、健診方法の大幅な見直しを行った。この2年間では、学部により差はみられるものの徐々に受診率が戻りつつある。学年別では、特に2年生と3年生の受診率が大幅に低下したため、受診勧奨の強化が望まれる。

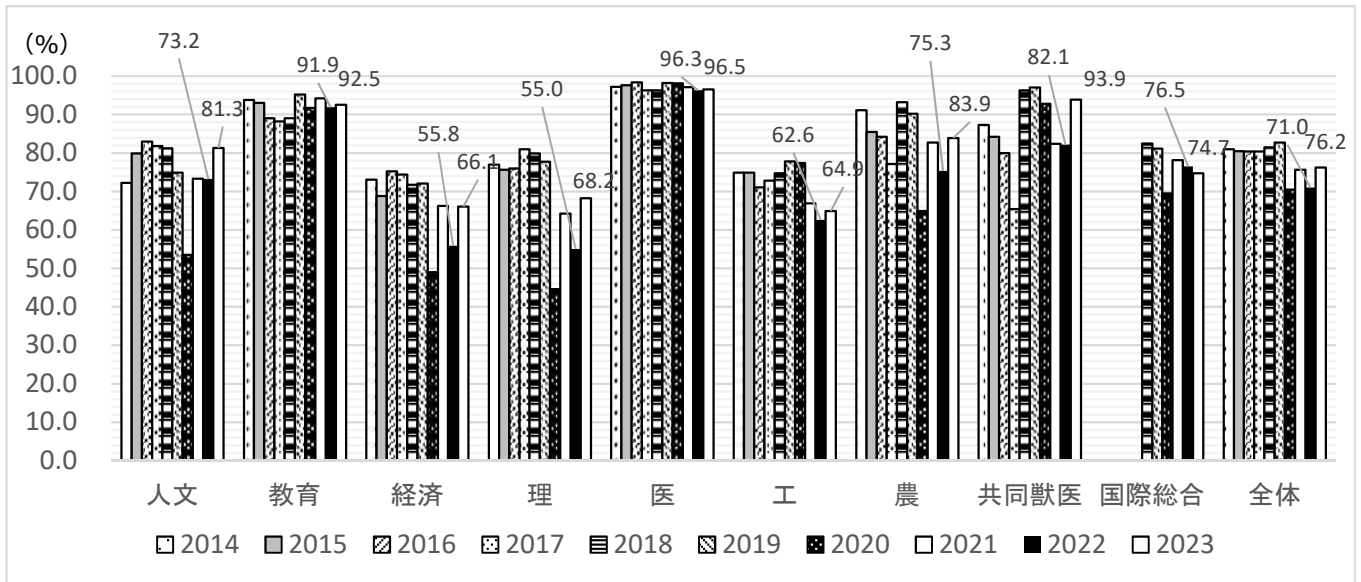


図5 学部別受診率(過去10年間)

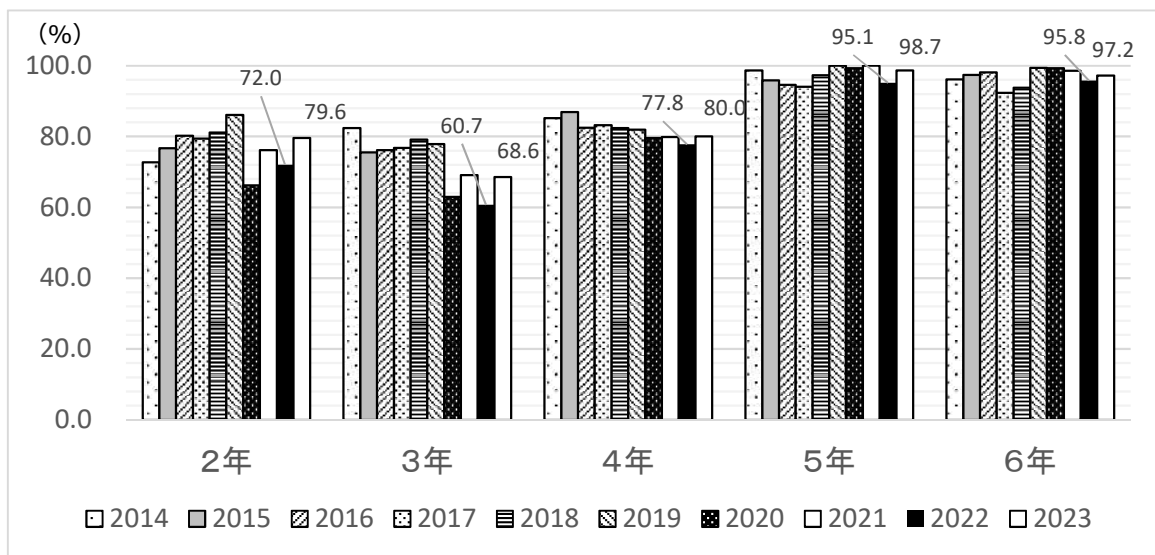


図6 学年別受診率(過去10年間)

(2) 学部生健康診断結果

①身長・体重計測

2022年度と2023年度の学部学生のBMI判定結果を表19に、最近5年間のBMI判定区分を図7、8に示した。過去5年間の推移では、男女ともにやせ該当者がわずかに増加しているが、この2年間について大差はなかった。

表 19 BMI 判定結果

年度	対象者数		受検者数(%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2022	男	4007	2475(61.8)	363(14.7)	1829(73.9)	227(9.2)	42(1.7)	12(0.5)	2(0.08)
	女	2657	2154(81.2)	410(19.0)	1611(74.8)	116(5.4)	12(0.6)	4(0.2)	1(0.05)
	計	6664	4629(69.5)	773(16.7)	3440(74.3)	343(7.4)	54(1.2)	16(0.3)	3(0.06)
2023	男	4013	2710(67.5)	394(14.5)	2008(74.1)	258(9.5)	41(1.5)	8(0.3)	1(0.04)
	女	2678	2213(82.6)	399(18.0)	1686(76.2)	111(5.0)	15(0.7)	1(0.05)	1(0.05)
	計	6691	4923(73.6)	793(16.1)	3694(75.0)	369(7.5)	56(1.1)	9(0.2)	2(0.04)

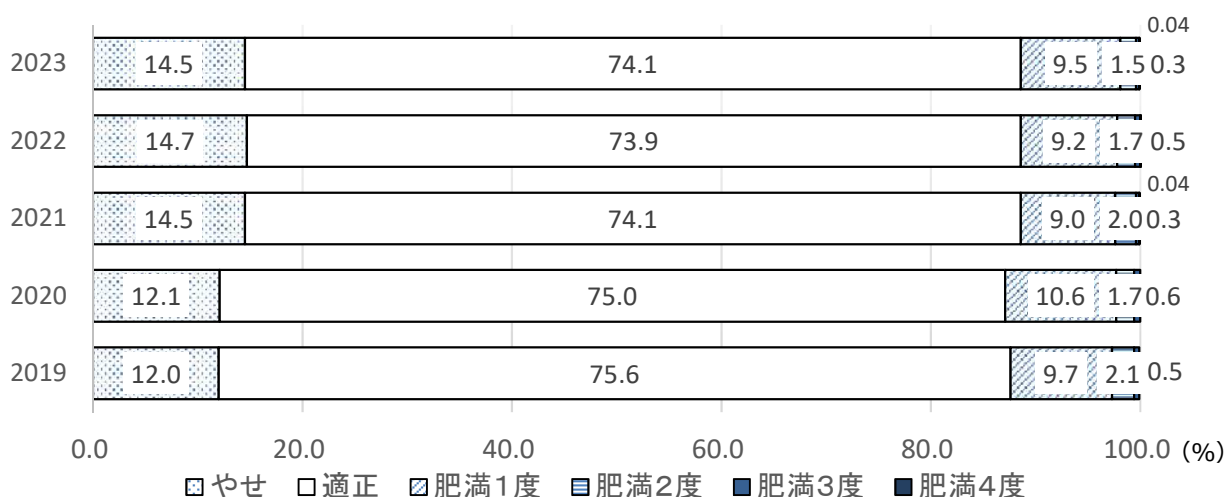


図 7 BMI 判定区分(男子)

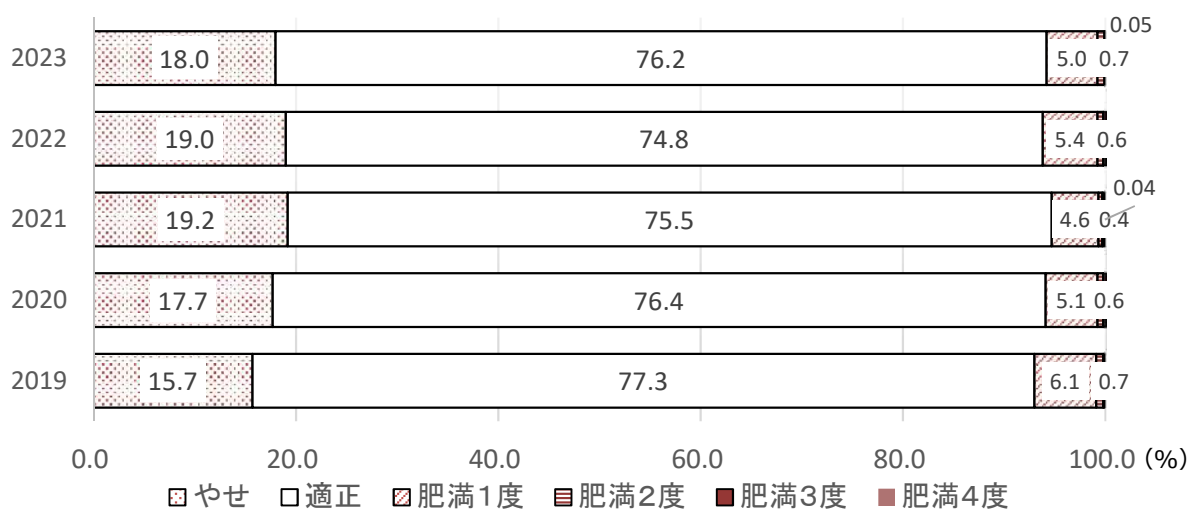


図 8 BMI 判定区分(女子)

②血圧測定

2022年度と2023年度の学部学生の血圧測定結果を表20に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図9、10に示した。

2021年度はコロナ禍での健診実施のため、健診会場内での混雑を避けるため測定回数を制限した影響もあり、有所見者が突出している。この2年間は、これまで通りに異常値であった者は、健康診断当日に3回まで再測定を行ったため、男女とも特に境界域の有所見率について減少傾向がみられた。なお、二次検査において、受検者の大半は「異常なし」であったが、未受検者が多いことは課題である。二次検査の結果、わずかながら医療機関紹介となる者もいるため、二次検査の受検率向上が望まれる。

表 20 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2022	男	4007	2475(61.8)	41	249	2176	9	170	76	10	2	82
	女	2657	2153(81.0)	5	40	2092	16	27	15	2	0	10
	計	6664	4628(69.4)	46	289	4268	25	197	91	12	2	92
2023	男	4013	2710(67.5)	29	192	2487	2	123	72	10	1	40
	女	2678	2213(82.6)	7	30	2164	12	23	9	4	0	10
	計	6691	4923(73.6)	36	222	4651	14	146	81	14	1	50

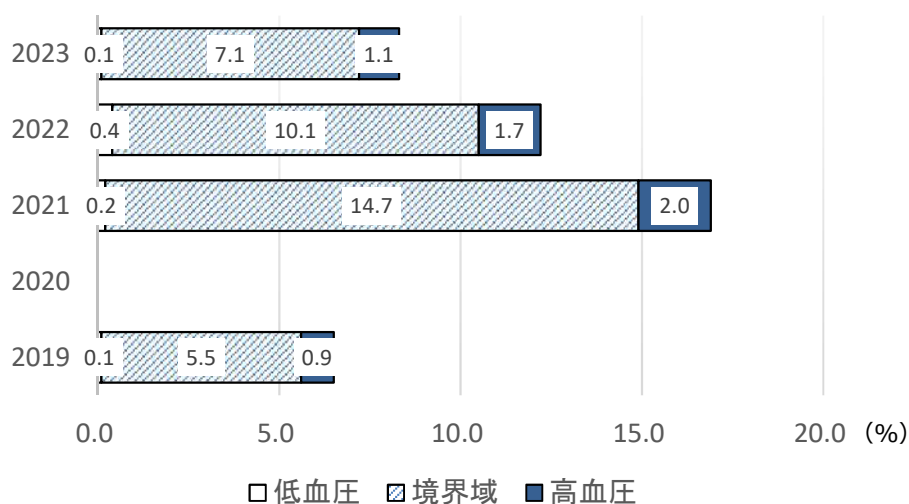


図 9 血圧有所見率(男子)

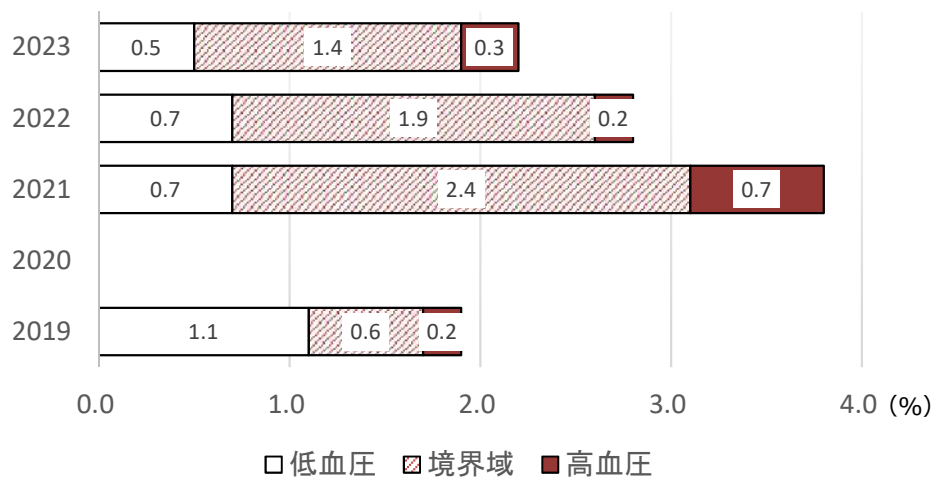


図 10 血圧有所見率(女子)

③尿検査

2022年度と2023年度の尿検査結果を表21に示した。

2020年度から健診会場で尿採取キットを配布し、後日早朝尿提出の検査方式に変更(随時尿⇒早朝尿)した。一次検査における有所見率は、前年に引き続き、2～3%台で推移している(2022年度：1.9%、2023年度：2.7%)。その一方で、尿検査の未提出者が多く、未受検率が約20%と高いことは、今後の検討課題である(未提出者2022年度：908名(19.7%)、同2023年度：1103名(22.4%))。

表 21 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次検査(再検結果)				病院紹介件数
				有所見者	有所見内訳			一次結果(指導区分)			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2022	男	4007	1874	30	12	11	10	1844	11	19(6)	11	11	0	0	6
	女	2657	1837	42	8	4	34	1798	17	25(9)	14	10	3	1(1)	10
	計	6664	3711	72	20	15	44	3642	28	44(16)	25	21	3	1(1)	16
2023	男	4013	1970	51	32	12	10	1919	6	45(14)	27	23	1	3(3)	17
	女	2678	1849	51	13	0	40	1798	31	20(5)	13	11	0	2(2)	7
	計	6691	3819	102	45	12	50	3717	37	65(19)	40	34	1	5(5)	17

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の()内の数値は病院紹介者数で内数

※二次検査(再検結果)の()内の数値は病院紹介者数で内数

④聴力検査

コロナ禍での健診実施のため、2022年度・2023年度も引き続き、検査項目から省略した。

⑤胸部X線検査

2022年度と2023年度の胸部X線検査結果を表22に、最近5年間の肺野有所見率を図11に示した。

2019年度から胸部X線検査が間接撮影からデジタル撮影に変更になった影響から、一次検査での肺野有所見率は低下傾向にあったが、この2年間では微増傾向がみられた。また、2023年度は肺野外の有所見者が激増したが、大半が側弯との所見であった。なお、二次検査対象となり医療機関を受診した者のうち大半が「異常なし」との結果であり、「精密検査」が必要となった者は、気胸のため入院治療となった。

表 22 胸部X線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2022	男	4007	2471(61.7)	21	20	1	2463	7	1	1	1	0	0
	女	2657	2146(80.8)	4	1	3	2145	0	1	1	1	0	0
	計	6664	4617(69.3)	25	21	4	4608	7	2	2	2	0	0
2023	男	4013	2709(67.5)	43	18	25	2675	23	11	11	7	2	1
	女	2678	2212(82.6)	43	4	39	2173	36	3	3	2	1	0
	計	6691	4921(73.5)	86	22	64	4848	59	14	14	9	3	1

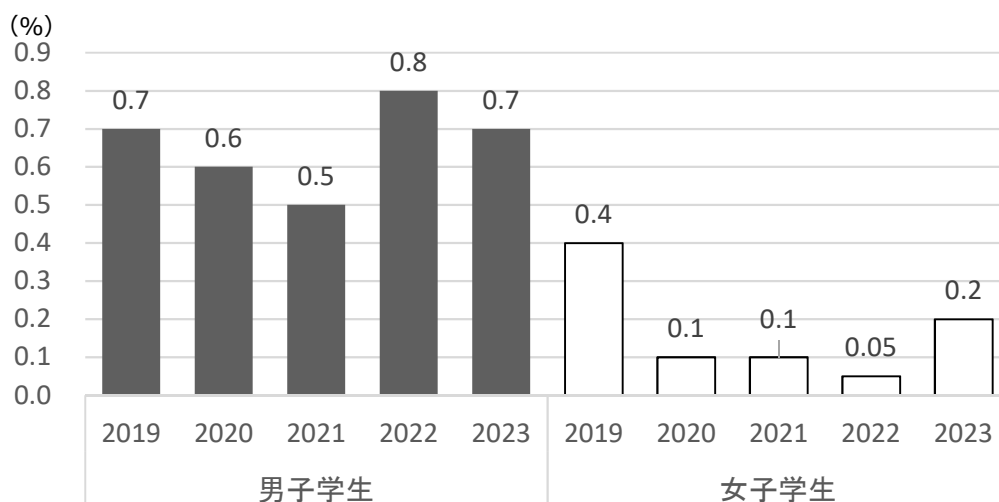


図 11 肺野有所見率(過去5年間)

⑥心電図検査

2022年度と2023年度の心電図検査結果を表23に示した。2020年度のコロナ禍での健診以降、実施方法を大幅に変更した。2020年度は健診終了後に医師が問診票判定により対象者を選別し後日呼び出して実施したが、2021年度からは心電図検査対象者基準を設け、健診当日に看護職が該当者を選別して実施している。健康診断当日に心電図検査を実施した者は、2022年度809名(受診者全体の17.6%)、2023年度750名(同15.2%)であった。

表23 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査(※看護職選別)				二次検査(病院紹介結果)			
				対象者数(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査		異常なし	経過観察	要精査
2022	男	4007	2458(61.3)	405(16.5)	304	97	4	3	1	2	0
	女	2657	2135(80.4)	404(18.9)	294	109	1	1	0	1	0
	計	6664	4593(68.9)	809(17.6)	598	206	5	4	1	3	0
2023	男	4013	2709(67.5)	336(12.4)	314	14	8	7	3	3	1
	女	2678	2213(82.6)	414(18.7)	399	13	2	1	0	0	1
	計	6691	4922(73.6)	750(15.2)	713	27	10	8	3	3	2

⑦内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2022年度と2023年度の間診票有所見結果を表24に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図12に示した。2020年度はコロナ禍での健診のため、健診当日の内科診察は省略し、健診終了後に医師が問診票内容から呼び出し対象者を選別し実施したが、2021年度からは、健診当日に看護職が振り分け基準や問診結果から対象者を選別し、健診当日の内科診察を再開した。内科診察対象となった者は、2022年度1166名(受診者全体の25.4%)、2023年度1443名(同29.3%)であった。

表24 内科診察・問診有所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査(※看護職振分)				二次検査(後日呼出結果)			
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査		異常なし	経過観察	要精査
2022	男	4007	2458(61.3)	568(23.1)	1901	273	18	9	1	8	0
	女	2657	2135(80.4)	598(28.0)	1552	281	28	18	4	10	4
	計	6664	4593(68.9)	1166(25.4)	3453	554	46	27	5	18	4
2023	男	4013	2709(67.5)	727(26.8)	1982	360	28	22	4	16	2
	女	2678	2213(82.6)	716(32.4)	1497	328	29	26	3	20	3
	計	6691	4922(73.6)	1443(29.3)	3479	688	57	48	7	36	5

※一次検査の有所見者数は、健診当日の内科診察該当者数を表す

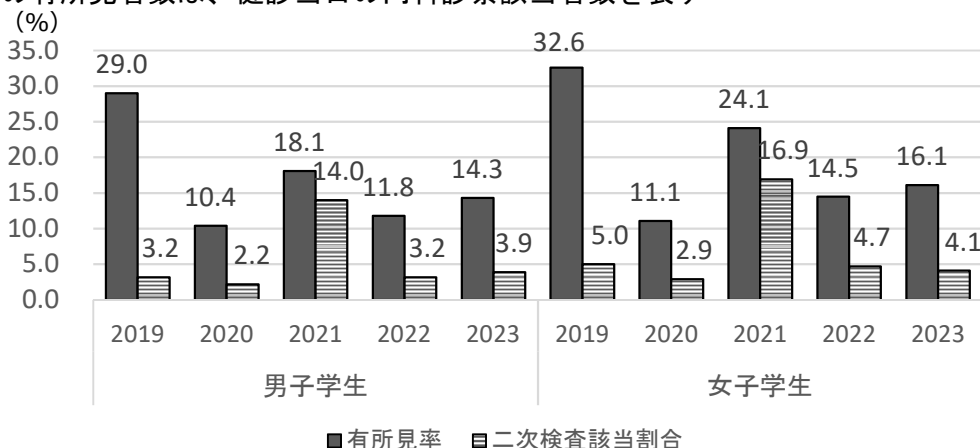


図12 一次検査有所見率及び二次検査該当者の割合(過去5年間)

(3) 大学院生健康診断概況

過去10年間の大学院生の健康診断受診率を図13に示した。

大学院生全体の受診率は、2022年度を除き、概ね7割程度で推移しているが、依然として医学系大学院生の学内健診受診率は低い。医療機関での診療業務が学内健診受診を難しくしているのかもしれない。学外での健診結果提出をさらに徹底したいと考えている。

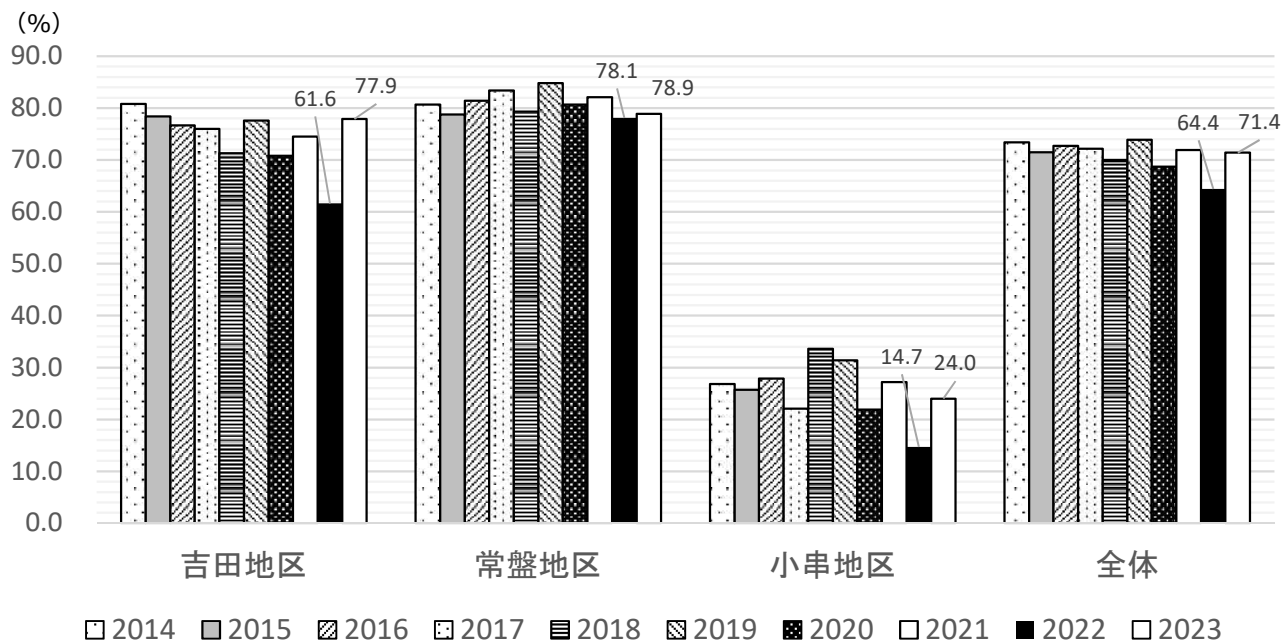


図13 大学院生受診率(過去10年間)

(4) 大学院生健康診断結果

①身長・体重計測

2022年度と2023年度の大学院生のBMI判定結果を表25に、最近5年間のBMI判定区分を図14、15に示した。概ね7割は適正範囲のBMIであるが、男子学生ではこの5年間でBMI判定区分に変動がないのに対し、女子学生では肥満2度該当者について若干の増加傾向がみられた。

表25 BMI判定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2022	男	1142	801(70.1)	93(11.6)	569(71.0)	114(14.2)	15(1.9)	9(1.1)	1(0.1)
	女	356	232(65.2)	37(15.9)	169(72.8)	19(8.2)	6(2.6)	1(0.4)	0(0.0)
	計	1498	1033(69.0)	130(12.6)	738(71.4)	133(12.9)	21(1.9)	10(1.0)	1(0.1)
2023	男	1163	802(69.0)	88(11.0)	579(72.2)	105(13.1)	21(2.6)	8(1.0)	1(0.1)
	女	342	234(68.4)	40(17.1)	171(73.1)	16(6.8)	7(3.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	1505	1036(68.8)	128(12.4)	750(72.4)	121(11.7)	28(2.7)	8(0.8)	1(0.1)

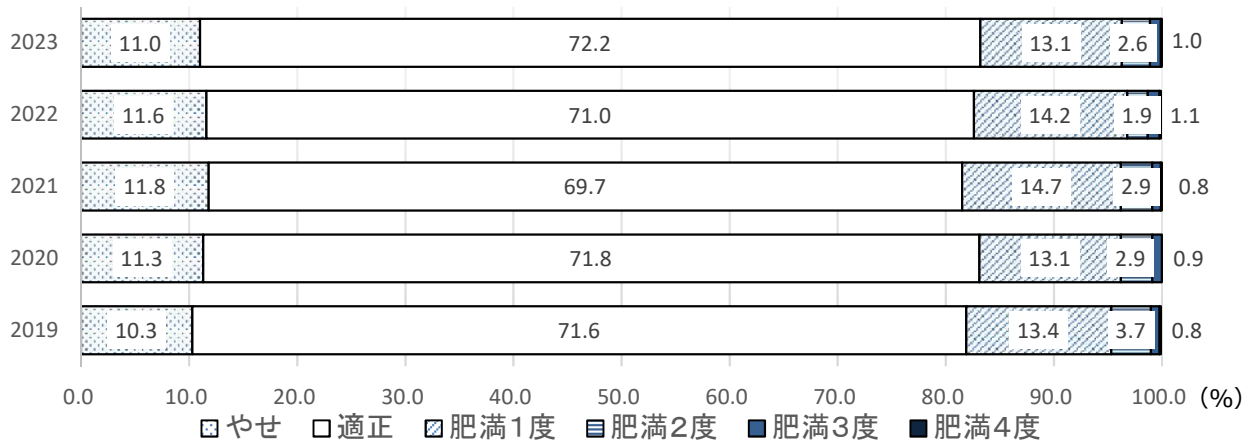


図 14 BMI 判定区分(男子)

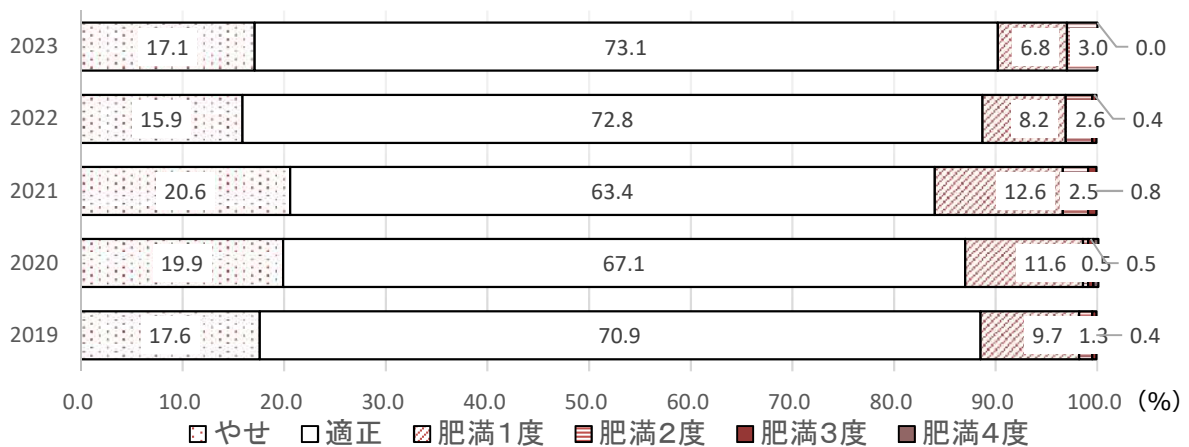


図 15 BMI 判定区分(女子)

②血圧測定

2022年度と2023年度の血圧測定結果を表26に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図16、17に示した。2021年度はコロナ禍での健診実施のため、測定回数を制限した影響もあり、有所見者が突出しているが、この2年間は、従来通りに健康診断当日に3回まで測定し直しをしてもらったため、男女とも特に境界域の有所見率について減少傾向がみられた。なお、男女とも高血圧該当者の増加がみられる一方で、特に2022年度では二次検査の未検査者が多かった。服薬治療開始となったケースもあるため、二次検査の受検率向上が望まれる。

表 26 血圧測定結果

年度	対象者数	受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)					
			高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象者数	指導区分				
								異常なし	経過観察	病院紹介	未検査	
2022	男	1142	801(70.1)	9	531	736	3	39	8	4	0	27
	女	356	232(65.2)	1	4	223	4	4	1	1	0	2
	計	1498	1033(69.0)	10	57	959	7	43	9	5	0	29
2023	男	1163	802(69.0)	12	55	732	3	35	24	3	1	7
	女	342	234(68.4)	2	6	226	0	7	4	0	0	3
	計	1505	1036(68.8)	14	61	958	3	42	28	3	1	10

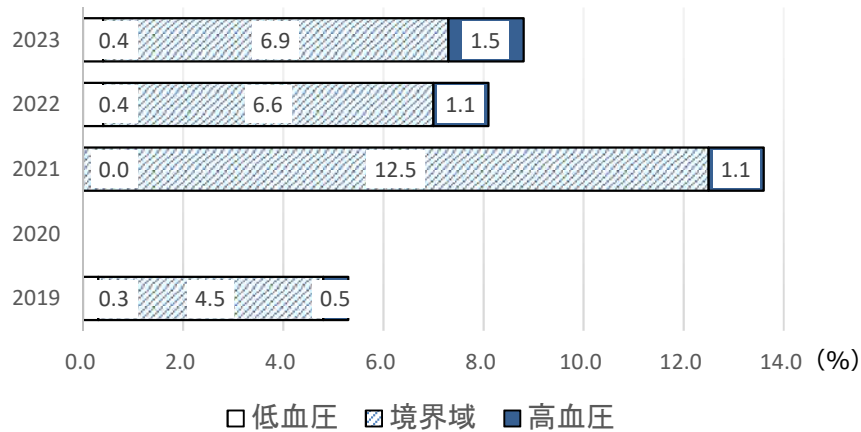


図 16 血圧有所見率(男子)

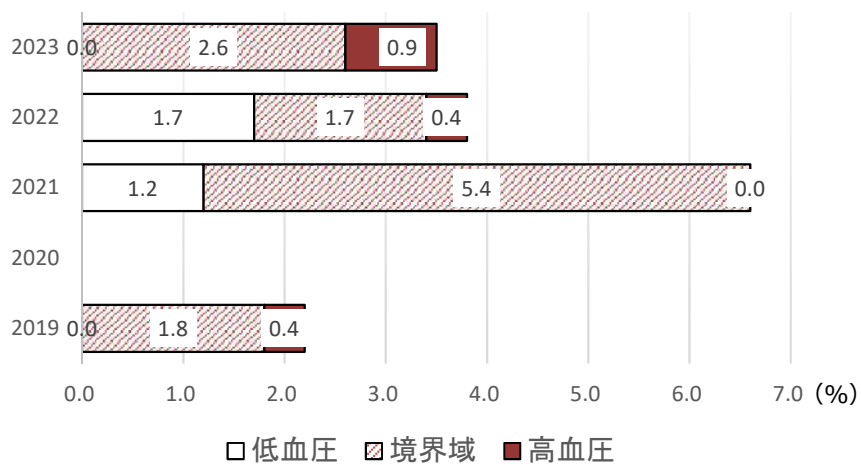


図 17 血圧有所見率(女子)

③尿検査

2022年度と2023年度の尿検査結果を表27に示した。

2020年度から、健診会場で尿採取キットを配布し、後日早朝尿提出の検査方式に変更(随時尿⇒早朝尿)した。一次検査における有所見率は3~4%台で推移している(2022年度：4.1%、2023年度：3.3%)。なお、尿検査の未提出者が多く、未受検率が約15%と高い点は検討課題である(未提出者2022年度：172名(16.7%)、同2023年度：158名(15.3%))。

表 27 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査						二次・三次検査(再検結果)				病院紹介件数	
				有所見者	有所見内訳			一次結果(指導区分)			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察		要精査
2022	男	1142	655	23	7	6	12	632	10	13(3)	11	8	1	2(2)	5
	女	356	206	12	0	2	10	194	6	6(2)	4	4	0	0	2
	計	1498	861	35	7	8	22	826	16	19(5)	15	12	1	2(2)	7
2023	男	1163	674	20	5	6	9	654	8	12(2)	10	9	0	1	2
	女	342	204	9	2	1	8	195	5	4(1)	3	2	0	1(1)	2
	計	1505	878	29	7	7	17	849	13	16(3)	13	11	0	2(1)	4

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の()内の数値は病院紹介者数で内数

※二次検査(再検結果)の()内の数値は病院紹介者数で内数

④聴力検査

コロナ禍での健診実施のため、2022年度・2023年度も引き続き、検査項目から省略した。

⑤胸部 X 線検査

2022年度と2023年度の胸部 X 線検査結果を表 28 に示した。

一次検査の肺野有所見率は、2022年度 0.5%、2023年度 1.0%であった。なお、二次検査対象となり医療機関を受診した者のうち「精密検査」該当者は、留学生の肺結核疑い(無症状)で6か月の内服治療となった。

表 28 胸部 X 線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2022	男	1142	798(69.9)	5	5	0	795	2	1	1	0	1	0
	女	356	230(64.6)	0	-	-	230	0	0	0	0	0	0
	計	1498	1028(68.6)	5	5	0	1025	2	1	1	0	1	0
2023	男	1163	802(69.0)	14	9	5	792	6	4	3	1	1	1
	女	342	234(68.4)	4	1	3	232	1	1	1	0	1	0
	計	1505	1036(68.8)	18	10	8	1024	7	5	4	1	2	1

⑥心電図検査

2022年度と2023年度の心電図検査結果を表 29 に示した。2020年度のコロナ禍での健診以降、実施方法を大幅に変更した。2020年度は、健診終了後に医師が問診票判定により対象者を選別し後日呼び出して実施したが、2021年度からは、心電図検査対象者基準を設け、健診当日に看護職が該当者を選別して実施している。健康診断当日に心電図検査を実施した者は、2022年度 183名(受診者全体の 18.0%)、2023年度 121名(同 11.7%)であった。

表 29 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査(※看護職選別)				二次検査(病院紹介結果)			
				対象者数(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査		異常なし	経過観察	要精査
2022	男	1142	789(69.1)	135(17.1)	128	6	1	1	0	1	0
	女	356	229(64.3)	48(21.0)	46	1	1	0	0	0	0
	計	1498	1018(68.0)	183(18.0)	174	7	2	1	0	1	0
2023	男	1163	799(68.7)	88(11.0)	77	10	1	1	0	1	0
	女	342	233(68.1)	33(14.2)	31	2	0	0	0	0	0
	計	1505	1032(68.6)	121(11.7)	108	12	1	1	0	1	0

⑦内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2022年度と2023年度の間診票有所見結果を表 30 に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図 18 に示した。2020年度はコロナ禍での健診のため、健診当日の内科診察は省略したが、2021年度からは、健診当日の内科診察を再開した。健診当日に看護職が振り分け基準や問診結果から対象者を選別し、内科診察対象となった者は、2022年度 271名(受診者全体の 26.6%)、2023年度 333名(同 32.3%)と受診者全体の約3割であった。健診当日に医師による診察を再開したため、二次検査該当者の割合は減少傾向がみられた。

表 30 内科診察・問診有所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査(※看護職振分)			二次検査(※医師診察・後日呼出)				
				有所見者 (%)	指導区分			受検 者数	指導区分		
					異常 なし	経過 観察	要精査		異常 なし	経過 観察	要精査
2022	男	1142	789(69.1)	192(24.3)	694	89	6	6	0	3	0
	女	356	229(64.3)	79(34.5)	182	41	6	6	1	4	0
	計	1498	1018(68.0)	271(26.6)	876	130	12	12	1	7	0
2023	男	1163	799(68.7)	255(31.9)	682	110	7	6	1	4	1
	女	342	233(68.1)	78(33.5)	183	47	3	3	0	2	1
	計	1505	1032(68.6)	333(32.3)	865	157	10	9	1	6	2

※一次検査の有所見者数は、健診当日の内科診察該当者数を表す

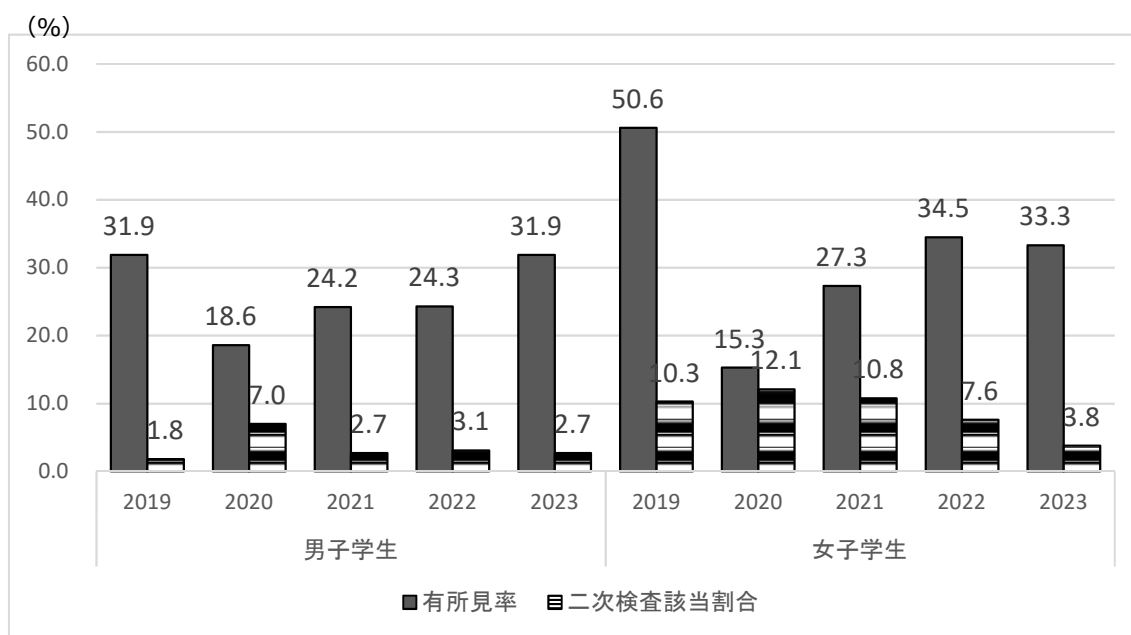


図 18 一次検査有所見率及び二次検査該当者の割合(過去5年間)

5) 秋季入学生等健康診断

(1) 対象と概要

例年 10 月中旬頃、秋季入学者(非正規生を含む)等を対象とした「秋季入学生等健康診断」を実施している。秋季入学生は留学生が大半であり、結核等の感染症が蔓延するリスクを減らすため、全員受診を目標としている。

健診日程を表 31 に、対象者数を表 32～33 に示す。

表 31 秋季入学生等健康診断日程

年度	実施地区	健診日程
2022	吉田地区	10月11日・12日
	常盤地区	10月21日
	小串地区	10月21日 ※常盤地区にて受診
2023	吉田地区	10月11日・18日
	常盤地区	10月26日
	小串地区	10月26日 ※常盤地区にて受診

表 32 2022 年度 秋季入学者数

所属地区	正規生	研究生等	合計
吉田地区	21	80	101
常盤地区	22	10	32
小串地区	3	2	5
合計	46	92	138

(入学者 138 名の内訳: 留学生 127 名、留学生以外 11 名)

表 33 2023 年度 秋季入学者数

所属地区	正規生	研究生等	合計
吉田地区	15	94	109
常盤地区	21	11	32
小串地区	6	3	9
合計	42	108	150

(入学者 150 名の内訳: 留学生 138 名、留学生以外 12 名)

健康診断の検査項目は、春季健康診断項目と同様で「問診(Web 問診)」、「尿検査」、「血圧測定」、「視力検査」、「聴力検査」、「身長・体重計測」、「胸部X線検査」、「心電図検査」、「内科診察」である。(※ただし、2022 年・2023 年度では、新型コロナウイルス感染症対策として、視力・聴力検査を省略して実施した。)

なお、本学で実施する健康診断の全ての項目を満たす、入学年度の 4 月 1 日以降の健康状態を証明する文書(健康診断結果の写し等)を提出することにより、秋季入学生等健康診断受診に代えることができる。

(2) 受診状況

以下に、秋季入学生等健康診断の受診状況を示す(表 34～35)。受診率は、2022 年度 92.0%、2023 年度 92.6%であった。未受診者の中には、事情により来日できていないケースも含まれる。その場合、来日後すみやかに外部医療機関での健康診断受診を案内する流れとなっている。

表 34 2022 年度 秋季入学生健康診断受診状況

実施地区	対象者数	受診者①	春季・職員健診受診 ②	結果提出(外部医療機 関受診)③	未受診
吉田地区	101	90	2	4	5
常盤地区	32	17	10	-	5
小串地区	5	4	-	-	1
合計	138	111	12	4	11

総受診者数(①+②+③):127名 受診率:92.0%

表 35 2023 年度 秋季入学生健康診断受診状況

実施地区	対象者数	受診者①	春季・職員健診受診 ②	結果提出(外部医療機 関受診)③	未受診
吉田地区	107	101	1	2	3
常盤地区	32	23	5	-	4
小串地区	9	3	2	-	4
合計	148	127	8	2	11

総受診者数(①+②+③):137名 受診率:92.6%

2. 特別健康診断

保健管理センターでは、定期健康診断以外に必要なに応じて臨時に健康診断を実施している。以下に、特別健康診断の概要と受診状況について示す。

1) スポーツ関係者健康診断

(1) 対象と概要

保健管理センターでは、スポーツ実習や課外活動行事参加に必要な健康診断を、求めに応じて実施している。

この健康診断は、「当該年度定期健康診断を受診していること」を前提に実施している。検査項目は、①問診票記入(スポーツ行事用)、②尿検査、③血圧検査、④心電図検査、⑤内科診察の5項目を基本項目としている。これら健康診断結果を基に、医師がスポーツ関連行事への参加に対する意見(「異常なし」、「要注意」※、「中止」)を判定している。

※「要注意」とは、健康診断時の検査結果はわずかに異常を認めるものの、参加を禁ずるほどではなく、当日の体調や大会時の天候に応じて負担を軽減する必要のある者を意味している。

(2) 受診状況

2022年度及び2023年度のスポーツ関係者の健康診断実施結果を表36・37に示した。

受診者数の総計は、2022年度は72名、2023年度は73名であった。

表36 スポーツ関係者の健康診断実施結果(2022年度)

実施日	サークル名 団体名	受診者数	有所見者数				異常なし	要注意	中止	受検理由(参加大会、行事名)
			問診・診察	尿	血圧	心電図				
4/5.13	空手道部	2	1	-	-	-	1	1	0	空手道選手権大会出場
4/5.13,5/24	空手道部	3	1	-	-	-	2	1	0	空手道選手権大会出場
6/16.21	教育学部	20	1	-	-	-	19	1	0	水泳実習参加
8/3.5	教育学部	8	1	-	-	-	7	1	0	キャンプ実習参加
9/9.13.14.15	空手道部	8	-	2	-	1	7	1	0	空手道選手権大会出場
10/24.26	教育学部	18	5	-	-	-	13	4	1	ロードレース実習参加
11/8.9.14.15	空手道部	13	2	1	-	1	11	2	0	空手道選手権大会出場

表37 スポーツ関係者の健康診断実施結果(2023年度)

実施日	サークル名 団体名	受診者数	有所見者数				異常なし	要注意	中止	受検理由(参加大会、行事名)
			問診・診察	尿	血圧	心電図				
4/6.10.11.14.25	空手道部	7	1	1	-	-	6	1	0	空手道選手権大会出場
7/12.18	教育学部	26	4	-	-	-	22	4	0	キャンプ実習参加
8/28.30,9/4.6	空手道部	10	1	1	-	-	9	1	0	空手道選手権大会出場
10/23,11/1.2.6.7	教育学部	20	1	-	-	-	19	1	0	ロードレース実習参加
11/8.9.14.15	空手道部	10	2	-	-	-	8	2	0	空手道選手権大会出場

2) 獣医師免許取得のための健康診断

(1) 対象と概要

対象は共同獣医学部獣医学科 6 年生である。対象者の条件として、学生定期健康診断を全項目受診していることと、その年度に卒業見込みであることの 2 つを満たしていなければならない。

12 月下旬頃に共同獣医学部学務係より依頼を受け、例年 1~2 月に健康診断を実施している。感染症対策として、学部を通して事前に質問票 (SDS) を配布し、集計結果を確認のうえ、個別面談を行っている。

(2) 受診状況

2022 年及び 2023 年度の受診者数と健康診断実施期間は以下の通りである (表 38)。

表 38 獣医師免許取得に伴う健康診断概要

年度	受診者数	質問票提出・面談期間
2022	35 名	1/16~1/27
2023	27 名	1/15~1/26

3) 肺結核接触者健康診断

(1) 対象と概要

「肺結核」の学生・職員が発生した場合は、保健所の指示に従い必要な対応を行っている。

(2) 受診状況

2022 年度に「肺結核」と診断された学生・職員はいなかった。2023 年度では、学生定期健康診断後の精密精査で学生 1 名が結核と診断されたが、無症状のため接触者健康診断は行われなかった。

4) 帰国後健康状況チェック

(1) 対象と概要

山口大学では、1 か月(原則 28 日) 間以上海外に滞在した学生を対象に、帰国後 1 か月間の健康チェックを実施している。

帰国時~帰国後最低 2 週間は、体調不良の有無を「健康状況チェックリスト」を参考に、各自で健康状態のチェックを行い、該当する症状がある場合には速やかに医療機関への相談・受診を促すものである。なお、帰国後 1 か月を目処に、「帰国後 1 か月間の健康状況報告書」を保健管理センターに提出をお願いしている。

(2) 受診状況

2022 年度の健康状況報告書の提出者数は 19 名、2023 年度では 77 名であった。2022 年度は新型コロナウイルス感染症流行が影響し、提出者数は例年に比べ少ない状況であったが、2023 年度は「該当症状あり」のものは、2022 年度 0 名、2023 年度 2 名であった。症状のあった 2 名については、いずれも医療機関を受診しており、症状の改善を確認している。

学部別・渡航先別・渡航目的別での提出状況は以下の通りである。

表 39 2022 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（学部別）

令和4年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(学部別) ※令和5年3月31日分まで集計

月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
学部 研究科	チェックリスト 該当の有無	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	合計
	学部	人文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
経済		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共同獣医		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際総合		0	0	0	0	4	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
大学院		人文科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
理工学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
創成科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
技術経営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
共同獣医学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
遠合農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1	0	0	5	0	4	2	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	

表 40 2022 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航先別）

令和4年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(渡航先別) ※令和5年3月31日分まで集計

月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
渡航先	チェックリスト 該当の有無	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	合計
	アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0
・中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
・台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
・タイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	
・ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・フィリピン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・シンガポール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・マレーシア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
・スリランカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・ウガンダ共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
・フランス	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
・イギリス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・スイス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・スペイン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・リトアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・ラトビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北アメリカ	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
・アメリカ合衆国	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
・カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南アメリカ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
・ブラジル	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
・メキシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
・ニュージーランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1	0	0	5	0	4	2	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	

表 41 2022 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航目的別）

令和4年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(渡航目的別) ※令和5年3月31日分まで集計

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	合計	
渡航目的	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	合計	
チェックリスト 該当の有無	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	
留学	1	0	0	0	5	0	0	0	4	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	
研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
個人旅行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
一時帰国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	5	0	0	0	4	0	2	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	

表 42 2023 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（学部別）

令和5年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(学部別) ※令和6年3月31日分まで集計

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	合計
学部	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	該当者数	無	合計
研究科	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
人文	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
教育	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0
経済	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0
理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	
工	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	10	1
農	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
共同獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
国際総合	0	0	0	0	3	0	9	0	11	0	7	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	38	0	
人文科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創成科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1
技術経営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共同獣医学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	0	2	0	4	0	9	0	13	0	11	0	10	2	9	0	3	0	1	0	2	0	5	0	75	2	

表 43 2023 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航先別）

令和5年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(渡航先別) ※令和6年3月31日分まで集計

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	チェックリスト 該当の有無	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり
アジア	0	0	0	0	1	0	5	0	7	0	7	0	8	1	8	0	1	0	1	0	1	0	4	0	43	1	
-中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
-韓国	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	2	0	14	0	
-台湾	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	
-タイ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	8	1	
-ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-フィリピン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	0	
-インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
-シンガポール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-マレーシア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
-カンボジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-ウガンダ共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヨーロッパ	3	0	0	0	0	0	3	0	3	0	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	16	1	
-フランス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
-イギリス	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	
-ドイツ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
-スイス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-スペイン	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
-ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	
-リトアニア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
-デンマーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
北アメリカ	3	0	1	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	12	0	
-アメリカ合衆国	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	8	0		
-カナダ	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0		
南アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-ブラジル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-メキシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
オセアニア	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
-オーストラリア	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	
-ニュージーランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	6	0	2	0	4	0	9	0	13	0	11	0	10	2	9	0	3	0	1	0	2	0	5	0	75	2	

表 44 2023 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航目的別）

令和5年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(渡航目的別) ※令和6年3月31日分まで集計

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	チェックリスト 該当の有無	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	合計	
留学	4	0	0	0	4	0	9	0	13	0	9	0	3	2	3	0	3	0	1	0	2	0	3	0	54	2	
研修	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	16	0
個人旅行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一時帰国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
合計	6	0	2	0	4	0	9	0	13	0	11	0	10	2	9	0	3	0	1	0	2	0	5	0	75	2	

Ⅱ 職員の健康管理

Ⅱ 職員の健康管理

一般定期健康診断については、山口大学職員労働安全衛生規則第26条に基づいて年1回の実施している。また、労働安全衛生規則第13条あるいは労働安全衛生法施行令第22条に掲げる業務に常時従事している職員(特定業務あるいは特殊業務従事者)に対しては、6ヵ月(半年)ごとに健康診断を実施している。

1. 定期健康診断

1) 対象と概要

職員の健康診断は、山口市(吉田地区<附属小・中学校、幼稚園、特別支援学校を含む>)、宇部市(常盤地区・小串地区)、光市(光地区<附属小・中学校>)の大きく4地区に分けて実施している。

本学で実施している定期一般健診の検査項目と各項目の対象者を表1に示した。●印は全員が行う項目(必須項目)、○印は医師が必要と認めた者及び大学が定めた者に行う項目、△印は希望者に行う項目を表す。

職員の定期健康診断は、安全衛生対策室が実施主体であるが、基本健診の実実施計画立案や外部検査機関との調整は保健管理センターが行っている。大まかな役割分担としては、実施通知や受診対象者の把握、検査物品等の事前配付及び結果報告書配付などの事務的な作業は安全衛生対策室が担当し、健康診断実施に関する実働的な作業(検査物品の調達・準備、案内書類の作成や健診会場の設営、健康診断結果の整理・判定作業、結果通知報告書作成など)は、保健管理センターが担当している。健康診断の外注化が検討され、2018年度から光地区附属学校職員、2021年度から山口地区附属学校職員の定期一般健診について健診委託業者による学内実施に変更された。また、2019年度には外部委託医療機関で実施していた雇用時健診が健診委託業者による学内実施に変更され、受診者の利便性の向上・雇用時健診費用の削減が図られた。コロナ禍の対応として、健診会場内での混雑を避けるため、2021年度からWeb予約制を導入した。さらに、2022年度には事前配付していた健康診断問診票を廃止しWeb問診を導入し、健康診断の効率化に努めている。

表1 各検査の対象者および検査項目

検査項目	対象者区分				備考	
	34才以下	35才	36~39才	40才以上		
基本健診	身体計測(BMI)	●	●	●	●	
	血圧検査	●	●	●	●	
	尿検査	●	●	●	●	蛋白、糖、潜血
	胸部X線検査	●	●	●	●	※2019年~デジタル撮影
	聴力検査	○	●	○	●	※○:問診による会話法
	視力検査	●	●	●	●	
	腹囲計測	—	●	—	●	BMI20未満の人は省略可
	心電図検査	—	●	—	●	
	血液検査	○	●	○	●	末梢血(WBC、RBC、Hb、Ht) 肝機能(AST、ALT、γ-GT) 脂質(LDL・HDLコレステロール、中性脂肪) その他(血糖、尿酸、血清アミラーゼ、 総コレステロール、血小板、クレアチニン) ※○:39歳以下の年度末奇数年齢
	内科診察	●	●	●	●	自覚症状・他覚症状、既往歴、 業務歴等問診票に基づく問診
※ 肺がん検診	—	—	—	△	胸部X線(デジタル)、喀痰検査	
※ 大腸がん検診	—	—	—	△	便潜血反応検査(2日法)	
※ 前立腺がん検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	
※ 胃がんリスク検診	△	△	△	△	※2017年から一般定期健康診断と同時実施	

2022年度及び2023年度の各地区の定期健康診断時期及び実施場所は表2の通りであった。

表2 各地区の実施日および実施場所

	地区名	実施時期	実施場所
2022 年度	吉田	雇用時健診・附属学校(幼・小・中学校・特別支援学校)一般定期健診同時期実施:4/4(月) ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺) ※附属学校職員の前立腺がん、胃がんリスク検診は吉田一般定期健診と同時実施	大学会館
		一般定期健診:7/20(水)~7/28(木) * 受付:9:00~12:00 ※附属学校職員(幼・小・中学校・特別支援学校)の前立腺がん、胃がんリスク検診含む	保健管理センター
	小串	雇用時健診:4/7(木)~4/8(金) ※常盤地区雇用者含む ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター)	医学部医心館(保健管理センター小串分室)
		一般定期健診:9/7(水)~15(木)・27(火) * 受付:9:00~12:00、13:30~15:30	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※全日程胸部X線検診車2台体制
	常盤	一般定期健診:8/8(月)~10(水) * 受付:9:00~12:00	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
	光	一般定期・雇用時健診:4/6(水) ※健診委託業者により健診実施(結果判定・通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	附属光中学校保健室
	2023 年度	吉田	雇用時健診・附属学校(・幼・小・中学校・特別支援学校)一般定期健診同時期実施:4/4(火) ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺・胃) ※附属学校職員の前立腺がん、胃がんリスク検診は吉田一般定期健診と同時実施
一般定期健診:7/19(水)~7/27(木) * 受付:9:00~12:00 ※附属学校職員(幼・小・中学校・特別支援学校)の前立腺がん、胃がんリスク検診含む			保健管理センター
小串		雇用時健診:4/6(木)~4/7(金) ※常盤地区雇用者含む ※健診委託業者により健診実施(個人結果通知は健診委託業者、有所見者への通知作業は保健管理センター)	医学部医心館(保健管理センター小串分室)
		一般定期健診:9/5(火)~14(木) * 受付:9:00~12:00、13:30~15:30	医学部医心館(保健管理センター小串分室) ※全日程胸部X線検診車2台体制
常盤		一般定期健診:8/2(水)~4(金) * 受付:9:00~12:00	工学部保健室(保健管理センター常盤分室)
光		一般定期健診・雇用時健診:4/5(水) ※健診委託業者により健診実施(結果判定・通知作業は保健管理センター) ※がん検診(大腸・肺・前立腺)、胃がんリスク検診	附属光中学校保健室

2) 受診状況

(1) 職員健康診断概況

2020年1月に日本国内で新型コロナウイルス感染症が発生し、職員健康診断での感染拡大防止対策として、大幅に健診体制の見直しが余儀なくされた。受付時に体温チェックや緊急事態宣言地域からの帰着の聞き取り、検査機器の消毒や胸部X線検査受診前後の手指消毒などの対応が必要となったため、雇用健診スタッフも増員せざるを得ない状況であった。また、診察は聴診が必要となるため、接触を避ける目的と診察の待ち時間での混雑をさけるため、初年度(2020年度)は、当日の診察は実施しないこととし、医師の判断で受診が必要な人や診察希望者は後日受診してもらう形とした。聴力に関しても、健診時の混雑緩和の為、これまで全職員にオーディオメーターで実施していたところを、若年者(40歳未満<35歳を除く>)は会話法でも可能とした。尿検査は、健診当日に随時尿で検査していたところを、事前にピーポールを配布して当日尿を持参してもらうなどの対応で実施した。2021年度からは、部署や誕生月等で受診者割振をしていたところを、吉田地区および常盤地区においては、Web予約システムを導入して受診者の分散を実現し、健診会場内での混雑を避けるよう工夫した。小串地区では診察医師を3名体制とすることで、健診当日の内科診察を復活した。2022年度からは、さらにWeb問診システムの導入により、健康診断の一部ペーパーレス化を実現した。健診会場内での感染防止のため、2022年度及び2023年度ともに、健診会場内での不織布マスク着用および手指消毒に協力してもらい、若年者の聴力は、引き続き、会話法で実施した(有自覚者を除く)。

コロナ禍を機に、健康診断の受診方法がWeb予約・Web問診へと変更され、導入準備にかかる看護職の負担は多大であったが、受診時の混雑を緩和することができ、受診者からも受診時間を自身で選択できると好評であったため、今後も引き続き、現システムを継続していく予定である。

以下に2022年度及び2023年度の職員健康診断受診状況を表3、4に示した。受診者は、保健管理センターで実施する学内で健康診断を受診した者の他に、雇入時健康診断、人間ドック、その他健康診断の結果を提出した者の総数である(週当たり20時間以上勤務者+特定業務従事者)。

大学法人化以降は、職員健康診断の受診義務及び未受診者への措置が明記されたことで、健康診断受診の意識は高まり、2017年度ついに100%を達成した。その後、100%に至らない年度もあったが、2020年度は再び100%を達成した。2021年度以降は各年度ともに未受診者1~2名程度で推移している。

また、健診受診者の事後措置に対するフォローアップを充実させるため、精密検査が必要と判定された者に対し、「要精査」・「要医療」・「要治療」と判定区分レベルを設けて、異常の程度に応じて受診勧奨を行い、二次検査結果の報告を求めることとしている。現時点において、学内規則等で二次検査結果報告の義務は定めておらず任意報告となっているが、就業上の配慮について検討するため、「要医療」及び「要治療」判定区分であった者にはより強い受診勧奨、「要精査」判定区分であった者には、できる限り報告するよう協力と理解を求めている。なお、二次健康診断等給付についても全職員にメールで積極的にアナウンスし、二次精査受診を促している。2017年度より二次精査受診を促進するために受診においては、職務専念義務免除を適応し、所属の勤務時間管理員に申し出るよう手順の周知も行っている。

今後も一次健診受診率の維持、向上を図るとともに、健診後のフォローアップについても充実させ、山口大学全体の心身の健康状態を高めるよう働きかけていく必要がある。

表3 職員健康診断受診状況(2022年度)

令和5年7月4日現在

部局	定期健診対象者数(A)	定期健診受診者数(B)	定期健診受診者数内訳		受診率(B/A)	未受診者数(A-B)	受診予定未確定数	
			保健管理センター受診	他受診				
人文学部	50	50	47	3	100.00%	0	0	
教育学部	104	104	92	12	100.00%	0	0	
教育学部 附属学校園	附属山口小学校	28	28	28	0	100.00%	0	0
	附属山口中学校	28	28	28	0	100.00%	0	0
	附属特別支援学校	34	34	34	0	100.00%	0	0
	附属幼稚園	12	12	12	0	100.00%	0	0
	附属光小学校	32	32	32	0	100.00%	0	0
	附属光中学校	21	21	21	0	100.00%	0	0
経済学部 東アジア研究科	81	81	65	13	100.00%	0	0	
理学部	77	76	67	9	98.70%	1	1	
医学部	491	491	470	18	100.00%	0	0	
附属病院	1,519	1,519	1,504	15	100.00%	0	0	
工学部 技術経営研究科	248	248	210	35	100.00%	0	0	
農学部	48	48	38	10	100.00%	0	0	
共同獣医学部	83	83	75	8	100.00%	0	0	
国際総合科学部	36	36	32	4	100.00%	0	0	
学長室 内部監査室 総務企画部	学長室	10	10	6	4	100.00%	0	0
	内部監査室	4	4	1	3	100.00%	0	0
	総務課	19	19	17	2	100.00%	0	0
	人事課	48	48	43	5	100.00%	0	0
	企画・評価課	6	6	5	1	100.00%	0	0
	地域連携課	12	12	8	4	100.00%	0	0
情報企画課 情報基盤センター	吉田	10	10	10	0	100.00%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.00%	0	0
	小串	1	1	1	0	100.00%	0	0
財務部	財務課	27	27	21	6	100.00%	0	0
	契約課	20	20	20	0	100.00%	0	0
施設環境部	23	23	19	4	100.00%	0	0	
教育・学生支援機構 学生支援部	吉田	87	87	58	19	100.00%	0	0
	小串	3	3	3	0	100.00%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.00%	0	0
大学研究推進機構 時間学研究所 学術研究部	吉田	32	31	26	5	96.88%	1	1
	小串	42	42	39	2	100.00%	0	0
	常盤	35	35	31	2	100.00%	0	0
学術基盤部	吉田	25	25	24	1	100.00%	0	0
	小串	4	4	4	0	100.00%	0	0
	常盤	3	3	3	0	100.00%	0	0
総合技術部	吉田	14	14	14	0	100.00%	0	0
	小串	6	6	5	1	100.00%	0	0
	常盤	27	27	27	0	100.00%	0	0
計	3,365	3,363	3,159	182	99.94%	2	2	

・長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があって受診できない者は、定期健診対象者から除いています。

・定期健診受診者内訳欄の項目「他受診」は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を受領した人数を示しています。

表4 職員健康診断受診状況(2023年度)

令和6年3月31日

部局等	定期健診 対象者数 (A)	定期健診 受診者数 (B)	定期健診受診者数内訳		受診率 (B/A)	未受診者数 (A-B)	受診予 定未確 定数	
			健康科学 センター 受診	外部受診				
人文学部	47	46	37	9	98.0%	1	1	
教育学部	95	95	76	19	100.0%	0	0	
教育学部 附属学校園	附属山口小学校	26	26	26	0	100.0%	0	0
	附属山口中学校	22	22	22	0	100.0%	0	0
	附属特別支援学校	34	34	34	0	100.0%	0	0
	附属幼稚園	10	10	8	2	100.0%	0	0
	附属光小学校	31	31	31	0	100.0%	0	0
	附属光中学校	19	19	18	1	100.0%	0	0
経済学部	71	71	56	15	100.0%	0	0	
理学部	70	70	58	12	100.0%	0	0	
医学部	472	472	435	37	100.0%	0	0	
附属病院	1,284	1,284	1,247	37	100.0%	0	0	
工学部	236	236	186	50	100.0%	0	0	
農学部	42	42	31	11	100.0%	0	0	
共同獣医学部	83	83	72	11	100.0%	0	0	
国際総合科学部	36	36	26	10	100.0%	0	0	
大学院東アジア研究科	4	4	2	2	100.0%	0	0	
学長室 総務企画部	学長室	9	9	4	5	100.0%	0	0
	内部監査室	7	7	3	4	100.0%	0	0
	総務課	18	18	12	6	100.0%	0	0
	人事課	54	54	46	8	100.0%	0	0
	企画・評価課	6	6	4	2	100.0%	0	0
	地域連携課	12	12	5	7	100.0%	0	0
情報企画課 情報基盤センター	吉田	9	9	8	1	100.0%	0	0
	小串	1	1	1	0	100.0%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.0%	0	0
財務部	財務課	26	26	21	5	100.0%	0	0
	契約課	17	17	17	0	100.0%	0	0
施設環境部	17	17	14	3	100.0%	0	0	
教育・学生支援機構 学生支援部	吉田	88	88	71	17	100.0%	0	0
	小串	3	3	3	0	100.0%	0	0
	常盤	5	5	5	0	100.0%	0	0
大学研究推進機構 時間学研究所 学術研究部	吉田	36	36	29	7	100.0%	0	0
	小串	29	29	29	0	100.0%	0	0
	常盤	43	43	37	6	100.0%	0	0
学術基盤部	吉田	23	23	21	2	100.0%	0	0
	小串	4	4	4	0	100.0%	0	0
	常盤	4	4	4	0	100.0%	0	0
総合技術部	吉田	10	10	10	0	100.0%	0	0
	小串	4	4	4	0	100.0%	0	0
	常盤	26	26	25	1	100.0%	0	0
計	3,037	3,036	2,746	290	99.97%	1	1	

・長期出張、病気休業・育児休業中等の理由があって受診できない者は、定期健診対象者から除いています。

・「健康科学センター受診」欄は、学内で実施した一般定期職員健康診断(7月～9月)を受診し、健診結果通知を行った時点での受診者数を示しています。

・「外部受診」欄は、人間ドック、雇入時健康診断、海外派遣時健診、他医療機関等を受診し、健診結果を提出(受領)した人数を示しています。

(2) 体格 (BMI)

2022 年度及び 2023 の BMI 値による判定結果を表 5、6 に示した。

事業場別にみると、2022 年度及び 2023 年度ともに正常範囲であった者は、約 6~7 割程度みられている。附属学校は母数が少ないこともあり、男性は約 5~6 割、女性は約 9 割となっている。男女別にみると、2022 年度も 2023 年度も女性は男性と比較し、低体重の人の割合が高かった。

表 5 BMI (体格) 判定結果 (事業場別)

2022 年度

	受検者数		判定結果区分 (%)											
			やせ		適正		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
吉田	男	364	11	3.0%	245	67.3%	99	27.2%	7	1.9%	2	0.5%	0	0.0%
	女	261	63	24.1%	167	64.0%	23	8.8%	6	2.3%	2	0.8%	0	0.0%
常盤	男	172	5	2.9%	113	65.7%	47	27.3%	6	3.5%	1	0.6%	0	0.0%
	女	92	13	14.1%	69	75.0%	7	7.6%	2	2.2%	1	1.1%	0	0.0%
小串・病院	男	587	24	4.1%	391	66.6%	142	24.2%	25	4.3%	4	0.7%	1	0.2%
	女	1267	267	21.1%	852	67.2%	117	9.2%	23	1.8%	7	0.6%	1	0.1%
附属学校	男	15	2	13.3%	9	60.0%	4	26.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	女	9	1	11.1%	8	88.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	男	1138	42	3.7%	758	66.6%	292	25.7%	38	3.3%	7	0.6%	1	0.1%
	女	1629	344	21.1%	1096	67.3%	147	9.0%	31	1.9%	10	0.6%	1	0.1%
	合計	2767	386	14.0%	1854	67.0%	439	15.9%	69	2.5%	17	0.6%	2	0.1%

表 6 BMI (体格) 判定結果 (事業場別)

2023 年度

	受検者数		判定結果区分 (%)											
			やせ		適正		肥満1度		肥満2度		肥満3度		肥満4度	
吉田	男	377	16	4.2%	253	67.1%	94	24.9%	12	3.2%	1	0.3%	1	0.3%
	女	265	67	25.3%	169	63.8%	20	7.5%	7	2.6%	2	0.8%	0	0.0%
常盤	男	162	5	3.1%	103	63.6%	46	28.4%	7	4.3%	1	0.6%	0	0.0%
	女	94	12	12.8%	66	70.2%	13	13.8%	2	2.1%	1	1.1%	0	0.0%
小串・病院	男	585	25	4.3%	385	65.8%	148	25.3%	22	3.8%	5	0.9%	0	0.0%
	女	1218	254	20.9%	816	67.0%	117	9.6%	25	2.1%	4	0.3%	2	0.2%
附属学校	男	18	1	5.6%	9	50.0%	8	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	女	6	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	男	1142	47	4.1%	750	65.7%	296	25.9%	41	3.6%	7	0.6%	1	0.1%
	女	1583	333	21.0%	1057	66.8%	150	9.5%	34	2.1%	7	0.4%	2	0.1%
	合計	2725	380	13.9%	1807	66.3%	446	16.4%	75	2.8%	14	0.5%	3	0.1%

(3) 血圧測定

2022年度及2023年度の血圧測定結果を表7、8に示した。

男女別にみると各年度ともに、概ね8割以上の方は適正血圧に該当しているものの、男女を比較すると、女性の方が適正血圧の割合が高く、適正血圧を超えると、逆転して男性の比率が高くなる傾向がみられた。血圧値は、測定手順や測定環境の影響を少なからず受けることが考えられるため、健康診断時には服装や測定のタイミング、室温や緊張感を与えない雰囲気等の環境づくりにも配慮する必要がある。小串・附属病院地区では健診会場が2階にあるため、1階にエレベーターを使用についてのアナウンスをする等の配慮をしている。

表7 血圧判定結果(事業場別)

2022年度

事業場	受検者数		所見内訳										指導区分		
			低血圧		適正血圧		高血圧傾向		軽症高血圧		高血圧		有所見者		要管理者
													d2以上	c1以上	
吉田	男	365	0	0.0%	306	83.8%	25	6.8%	16	4.4%	18	4.9%	59	16.2%	18
	女	261	0	0.0%	246	94.3%	9	3.4%	2	0.8%	4	1.5%	15	5.7%	4
常盤	男	172	2	1.2%	142	82.6%	12	7.0%	4	2.3%	12	7.0%	30	17.4%	12
	女	92	3	3.3%	88	95.7%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.3%	0
小串・附属病院	男	587	0	0.0%	454	77.3%	59	10.1%	41	7.0%	33	5.6%	133	22.7%	33
	女	1267	8	0.6%	1139	89.9%	56	4.4%	35	2.8%	29	2.3%	128	10.1%	29
附属学校	男	15	0	0.0%	15	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	女	9	0	0.0%	9	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	男	1139	2	0.2%	917	80.5%	96	8.4%	61	5.4%	63	5.5%	222	19.5%	63
	女	1629	11	0.7%	1482	91.0%	66	4.1%	37	2.3%	33	2.0%	147	9.0%	33
	総計	2768	13	0.5%	2399	86.7%	162	5.9%	98	3.5%	96	3.5%	369	13.3%	96

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表8 血圧判定結果(事業場別)

2023年度

事業場	受検者数		所見内訳										指導区分		
			低血圧		適正血圧		高血圧傾向		軽症高血圧		高血圧		有所見者		要管理者
													d2以上	c1以上	
吉田	男	377	0	0.0%	303	80.4%	35	9.3%	20	5.3%	19	5.0%	74	19.6%	19
	女	265	1	0.4%	251	94.7%	8	3.0%	3	1.1%	2	0.8%	14	5.3%	2
常盤	男	162	1	0.6%	131	80.9%	18	11.1%	4	2.5%	8	4.9%	31	19.1%	8
	女	94	1	1.1%	91	96.8%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.2%	0
小串・附属病院	男	585	0	0.0%	476	81.4%	52	8.9%	34	5.8%	23	3.9%	109	18.6%	23
	女	1218	5	0.4%	1131	92.9%	40	3.3%	23	1.9%	19	1.6%	87	7.1%	19
附属学校	男	18	0	0.0%	18	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	女	6	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	男	1142	1	0.1%	928	81.3%	105	9.2%	58	5.1%	50	4.4%	214	18.7%	50
	女	1583	7	0.4%	1479	93.4%	49	3.1%	27	1.7%	21	1.3%	104	6.6%	21
	総計	2725	8	0.3%	2407	88.3%	154	5.7%	85	3.1%	71	2.6%	318	11.7%	71

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(4)尿検査

2022年度及び2023年度の尿検査結果を表9、10に示した。2022年度と2023年度の尿蛋白の有所見者の割合は1割未満である。また、尿糖の有所見者の割合も全体としては1割未満となっていたが、事業場別にみると、尿蛋白の有所見者の割合に大きな違いはみられないものの、尿糖は常盤地区の男性の有所見者の割合が高かった。

表9 尿検査結果(事業場別)

2022年度

事業所	受験者数		一次検査					
			蛋白尿			尿糖		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	362	8	2.2%	4	10	2.8%	10
	女	261	1	0.4%	0	2	0.8%	2
常盤	男	172	6	3.5%	1	10	5.8%	10
	女	91	1	1.1%	0	2	2.2%	0
小串・附属病院	男	585	9	1.5%	4	11	1.9%	6
	女	1266	25	2.0%	3	17	1.3%	13
附属学校	男	15	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	女	9	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	1134	23	2.0%	5	31	2.7%	26
	女	1627	27	1.7%	15	21	1.3%	15
	計	2761	50	1.8%	20	52	1.9%	45

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

表10 尿検査結果(事業場別)

2023年度

事業所	受験者数		一次検査					
			蛋白尿			尿糖		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	374	12	3.2%	1	6	1.6%	5
	女	265	8	3.0%	1	4	1.5%	3
常盤	男	162	5	3.1%	0	10	6.2%	10
	女	94	2	2.1%	0	1	1.1%	1
小串・附属病院	男	585	19	3.2%	4	16	2.7%	11
	女	1218	42	3.4%	14	18	1.5%	15
附属学校	男	18	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	女	6	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	1139	36	3.2%	5	32	2.8%	26
	女	1583	52	3.3%	15	23	1.5%	19
	計	2722	88	3.2%	20	55	2.0%	45

※蛋白尿・尿糖は(+)以上を所見ありとした。

※d2以上(要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1以上(要精査・要医療・要治療)

(5)聴力検査

2022年度及び2023年度の聴力検査結果を表11、12に示した。

全ての地区において、高音域の有所見者の割合が高くなっている。年齢とともに高音域が聞こえにくくなるのが要因として考えられる。2021、2022年度は小串・附属病院地区においては、低音域の有所見者が多かったことから、経過をみていたが、このたび特に低音域の有所見者の増加はみられなかった。聴力検査の所見には、検査環境が少なからず影響していると思われる。聴力検査を実施する部屋は、設備の都合上、完全に防音できていないため、検査時の周囲の環境次第では誤判定してしまうことが否定できない。環境設備面に関しては、今後も引き続き、検査の正確性を確保するための工夫や配慮が必要と考えられた。

表11 聴力検査結果(事業場別)

2022年度

事業所	受験者数		一次検査（オーディオメーターによる検査）					
			1000Hz			4000Hz		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	365	9	2.5%	0	21	5.8%	2
	女	261	2	0.8%	0	6	2.3%	1
常盤	男	172	7	4.1%	2	8	4.7%	1
	女	92	0	0.0%	0	1	1.1%	0
小串・附属病院	男	587	9	1.5%	1	12	2.0%	0
	女	1267	11	0.9%	1	17	1.3%	0
附属学校	男	15	0	0.0%	0	1	6.7%	1
	女	9	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	1139	25	2.2%	3	42	3.7%	4
	女	1629	13	0.8%	1	24	1.5%	1
	計	2768	38	1.4%	4	66	2.4%	5

※d2以上（要観察・要注意・要精査・要医療・要治療） c1以上（要精査・要医療・要治療）

表12 聴力検査結果(事業場別)

2023年度

事業所	受験者数		一次検査（オーディオメーターによる検査）					
			1000Hz			4000Hz		
			有所見者		要管理者	有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上	d2以上		c1以上
吉田	男	309	9	2.9%	1	25	8.1%	1
	女	196	1	0.5%	0	5	2.6%	0
常盤	男	138	5	3.6%	3	9	6.5%	3
	女	77	0	0.0%	0	1	1.3%	0
小串・附属病院	男	357	9	2.5%	0	15	4.2%	1
	女	716	15	2.1%	0	22	3.1%	2
附属学校	男	11	0	0.0%	0	1	9.1%	0
	女	4	0	0.0%	0	0	0.0%	0
合計	男	815	23	2.8%	4	50	6.1%	5
	女	993	16	1.6%	0	28	2.8%	2
	計	1808	39	2.2%	4	78	4.3%	7

※d2以上（要観察・要注意・要精査・要医療・要治療） c1以上（要精査・要医療・要治療）

(6)胸部 X 線検査

2022 年度及び 2023 年度の胸部 X 線検査結果を表 13、14 に示した。

有所見者数について 2022 年度は 2020 年度、2021 年度と比較しても大きな変化はみられなかったが、2023 年度より要管理者が増加している。この要因の 1 つとして 2023 年度より健診業者が変わったことが考えられる。また、二次検査結果は直接 X 線撮影や、胸部 CT 検査にて異常なしとの結果であるが、中には腫瘍や肺炎、肺気腫などが判明し、治療が必要となってケースもあるため、二次精密検査は必ず受診する必要がある。胸部 X 線有所見者（要精査者以上）については、感染症等の観点からも必ず受診していただきたい。

表 13 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		所見内訳			指導区分		
			肺野所見	肺野外	結核	有所見者		要管理者
				所見	(疑い 含)	d2以上	c1以上	
吉田	男	257	5	0	0	19	7.4%	0
	女	363	16	1	0	5	1.4%	0
常盤	男	172	4	1	0	5	2.9%	0
	女	90	2	0	0	2	2.2%	0
小串・附 属病院	男	587	27	1	0	8	1.4%	1
	女	1231	9	1	0	27	2.2%	1
附属学校	男	15	0	0	0	0	0.0%	0
	女	9	0	0	0	0	0.0%	0
合計	男	1031	36	2	0	32	3.1%	1
	女	1693	27	2	0	34	2.0%	1
	計	2724	63	4	0	66	2.4%	2

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

表 14 胸部 X 線検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		所見内訳			指導区分		
			肺野所見	肺野外	結核	有所見者		要管理者
				所見	(疑い 含)	d2以上	c1以上	
吉田	男	376	16	0	0	16	4.3%	3
	女	263	5	1	0	5	1.9%	1
常盤	男	162	6	0	0	5	3.1%	2
	女	93	1	0	0	0	0.0%	0
小串・附 属病院	男	583	17	1	0	17	2.9%	3
	女	1194	25	11	0	34	2.8%	8
附属学校	男	18	0	1	0	1	5.6%	1
	女	6	0	0	0	0	0.0%	0
合計	男	1139	39	2	0	39	3.4%	9
	女	1556	31	12	0	39	2.5%	9
	計	2695	70	14	0	78	2.9%	18

※d2 以上（要観察・要精査） c1 以上(要精査)

(7) 血液検査

2022 年度及び 2023 年度の血液検査結果を表 15、16 に示した。

検査項目は、末梢血検査(赤血球、白血球、ヘマトクリット、ヘモグロビン)、肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、脂質検査(LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪)、その他(血糖、血清アミラーゼ、尿酸)であるが、労働基準監督署に報告が必要である、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査の有所見者および要管理者を以下に示した。有所見率として最も高いのが血中脂質検査である。次いで肝機能検査の有所見者の割合が高くなっている。貧血検査に関しての有所見率は女性で高くなっている。

表 15 血液検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		一次検査														
			貧血検査				肝機能検査				血中脂質検査				血糖検査		
			有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上		d2以上		c1以上		d2以上		c1以上		d2以上		c1以上
吉田	男	334	18	5.4%	8	70	21.0%	28	159	47.6%	39	61	18.3%	14			
	女	232	15	6.5%	10	20	8.6%	6	68	29.3%	23	25	10.8%	0			
常盤	男	160	12	7.5%	5	37	23.1%	14	79	49.4%	21	34	21.3%	9			
	女	78	8	10.3%	5	6	7.7%	1	26	33.3%	7	9	11.5%	0			
小串・附属病院	男	536	41	7.6%	8	136	25.4%	72	259	48.3%	77	74	13.8%	11			
	女	1203	111	9.2%	45	170	14.1%	37	324	26.9%	91	94	7.8%	12			
附属学校	男	10	0	0.0%	0	2	20.0%	0	3	30.0%	1	0	0.0%	0			
	女	7	1	14.3%	0	3	42.9%	0	3	42.9%	2	2	28.6%	1			
合計	男	1040	71	6.8%	21	245	23.6%	114	500	48.1%	138	169	16.3%	34			
	女	1520	135	8.9%	60	199	13.1%	44	421	27.7%	123	130	8.6%	13			
	計	2560	206	8.0%	81	444	17.3%	158	921	36.0%	261	299	11.7%	47			

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

表 16 血液検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		一次検査														
			貧血検査				肝機能検査				血中脂質検査				血糖検査		
			有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者		有所見者		要管理者
			d2以上		c1以上		d2以上		c1以上		d2以上		c1以上		d2以上		c1以上
吉田	男	336	19	5.7%	12	86	25.6%	44	166	49.4%	48	46	13.7%	12			
	女	226	14	6.2%	9	27	11.9%	5	71	31.4%	24	12	5.3%	2			
常盤	男	146	6	4.1%	3	45	30.8%	19	85	58.2%	19	30	20.5%	10			
	女	84	5	6.0%	4	10	11.9%	2	25	29.8%	9	4	4.8%	0			
小串・附属病院	男	527	30	5.7%	8	144	27.3%	76	260	49.3%	67	51	9.7%	17			
	女	1130	92	8.1%	52	158	14.0%	31	308	27.3%	73	71	6.3%	10			
附属学校	男	12	0	0.0%	0	2	16.7%	0	4	33.3%	1	0	0.0%	0			
	女	6	0	0.0%	0	1	16.7%	0	2	33.3%	1	1	16.7%	0			
合計	男	1021	55	5.4%	23	277	27.1%	139	515	50.4%	135	127	12.4%	39			
	女	1446	111	7.7%	65	196	13.6%	38	406	28.1%	107	88	6.1%	12			
	計	2467	166	6.7%	88	473	19.2%	177	921	37.3%	242	215	8.7%	51			

※d2 以上 (要観察・要注意・要精査・要医療・要治療) c1 以上(要精査・要医療・要治療)

(8)心電図検査

2022 年度及び 2023 年度の心電図検査結果を表 17、18 に示した。表中の数字は、各所見に該当する有所見者の人数を延べ数で示している。

心電図検査は、原則として 35 歳及び 40 歳以上の者を実施しているが、39 歳未満の者でも、診察時に医師から指示があった者については検査を実施している。心電図所見の確定と指導区分は、2010 年度から、より効率良く判定を行うため、診察医が必要と認めた場合には、保健管理センター非常勤医師(循環器専門医)に判定を依頼している。受検者数は年々増加しており、有所見者数もそれに伴って高くなる傾向がみられた。

表 17 心電図検査結果(事業場別)

2022 年度

事業所	受験者数		所見内訳					指導区分		
			ST-T 変化	Q波	高電位	不整脈	その他	有所見者		要管理者 c1以上
								d2以上		
吉田	男	292	2	1	1	8	65	11	3.8%	5
	女	178	5	0	0	3	37	9	5.1%	2
常盤	男	144	2	1	0	7	18	5	3.5%	2
	女	73	2	1	0	0	3	3	4.1%	1
小串・附 属病院	男	336	9	0	0	12	39	27	8.0%	2
	女	668	18	2	0	10	88	61	9.1%	10
附属学校	男	6	0	0	0	0	1	0	0.0%	0
	女	7	0	0	0	0	2	0	0.0%	0
合計	男	778	13	2	1	27	123	43	5.5%	9
	女	926	25	3	0	13	130	73	7.9%	13
	計	1704	38	5	1	40	253	116	6.8%	22

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

表 18 心電図検査結果(事業場別)

2023 年度

事業所	受験者数		所見内訳					指導区分		
			ST-T 変化	Q波	高電位	不整脈	その他	有所見者		要管理者 c1以上
								d2以上		
吉田	男	306	3	1	1	12	61	50	16.3%	5
	女	192	3	1	0	6	30	21	10.9%	3
常盤	男	132	5	0	0	4	18	10	7.6%	2
	女	71	2	0	0	0	10	3	4.2%	0
小串・附 属病院	男	335	2	0	0	14	43	40	11.9%	7
	女	662	22	3	0	8	99	84	12.7%	17
附属学校	男	10	0	0	1	0	2	1	10.0%	0
	女	4	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
合計	男	783	0	0	0	0	0	101	12.9%	14
	女	929	0	0	0	0	0	108	11.6%	20
	計	1712	37	3	1	43	263	209	12.2%	34

※ ST-T 変化には、ST 低下(上昇)・陰性 T・平低 T・高い T 波を含む

※ 不整脈には、上室性期外収縮・心室性期外収縮・房室ブロック・心房細動・WPW 症候群・ブルガダ症候群を含む

2. 特定業務従事者健康診断

1) 対象と概要

保健管理センターでは、労働安全衛生規則第 45 条に基づき、年に 2 回、規定の業務(労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号*)に従事する職員に対し、特定業務従事者健康診断を行っている。

各地区の実施時期、及び実施場所は表 19 のとおりであるが、健診項目は定期健康診断と同様のため、第 1 回目は定期健康診断と合わせて行っている。また、第 2 回目の項目は、身長・体重、血圧、視力、聴力、尿検査であり、胸部 X 線検査、血液検査、心電図検査は医師の判断により省略可能としているが、必要に応じて行う場合もある。

2022 年度、2023 年度における各事業場の対象者数(延べ数)は、表 20～21 のとおりである。

表 19 各地区の実施日および実施場所

地区名	実施時期		実施場所
	1 回目	2 回目	
吉田	7 月下旬～8 月上旬	1 月下旬～2 月上旬	保健管理センター
常盤	8 月下旬～9 月上旬	1 月下旬～2 月上旬	工学部保健室 (保健管理センター工学部分室)
小串 附属病院	9 月中旬	2 月中旬	医学部医心館 (保健管理センター医学部分室)

表 20 特定業務従事者健康診断対象者

2022 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	0	23	23	0	0	0	0	0	15	15	8	6	56
常盤	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	9	4	0	14
小串	1	1	17	1	0	0	0	0	0	8	2	2	8	29
附属病院	0	26	131	1	0	0	18	0	0	723	1	2	184	1131

※業務内容は延べ人数、計は実人数

表 21 特定業務従事者健康診断対象者

2023 年度

	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	計
吉田	0	0	22	20	0	0	0	0	0	12	15	9	4	49
常盤	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8	3	0	12
小串	0	1	15	11	0	0	0	0	0	6	6	3	5	47
附属病院	0	22	108	1	0	0	52	0	0	880	1	2	62	1128

※業務内容は延べ人数、計は実人数

*労働安全衛生規則第 13 条第 1 項第 2 号

イ	多量の高熱物体を取り扱う業務及び著しく暑熱な場所における業務
ロ	多量の低温物体を取り扱う業務及び著しく寒冷な場所における業務
ハ	ラジウム放射線、エックス線その他の有害放射線にさらされる業務
ニ	土石、獣毛等のじんあい又は粉末を著しく飛散する場所における業務
ホ	異常気圧下における業務
ヘ	さく岩機、鋳打機等の使用によって、身体に著しい振動を与える業務
ト	重量物の取扱い等重激な業務
チ	ボイラー製造等強烈な騒音を発する場所における業務
リ	坑内における業務
ヌ	深夜業を含む業務
ル	水銀、砒素、黄りん、弗化水素酸、塩酸、硝酸、硫酸、青酸、か性アルカリ、石炭酸 その他これらに準ずる有害物を取り扱う業務
ヲ	鉛、水銀、クロム、砒素、黄りん、弗化水素、塩素、塩酸、硝酸、亜硫酸、硫酸、一酸化炭素、二硫化炭素、青酸、ベンゼン、アニリンその他これらに準ずる有害物のガス、蒸気又は粉じんを飛散する場所における業務
ワ	病原体によって汚染のおそれが著しい業務

2) 方法と手順

健診対象者の調査は、2019年度まで健康診断の希望項目(便潜血反応検査、喀痰検査等)の調査と合わせて、安全衛生対策室及び各部局の健康診断担当係が実施していたが、2020年度より事務作業の簡略化のため希望調査の一部をWeb化し、紙面による調査が行われなくなった。そのため健診対象者調査は、各事業場の健康診断担当係と専任衛生管理者等により、それぞれの実情に合った方法で行われている。

調査内容は有害業務従事の有無、従事している場合は、その業務内容及び頻度、そして複数該当する場合は、主として従事する有害業務は何か、である。調査結果は各事業場の専任衛生管理者等が確認し、主に週1回以上、有害業務に従事していると回答した者を対象に、健康診断を実施している。

実施方法は、ほぼ定期健康診断と同様であり、対象者に事前に問診票を送付し、健診当日までに記入し持参するよう指示している。しかし、受診者が少ない場合は事前に配布せず、健康診断時受診時に記入してもらうこともある。

また、第2回目の附属病院の特定業務従事者(看護師)は各病棟で必要な検査を行い、検査結果を問診票に記入して保健管理センターに送付してもらっている。各検査結果と問診票の記載内容は保健管理センター医師が確認し、有所見者には指定された期間に保健管理センターで診察を受けるよう指示している。本来であれば全員に診察をすることが望ましいが、限られた人員と日数で行っているため、対象を絞って実施せざるを得ないのが現状である。

3) 受診状況

2022年度及び2023年度の特定業務従事者健康診断の受診状況を、表22～23に示した。表中の数字は、実施した検査の有所見者数を示している(-は未実施)。前述のとおり、第1回の特定業務従事者健康診断実施状況は定期健康診断と合わせて実施しているため、ここでは第2回目のみの受診状況を示す。

健康診断結果は、各事業場専任衛生管理者が作成し、産業医が確認した上で、安全衛生対策室を経由して所轄の労働基準監督署に提出している。

表 22 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

2022年度

	受診者	実施項目の有所見者数							総合所見	
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白	心電図	有所見 者数	要精査 以上
吉田	56	0	1	0	14	1	1	-	41	4
常盤	14	0	0	1	4	1	0	-	10	0
小串	43	0	0	0	4	3	0	-	30	0
附属病院	1100	1	2	0	54	8	10	-	455	6

表 23 第2回特定業務従事者健康診断 受診状況

2023年度

	受診者	実施項目の有所見者数							総合所見	
		聴力検査 1000Hz	聴力検査 4000Hz	聴力検査 (その他の方法)	血圧	尿糖	尿蛋白	心電図	有所見 者数	要精査 以上
吉田	49	0	0	0	7	2	0	-	30	2
常盤	12	0	0	0	2	3	0	-	10	2
小串	45	0	0	0	4	2	1	-	6	0
附属病院	1091	0	1	0	50	10	19	-	555	6

3. 特殊健康診断(電離放射線)

1) 対象と概要

保健管理センターでは、「国立大学法人山口大学放射線障害予防規定」に基づき、学内の放射線取扱者の登録申請（更新を含む）を行った職員及び学生を対象に健康診断を実施している（医学部附属病院で放射線を取扱う職員は、附属病院が実施し、結果は保健管理センター所長にも送付）。この健康診断を受診することは、教育訓練の受講とともに学内で放射線を取り扱うための必須条件となっている。

この健康診断は定期には年2回実施しており、実施時期は原則として第1回目は7月上旬、第2回目は1月中～下旬である。ただし、一部対象者には実施期間外（4月、10月頃）に臨時で健康診断を実施することもあるが、これは、新規・中途採用者など、定期の健康診断実施時期より早く放射線業務に従事する必要がある者に対して行っている例外的措置である。

なお、外部医療機関等にて同等の健康診断を受診した場合、その結果を証明する文書の提出をもって、この健康診断の受診に代えることもできる。

健康診断の実施項目は、表24に示すとおりである。なお、法令に定める検査項目のうち、業務内容や被ばく歴、自覚症状等の調査結果、および過去の放射線健康診断の受診結果のもと、法令等の基準に基づいた医師の個別の判断により一部の検査項目を省略して実施する場合がある。

表24 放射線健康診断 法定検査項目

	被ばく歴 自覚症状等の調査	血液*	皮膚	白内障
新規受診	○	○	○	△
定期受診	○	△	△	△

※白血球数及び白血球百分率の検査、赤血球数及び血色素量又はヘマトクリット値の検査

○：必須項目 △：法令等に基づき医師の判断により省略することができる項目

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、問診票を各事業場の健康診断担当係が対象者へ配布し、本人による記入、管理者（指導教員・管理室長等）が記載内容を確認した後、担当係が回収を行い、保健管理センターに送付される。

この問診票をもとに、保健管理センター医師が被ばく歴や自覚症状、過去の検査結果や本人の検査希望等をチェックし、検査項目省略の可否を個別に決定している。検査実施対象者への健康診断日時等の案内については、担当係より通知される。

検査（血液・皮膚）は各地区保健管理センターにて実施し、目の検査については医学部附属病院もしくは大学の指定する学外医療機関にて実施される。これら検査結果を踏まえて保健管理医師が診断した後、就業上の措置に関する産業医等の意見を付した上で、担当係を通じて対象者へ結果が通知される。さらに、有所見者に対しては、必要に応じて外部医療機関への紹介を行い、結果報告を求めることもある。

なお、「健康診断結果に基づく就業上の措置」は、上記の各事業場産業医等による「医師の意見」等を踏まえて事業場の責任において最終的に「決定」され、本人に通知される。

なお、職員に関しては、労働安全衛生法に基づく健康診断結果報告書を各事業場専任衛生管理者が作成し、各事業場の産業医の確認の上で、安全衛生対策室を通じて所轄の労働基準監督署に提出している。

3) 受診状況

2022年度及び2023年度の放射線健康診断受診状況を表25～32に示した。

毎年度、第1回は検査対象者（検査項目の省略を不可と判定された者）数が第2回に比べ多い傾向にあるが、年度当初の構成員の入れ替わりにより、第1回目は新規登録者が多いことが主要因である。

表 25 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	6	0	6	6	6
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	2	0	2	2	0
小串	職員	12	1	11	10	1
	学生	9	0	9	9	0
合計	職員	18	1	17	16	7
	学生	11	0	11	11	0

表 26 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	76	66	10	10	0
	学生	154	92	62	62	13
常盤	職員	27	25	2	2	2
	学生	210	125	85	83	10
小串	職員	78※	75	2	2	0
	学生	18	15	3	3	1
合計	職員	181	166	14	14	2
	学生	382	232	150	148	24

※1 名調査票未提出

表 27 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	2	0	2	2	0
	学生	3	0	3	3	0
合計	職員	2	0	2	2	0
	学生	3	0	3	3	0

表 28 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2022 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	74	68	6	6	0
	学生	193	129	64	64	8
常盤	職員	28	24	4	4	2
	学生	202	197	5	5	1
小串	職員	71	70	1	1	0
	学生	21	18	3	3	1
合計	職員	173	162	11	11	2
	学生	416	344	72	72	10

表 29 第 1 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	1	0	1	1	0
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	-	-	-	-	-
	学生	3	0	3	3	2
合計	職員	-	-	-	-	-
	学生	4	0	4	4	2

表 30 第 1 回電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	73	61	12	12	1
	学生	185	118	67	66	15
常盤	職員	30	25	5	5	0
	学生	199	112	87	87	8
小串	職員	61	61	0	0	0
	学生	14	10	4	4	1
合計	職員	164	147	17	17	1
	学生	398	240	158	157	24

表 31 第 2 回（臨時）電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
常盤	職員	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-
小串	職員	2	1	1	1	0
	学生	2	0	2	2	0
合計	職員	2	1	1	1	0
	学生	2	0	2	2	0

表 32 第 2 回電離放射線健康診断受診状況 2023 年度

		対象者	検査 省略可	検査 対象者	検査受診者 (採血・皮膚)	有所見者
吉田	職員	73	68	5	5	1
	学生	206※	168	37	37	8
常盤	職員	32	31	1	1	0
	学生	198	192	6	6	2
小串	職員	64	59	5	5	1
	学生	16	15	1	1	0
合計	職員	169	158	11	11	2
	学生	420	375	44	44	10

※1 名調査票未提出

4. 特殊健康診断(有機溶剤・特定化学物質)

1) 対象と概要

有機溶剤中毒予防規則(以下有機則)、及び特定化学物質等障害予防規則(以下特化則)等の特別則に基づき、一定の薬品を常時取り扱う職員を対象に、年2回、特殊健康診断を実施している。

実施時期に関しては、基本的には放射線健康診断と同様の7月上旬頃(第1回)、2月上旬頃(第2回)としているが、事業場によって多少異なる場合がある。また、健康診断項目は、法令に定めにもとづく薬品ごとに異なった検査項目を実施している。なお、2020年7月に法令改正による検査項目の一部見直しに対応して、問診票中に「作業条件の調査」(作業条件の簡易の調査)の項目を追加した。また、問診票には薬品に応じた検査項目が自動的に印字されるようになっているが、見直し後の項目が印字されるようにシステムの修正を行なった。

大学は一般企業の工場等とは異なり、個々の研究者や研究グループ等がそれぞれの発想で作業を計画する場合が多く、少量多量の薬品を取り扱い、使用方法や、使用頻度が一定ではないことなどから、対象者の選定は特に困難である。また、特殊健診は、取り扱う薬品によって求められる検査項目が異なるため、健康診断の準備や事後整理が複雑であるが、受診者一人一人の状況を確認しながら実施している。

2) 方法と手順

健康診断に先立ち、有機溶剤及び特定化学物質の使用状況を Web 調査システムもしくは紙媒体による調査を行う。業務の常時性の判断基準として、該当薬品を週に1回以上使用していることを目安に対象者を選定している。ただし、週1回未満の使用状況でも健康診断受診を希望する者や、事業場が指定するものについては、産業医、衛生管理者が使用状況を確認し、必要に応じて健診を実施することとしている。

また、使用薬品によって法定の問診項目や検査項目が異なることから、健康診断当日までに各受診者に対応した内容の問診票を作成しているが、他の健診に比べて対象者が少ないため、問診票は事前に配布せず、健康診断受診の際に手渡し、それぞれに必要な情報の記入や検査項目を受診してもらっている。

なお、特殊健診対象者は、原則として特定業務従事者健康診断(検査項目は一般健康診断と同じ)の受診対象者でもあり、両健診の同時実施の希望もあるが、受診者の多い事業場では、受診時の混乱を避けるため、特定業務従事者健康診断と特殊健康診断は原則として別日程で計画している。

3) 受診状況

2022年度及び2023年度の有機溶剤健康診断・特定化学物質健康診断の実施人数及び結果を表33～40に示した。表中の数字は、各検査における受診者数を示している。有所見者数は、診察での他覚所見を除く実施項目で要精査以上に該当する所見があった者の数である。受診対象者の業務内容は、いずれも試験研究である。

なお、労働安全衛生法の求める健康診断結果報告書については、各事業場専任衛生管理者が作成し、産業医が確認した上で、安全衛生対策室を経由して所轄の労働基準監督署に提出している。

表 33 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2022 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	11	11	11	11	0	0	0	11	1
常盤	9	9	9	9	0	0	2	9	0
小串	9	9	9	7	0	0	4	9	0
附属病院	12	12	12	12	0	0	8	12	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 34 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2022 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	11	11	11	11	0	0	0	11	0
常盤	9	9	9	0	0	0	2	9	0
小串	7	7	7	7	0	0	5	7	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	10	0

※実施項目のうち9「尿代謝産物」は延べ数

表 35 第 1 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2023 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	10	10	10	10	0	0	0	10	0
常盤	4	4	4	0	0	2	2	4	0
小串	6	6	6	6	0	0	5	6	0
附属病院	10	10	10	10	0	0	8	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 36 第 2 回有機溶剤健康診断実施結果（単位：人） 2023 年度

	従事 労働者	受診者	実施項目					作業条件 の調査	有所見者
			他覚所見	腎機能	貧血	肝機能	尿代謝産物		
吉田	10	10	10	10	0	0	0	10	0
常盤	7	7	7	0	0	0	1	7	0
小串	5	5	5	5	0	0	3	5	0
附属病院	11	11	11	11	0	0	8	0	0

※実施項目のうち「尿代謝産物」は延べ数

表 37 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2022 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			2									2					0
常盤								1	1					1	1	1	0
小串	1	2			2	3	2			1		3					0
附病					3	3		2									0

表 38 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2022 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			3									2	1		1		0
常盤								1	1			1			1		0
小串	1	1			2	2	1					1					0
附病					2	2		2									0

表 39 第 1 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2023 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			1								1	2			1		0
常盤								2	1			1					0
小串	1	2			1	2	1			1		1					0
附病				2	1	1		1									0

表 40 第 2 回特定化学物質健康診断実施結果 (単位:人)

2023 年度

業務コード	002	104	201	207	211	221	230	233	237	239	243	245	247	248	249	251	
薬品名	ベンジジン(過去)	去 オルトトリジン(過)	アクリルアミド	塩素	クロム酸(過去を含む)	亜硝酸(過去を含む)	ベンゼン(過去を含む)	マンガン	ニッケル化合物	酸化プロピレン	含 コバルト又はその化	クロロホルム	1・4-ジオキサン	ン 1・2-ジクロロエタ	ジクロロメタン	スチレン	有所見
吉田			1					1	1		1	2					0
常盤								1	1		1	1			1	1	0
小串	1	1			2	2	1			1		1					0
附病				1	1	1		1				1					0

5. がん検診等

1) 対象と概要

山口大学では、健康増進法第 19 条の 2 に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を 40 歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては 20 歳以上の女性職員)。がん検診に関しては、安全衛生対策室が実施主体であり、安衛室が実施時期や方法などの計画立案を行い、外部業者に委託契約して検診を実施している。2016 年度に前立腺がん検診を新たに追加し、一部個人負担が導入された。2017 年度には、がん検診の申し込み手順及び受診方法が変更され、安衛室で作成・運用している Web ページから受診希望者各自で申し込みすることで、事務作業の簡素化が図られた。また、この他胃がんリスク検診や指導勧奨に基づく特殊健康診断として情報機器業務従事者特殊健康診断を実施している。保健管理センターでは、検診会場の提供及び事前準備(設営)、健診結果の保管管理を行っている。

各がん検診の対象者と検診項目を表 41 に、2022 年度及び 2023 年度の各地区の実施時期及び実施場所を表 42、43 に示した。

表 41 がん検診等の対象者および検査内容

検診項目	対象者	検査内容
肺がん検診	40歳以上	問診、胸部X線(デジタル)、喀痰検査(たばこ指数(BI)600 以上あるいは血痰既往の希望者)
大腸がん検診	40歳以上	免疫便潜血反応検査(2日法)
胃がん検診	40歳以上	問診、胃部X線検査
胃がんリスク検診	40歳以上	血液検査(萎縮性胃炎検診<ペプシノーゲン法>) ※定期健診時に同時実施(2017 年度から)
前立腺がん検診	40歳以上 男性職員	血液検査 ※定期健診時に同時実施(2017 年度から)
乳がん検診	40歳以上 女性職員	問診、視触診(2022 年のみ)、乳房 X 線検査(マンモグラフィ) ※2年に1回(生まれ年で対象者を調整)
子宮がん検診	20歳以上 女性職員	問診、視診、内診、細胞診(子宮頸部) ※2年に1回 (生まれ年で対象者を調整)
情報機器業務従事者特殊健康診断	情報機器業務に従事する全職員	問診、眼の検査(視力、眼位、調節機能)、握力検査

表 42 各地区の実施日および実施場所

2022 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/29, 30	9/26	9/20, 21	8/26
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
前立腺がん	実施日	7/20～7/28	8/8～8/10	9/6～9/15	4/6
	場所	保健管理センター ※採血のみ	工学部保健室 ※採血のみ	医学部医心館 ※採血のみ	附属光中学校保健室 ※採血のみ
乳がん	実施日	12/2, 20	12/16	12/9, 14, 21, 22	12/16
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	産学連携棟横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	12/2, 20	12/16	12/9, 14, 21, 22	12/16
	場所	保健管理センター横 検診車	産学連携棟横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
情報機器業務従事 者特殊健康診断	実施日	8/29, 30	9/26	9/20, 21	-
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	-

表 43 各地区の実施日および実施場所

2023 年度

検診項目		吉田	常盤	小串	光
肺がん	実施日	7/19～7/27	8/2～8/4	9/5～9/14	4/5
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
大腸がん	実施日	7/19～7/27	8/2～8/4	9/5～9/14	4/5
	場所	保健管理センター ※検体回収のみ	工学部保健室 ※検体回収のみ	医学部医心館 ※検体回収のみ	附属光中学校保健室 ※検体回収のみ
胃がん	実施日	8/30, 31	8/29	9/19, 20	8/29
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
胃がんリスク	実施日	7/19～7/27	8/2～8/4	9/5～9/14	4/5
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
前立腺がん	実施日	7/19～7/27	8/19, 20, 23	9/7～16	4/5
	場所	保健管理センター ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	工学部保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	医学部医心館 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)	附属光中学校保健室 ※採血のみ(定期健診 時の血液検体代用)
乳がん	実施日	11/29, 12/8	12/5	11/27, 28, 12/12, 13	12/5
	場所	保健管理センター横 マンモグラフィ：検診車 視触診：リフレッシュルーム	工学部保健室横 マンモグラフィ：検診車 視触診：工学部保健室	医学部医心館前 マンモグラフィ：検診車 視触診：医学部医心館	附属光中学校保健室 マンモグラフィ：検診車 視触診：中学校保健室
子宮がん	実施日	11/29, 12/8	12/5	11/27, 28, 12/12, 13	12/20
	場所	保健管理センター横 検診車	工学部保健室横 検診車	医学部医心館前 検診車	附属光中学校保健室 検診車
情報機器業務従事 者特殊健康診断	実施日	8/30, 31	8/29	9/19, 20	8/29
	場所	保健管理センター	工学部保健室	医学部医心館	附属光中学校保健室

2) 受診状況

山口大学では、健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業として位置づけられているがん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん)を40歳以上の希望者に対して実施している(子宮がんについては20歳以上の女性職員)。

表 44 各種がん検診受診結果(事業場別)

2022 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	452	21	431	21	0	※喀痰検査件数 吉田 6 件 常盤 3 件 小串・附属病院 3 件 附属学校 1 件
	常盤	210	7	203	7	0	
	小串・附属病院	946	35	911	33	2	
	附属学校	12	0	12	0	0	
大腸がん	吉田	136	5	131	0	5	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	70	3	67	0	3	
	小串・附属病院	305	11	294	0	11	
	附属学校	18	0	18	0	0	
胃がん	吉田	87	14	73	12	2	※要精査内訳 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	44	9	35	8	1	
	小串・附属病院	126	23	103	20	3	
	附属学校	1	0	1	0	0	
前立腺がん	吉田	67	2	65	0	2	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	42	2	40	0	2	
	小串・附属病院	68	0	68	0	0	
	附属学校	1	0	1	0	0	
乳がん	吉田	57	3	54	0	3	※指導区分は視触診及びマンモグラフィー検査との総合判定 ※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	18	3	15	1	2	
	小串・附属病院	196	19	177	3	16	
	附属学校	3	1	2	0	1	
子宮がん	吉田	64	6	58	1	5	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	19	0	19	0	0	
	小串・附属病院	210	9	201	3	6	
	附属学校	2	1	1	1	0	

表 45 胃がんリスク検診受診結果(事業場別)

2022 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	67	60	4	2	1	
	常盤	34	28	6	0	0	
	小串・附属病院	141	118	19	4	0	
	附属学校	0	0	0	0	0	

表 46 情報機器業務従事者健診受診結果(事業場別)

2022 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
情報機器業務従事者 特殊健康診断	吉田	22	8	14	0	
	常盤	6	4	2	0	
	小串・附属病院	20	14	6	0	
	附属学校	16	11	5	0	

表 47 各種がん検診受診結果（事業場別）

2023 年度

検診項目	事業場	受診者数	有所見者数	指導区分			備考
				異常なし	要観察	要精査	
肺がん	吉田	482	22	460	18	4	※喀痰検査件数 吉田 6 件 常盤 2 件 小串・附属病院 5 件 附属学校 1 件
	常盤	194	7	187	5	2	
	小串・附属病院	948	41	907	30	11	
	附属学校	11	1	10	0	1	
大腸がん	吉田	134	8	126	0	8	※便潜血陽性 →有所見者
	常盤	64	2	62	0	2	
	小串・附属病院	287	10	277	0	10	
	附属学校	5	0	5	0	0	
胃がん	吉田	74	37	37	32	5	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	34	10	24	8	2	
	小串・附属病院	86	39	17	37	2	
	附属学校	4	3	1	3	0	
前立腺がん	吉田	77	1	76	0	1	※PSA 陽性(4.1 以上) →有所見者
	常盤	35	1	34	0	1	
	小串・附属病院	74	2	72	0	2	
	附属学校	3	0	3	0	0	
乳がん	吉田	50	4	46	0	4	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	25	4	21	0	4	
	小串・附属病院	175	31	144	0	31	
	附属学校	7	0	7	0	0	
子宮がん	吉田	57	2	55	0	2	※山口地区附属学校は吉田地区に含む
	常盤	25	4	21	1	3	
	小串・附属病院	206	12	194	3	9	
	附属学校	8	0	8	0	0	

表 48 胃がんリスク検診受診結果（事業場別）

2023 年度

検診項目	事業場	受診者数	リスク判定結果				備考
			A	B	C	D	
胃がん リスク検診	吉田	63	54	6	2	1	
	常盤	26	19	6	1	0	
	小串・附属病院	127	103	20	4	0	
	附属学校	2	2	0	0	0	

表 49 情報機器業務従事者健診受診結果（事業場別）

2023 年度

検診項目	事業場	受診者数	判定区分			備考
			異常なし	経過観察	業務不適	
情報機器業務従事者 特殊健康診断	吉田	22	8	14	0	
	常盤	6	4	2	0	
	小串・附属病院	20	14	6	0	
	附属学校	16	11	5	0	

Ⅲ 山口大学の安全衛生管理

Ⅲ 山口大学の安全衛生管理

1. 労働安全衛生管理体制

山口大学では、労働安全衛生法および学校保健安全法の下、「国立大学法人山口大学職員労働安全衛生管理規則」が制定され、安全衛生活動の基盤となっている。全学レベルでは、人事労務担当副学長を筆頭とし、専任衛生管理者からなる労働安全衛生管理室や全学労働安全衛生委員会、労働安全衛生に関する事務組織である安全衛生対策室が推進役として活動している。また、各事業場レベルでは、総括安全衛生管理者(人事労務担当副学長・医学部長・附属病院長・工学部長)を筆頭に、専任衛生管理者、産業医、安全衛生委員会委員、安全衛生推進員、および各事業場の担当係等が、さらに部署レベルでは、各部署責任者や安全衛生推進員が中心となって、安全衛生活動を推進している。

山口大学各事業場の産業医、専任衛生管理者は表1に示した通りである。事業場によって事情が異なるため、事業場ごとの具体的な体制や保健管理センタースタッフの関わり方は様々である。また、各附属学校は、職員数が50人未満であるため、規則上、産業医は選任されていないものの、保健管理センター医師(主として吉田事業場産業医)が必要に応じて種々の相談に応じている。

表1 山口大学の事業場

	事業場	学部等	統括 産業医	産業医	メンタルヘルス 健康管理医	専任衛生管理者
1	吉田事業場	人文・経済・教育・理・農・ 共同獣医・国際総合科学部	保健管理 センター 所長	保健管理センター 医師 2 名 (日医認定産業医)	附属病院 精神科医師	保健管理センター 保健師 (第1種衛生管理者)
2	常盤事業場	工学部		創成科学研究科 医師 (日医認定産業医)		保健管理センター 保健師 (第1種衛生管理者)
3	小串事業場	医学部		医学系研究科 医師 (日医認定産業医)		保健管理センター 医師 (衛生工学衛生管理者) (労働衛生コンサルタント) (労働安全衛生管理室主任)
4	附属病院事業場	医学部附属病院		附属病院医師 及び保健管理セン ター医師 (日医認定産業医)		保健管理センター 保健師 (衛生工学衛生管理者)
5	教育学部附属山口小学校事業場			衛生推進者 (各事業場所属の養護教諭から任命)		
6	教育学部附属光小学校事業場					
7	教育学部附属山口中学校事業場					
8	教育学部附属光中学校事業場					
9	教育学部附属特別支援学校事業場					
10	教育学部附属幼稚園事業場					

2023年4月1日時点

2. 山口大学における主な取り組み

以下に、安全衛生に関する山口大学の主な取り組みを示す。

年度	主な出来事	山口大学における主な取り組み
平成 16 年度 (2004 年度)	国立大学法人化	<ul style="list-style-type: none"> 専任衛生管理者 4 名（医師 1 名，保健師 3 名）が保健管理センターに配属。 産業医として保健管理センター医師 2 名（吉田・常盤事業場）、および小串地区医師 2 名（小串・附属病院事業場）が任命される。
平成 17 年度 (2005 年度)		<ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生に関する事務担当として、人事課に安全衛生対策室（衛生管理係）設置 7 月 1 日～7 日を「山口大学安全週間」、10 月 1 日～7 日を「山口大学衛生週間」と設定 （平成 18 年度より、「衛生週間」を「健康衛生週間」に変更）
平成 18 年度 (2006 年度)	労働安全衛生法 一部改正 (過重労働者の申し出 に基づき、医師による 面接指導義務化)	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス領域における産業医機能の強化のため、メンタルヘルス特命産業医制度を創設。保健管理センター精神科医師が任命される。 全学の労働安全衛生委員会に「化学物質専門部会」発足。 毎月 10 日は「山口大学安全の日」と制定。 図 1 安全の日ポスター
平成 19 年度 (2007 年度)	若年者に麻疹流行	<ul style="list-style-type: none"> 中国・四国地区国立大学法人労働安全衛生協議会を当番校として開催
平成 20 年度 (2008 年度)	特定健康診査・ 特定保健指導開始	<ul style="list-style-type: none"> 「感染症対策室設置要項」策定（従来の「SARS 対策室設置要項」、「新型インフルエンザ対策室設置要項」は廃止） 「退職者の職務復帰に関する取り扱い」策定 健康診断の受診率を向上させるため、未受診者に「未受診理由等説明書」の提出の義務化（学内規則改正）
平成 21 年度 (2009 年度)		<ul style="list-style-type: none"> 特定化学物質・特別管理物質の取扱い表示を整備
平成 22 年度 (2010 年度)		<ul style="list-style-type: none"> 統括産業医制度が創設され、保健管理センター特命教授が任命される（～平成 26 年）。 長時間労働者への産業医による面接指導の流れを見直し、整備。 4 月～小串・附属病院事業場において敷地内全面禁煙実施（併せて附属病院に禁煙外来設置）
平成 23 年度 (2011 年度)		<ul style="list-style-type: none"> 職員健康診断の有所見者に対し、「二次検査結果報告書」の提出を依頼することにより、精密検査の受診勧奨を強化。 また、安全配慮義務の観点から要精密区分のうち特に異常の程度の高い場合の区分として、要医療、要治療区分を新設。 胃がん検診におけるペプシノゲン法の実施見直し。
平成 24 年度 (2012 年度)		<ul style="list-style-type: none"> 職員定期健康診断時に「メンタルヘルスアンケート」実施（～平成 27 年。「職業性ストレス簡易調査票」の調査項目のうち、職場のストレス判定図を作成するために必要な項目に限定した調査を無記名式で実施。）
平成 25 年度 (2013 年度)		<ul style="list-style-type: none"> 小串・附属病院事業場のメンタルヘルス対応強化策として、「メンタルヘルス健康管理医制度」が創設され、附属病院精神科医師が任命される。 「化学物質専門部会」が「化学物質安全管理委員会」として独立。



年度	主な出来事	山口大学における主な取り組み
平成 26 年度 (2014 年度)	特化則一部改正 (クロロホルム他 9 物 質が特化物へ移行)	・メンタルヘルス特命産業医制度、メンタルヘルス健康管理医制 度を再編・統一。「メンタルヘルス健康管理医」が全学の相談に 対応する体制となる。
平成 27 年度 (2015 年度)		・感染症対策として新規採用職員の「感染症罹患歴・予防接種歴・ 抗体検査結果に関する申告書」提出を開始。
平成 28 年度 (2016 年度)	労働安全衛生法 一部改正(リスクアセ スメント義務化, ストレ スチェック制度創設等)	・在職者全員に「感染症罹患歴・予防接種歴・抗体検査結果に関 する申告書」の提出を依頼。 ・「ストレスチェック制度実施要項」策定。
平成 29 年度 (2017 年度)		・過去 5 年分の職員健康診断結果を学内限定で web 閲覧できるシ ステムを構築 ・がん検診実施方法を一部見直し、web 申し込み及び一部自己負 担制を導入 ・全学で職員健康診断受診率 100%を達成 ・中国・四国地区国立大学法人労働安全衛生協議会を当番校とし て開催
平成 30 年度 (2018 年度)	健康増進法一部改 正(受動喫煙対策強化)	・敷地内全面禁煙および働き方改革関連法案の施行に向けて準備、 検討
平成 31 年度 令和元年度 (2019 年度)	働き方改革関連法 順次施行	・7 月～敷地内全面禁煙 ・働き方改革関連法への対応について検討。産業医・産業保健機 能強化のため、統括産業医(保健管理センター所長)設置。「心 身の状態に関する情報の取り扱い規程」と「健康相談体制リー フレット」を作成し、学内に公表。各事業場の総括安全衛生管 理者が集まる「総括安全衛生管理者会議」開催。 ・ストレスチェックについて外部委託へ ・職員健康診断時に希望した男性職員(厚生労働省のクーポン対 象者)に風疹抗体検査実施(2021 年度まで実施予定)
令和 2 年度 (2020 年度)	新型コロナウイルスの流行	・職員健康診断の方法を見直し(感染症対策) ・「安全・衛生と健康のてびき」に英語版緊急連絡先を追加
令和 3 年度 (2021 年度)	新型コロナウイルスの流行	・職員健康診断(吉田・常盤地区)に予約制を導入 ・「安全・衛生と健康のてびき」を英語化 ・安全管理及び健康管理の必要性を認識し、安全衛生方針のもと、 学生・教職員一人ひとりが安全や健康について意識して行動す るよう、本学創立記念日である 6 月 1 日に「山口大学ヘルシー キャンパス宣言」を行う
令和 4 年度 (2022 年度)		・休職者等の職務復帰に関する取扱いの一部改正(復職プログラ ム、復職判定委員会等について) ・ヒヤリハット発生時対応フロー整理と専用ホームページの開設
令和 5 年度 (2023 年度)	医師の働き方改革	・労働安全衛生規則の一部改正があり、衛生委員会への付議事項 (化学物質の自律的な管理の実施状況)を追加 ・(厚生労働省追加対策)職員健康診断時に希望した男性職員のク ーポン対象者)に風疹抗体検査実施(2024 年度のみ実施予定) ・「長時間労働に対する面接指導の取扱い」の一部改正 ・「山口大学職員労働安全衛生管理規則」の一部改正(医師への面 接指導実施体制・二次検査の受診勧奨・ストレスチェックの実 施を新たに規定、健診受診に関する職務専念義務免除を明記) ・「山口大学労働安全衛生委員会規則」の一部改正 ・「山口大学ストレスチェック制度実施要項」及び「長時間労働者 に対する面接指導 の取扱い」の一部改正 ・化学物質安全推進室の設置

3. 安全衛生に関する日常業務内容

上述した年次別の主な取り組み事項以外に、日々以下のような業務を行っている。

1) 学内巡視（職場巡視）

各事業場で専任衛生管理者を中心に、それぞれの実情に合わせて巡視を行なっている。巡視時に改善が必要と思われる事項があった場合は、その場での口頭指導や、総括安全衛生管理者から巡視報告文書を送付することで改善を促している。なお、職場巡視の結果は、毎月開催される各事業場の衛生委員会（もしくは安全衛生委員会）で報告を行っている。

また、法人化当初より、学外の安全衛生管理の実務専門家（労働安全衛生法に定める労働安全衛生コンサルタント等）と連携を図り、第二半期と第四半期にリスクアセスメント巡視とそれに基づく指導を実施している。これにより、学内の安全衛生水準および管理水準を現在の社会的水準で客観的に評価するとともに、安全衛生活動の継続的な改善の契機としている。

2) 作業環境測定

学内の作業環境測定士有資格者と外部委託によって、年2回、作業環境測定を実施している。

大半は管理区分Ⅰであるが、対策が必要と指摘された部屋（管理区分Ⅱ・Ⅲ）については、作業環境測定報告書に示される作業環境測定士による意見や、産業医や労働衛生コンサルタント、衛生工学衛生管理者等や衛生委員会での意見を参考に、現場の巡視等で実験内容や作業方法等を確認し、各部屋の担当教員に作業内容の改善を依頼している。

改善後は、検知管による簡易測定等により、改善結果の内容が妥当かを確認している。これらの件は（安全）衛生委員会等でも報告、検討している。

3) ひやりはっと報告

学内におけるリスクの早期発見のため、法人化当初より「ひやりはっと報告」の導入に取り組んでおり、学生の実験実習中の事故も含め、施設環境面の問題等、様々なことが報告されている。保健管理センターでのけがの処置時や労災発生報告から事案を把握することも多い。発生事案については各事業場の衛生委員会あるいは安全衛生委員会で報告されている（リスクレベルにより改善報告書も合わせて報告）。

※学生については危険度が極めて高いものについては教学委員会で報告され、必要に応じて全学の労働安全衛生委員会にて共有されている。

4) 安全衛生教育

安全衛生に関する意識の啓発のため、年に数回、各事業場で安全衛生教育を実施している。化学物質取扱講習会、救急救命講習会、メンタルヘルス講習会等、各地区の安全衛生管理担当者が中心となって企画しているものの他、学生に対しても各研究室や講座等で実験や実習の前に適宜安全衛生教育が実施されている。更に、事業場によっては、「有事訓練」として、危険有害物質使用中の事故を想定した訓練（応急処置、避難誘導、緊急連絡・通報等が周囲と連携してできるか、AED・緊急シャワーの設置場所や使い方を理解しているか等）にも取り組んでいる。

5) 安全衛生委員会等

各事業場では、毎月1回、衛生委員会あるいは安全衛生委員会が開催されており、保健管理センターからは医師と保健師が、産業医、衛生管理者または労働衛生コンサルタント等として出席している。また、山口大学全体としては、年に約4回、全学の安全衛生スタッフによる労働安全衛生委員会が開催されており、これにも産業医と各専任衛生管理者が出席している。

この他の放射線安全管理委員会、組換えDNA実験安全委員会、バイオセーフティー委員会等のハザード別安全委員会にも労働安全衛生管理室主任の当センタースタッフが出席している。

IV 特別事業報告

IV特別事業報告

1. 研究業績一覧

1)学会発表

2022 年度

- 樋口尚子、片岡眞穂、森福織江、藤勝綾香、小林久美、上野真佐美、中原敦子、波多野弘美、梅本智子、住田知子、山本直樹、奥屋 茂:入学時にメンタルヘルス不調を抱えた学生の半年後の変化、第 52 回中国四国大学保健管理研究集会、2022 年 8 月 25 日
- 森本宏志:化学物質規制大改正対応を視野にいた moodle 活用による個人ベースのリスクアセスメントと安全衛生教育の試み、第 52 回中国四国大学保健管理研究集会、2022 年 8 月 25 日
- 奥屋 茂、森福織江、藤勝綾香、小林久美、上野真佐美、梅本智子、中原敦子、樋口尚子、片岡眞穂、森本宏志、山本直樹:本学での新型コロナウイルス感染症対策からわかってきたこと、第 60 回全国大学保健管理研究集会、2022 年 10 月 4 日

2023 年度

- 森福織江、藤勝綾香、梅本智子、中原敦子、上野真佐美、小林久美、住田知子、高尾佳愛、吉開聡美、樋口尚子、森本宏志、山本直樹、奥屋 茂:本学における教職員の健康課題の検討～2022 年度定期健康診断時の問診から～、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会、2023 年 8 月 24 日
- 藤勝綾香、森福織江、上野真佐美、梅本智子、中原敦子、小林久美、片岡眞穂、住田知子、高尾佳愛、吉開聡美、樋口尚子、森本宏志、山本直樹、奥屋 茂:コロナ禍での「健康の森」再開 -ヘルシーキャンパスの取り組みを考える-、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会、2023 年 8 月 24 日
- 森本宏志:大学教育での「想定ヒヤリハット」収集の意義、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会、2022 年 8 月 25 日
- 片岡眞穂、樋口尚子、森福織江、藤勝綾香、上野真佐美、小林久美、梅本智子、中原敦子、吉開聡美、住田知子、高尾佳愛、山本直樹、奥屋 茂:修学継続困難学生への対応、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会、2023 年 8 月 25 日
- 中原敦子、藤勝綾香、高尾佳愛、梅本智子、森福織江、上野真佐美、小林久美、吉開聡美、住田知子、片岡眞穂、樋口尚子、森本宏志、山本直樹、奥屋 茂、背戸英明、穂枝 澄:医学部における 3 年に及ぶ新型コロナウイルス感染症対策を振り返って、第 61 回全国大学保健管理研究集会、2023 年 10 月 4 日
- 藤勝綾香、樋口尚子、片岡眞穂、森福織江、梅本智子、中原敦子、小林久美、上野真佐美、山本直樹、奥屋 茂:コロナ禍での学生相談の新たな取組～遠隔相談システムの立ち上げ～、第 61 回全国大学保健管理研究集会、2023 年 10 月 4 日

2) 論文・執筆

2022 年度

1. 樋口尚子、片岡眞穂、森福織江、藤勝綾香、小林久美、上野真佐美、中原敦子、波多野弘美、梅本智子、住田知子、山本直樹、奥屋 茂:入学時にメンタルヘルス不調を抱えた学生の半年後の変化、第 52 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、34-37、2022
2. 森本宏志:化学物質規制大改正対応を視野にいた moodle 活用による個人ベースのリスクアセスメントと安全衛生教育の試み、第 52 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、60-67、2022
3. 奥屋茂、森福織江、藤勝綾香、小林久美、上野真佐美、梅本智子、中原敦子、樋口尚子、片岡眞穂、森本宏志、山本直樹:本学での新型コロナウイルス感染症対策からわかってきたこと、CAMPUS HEALTH 60(1)、181-183、2023.3
4. 樋口尚子、片岡眞穂、森福織江、藤勝綾香、小林久美、上野真佐美、中原敦子、梅本智子、波多野弘美、住田知子、山本直樹、奥屋 茂:入学時にメンタルヘルス不調を抱えた学生の半年後の変化、大学教育第 20 号 2023、58-65、2023.3
5. 藤原勇、森本宏志、近藤圭:化学物質規制法の大改正と安全教育、大学教育第 20 号 2023、66-68、2023.3

2023 年度

1. 森福織江、藤勝綾香、梅本智子、中原敦子、上野真佐美、小林久美、住田知子、高尾佳愛、吉開聡美、樋口尚子、森本宏志、山本直樹、奥屋 茂:本学における教職員の健康課題の検討～2022 年度定期健康診断時の問診から～、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、54-59、2023
2. 藤勝綾香、森福織江、上野真佐美、梅本智子、中原敦子、小林久美、片岡眞穂、住田知子、高尾佳愛、吉開聡美、樋口尚子、森本宏志、山本直樹、奥屋 茂:コロナ禍での「健康の森」再開 -ヘルシーキャンパスの取り組みを考える-、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、70-73、2023
3. 森本宏志:大学教育での「想定ヒヤリハット」収集の意義、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、82-86、2023
4. 片岡眞穂、樋口尚子、森福織江、藤勝綾香、上野真佐美、小林久美、梅本智子、中原敦子、吉開聡美、住田知子、高尾佳愛、山本直樹、奥屋 茂:修学継続困難学生への対応、第 53 回中国四国大学保健管理研究集会報告書、91-93、2023
5. 中原 敦子、藤勝 綾香、高尾 佳愛、梅本 智子、森福 織江、上野 真佐美、小林 久美、吉開 聡美、住田 知子、片岡 眞穂、樋口 尚子、森本 宏志、山本 直樹、奥屋 茂、背戸 英明、穂枝 澄:医学部における3年に及ぶ新型コロナウイルス感対策対策を振り返って、CAMPUS HEALTH 61(1)、117-118、2024.3
6. 藤勝 綾香、樋口 尚子、片岡 眞穂、森福 織江、梅本 智子、中原 敦子、小林 久美、上野 真佐美、山本 直樹、奥屋 茂:コロナ禍での学生相談の新たな取組～遠隔相談システムの立ち上げ～、CAMPUS HEALTH 61(1)、173-174、2024.3
7. 樋口 尚子、奥屋 茂:大学入学時の精神健康状態と入学後 1 年以内のメンタルヘルス相談との関連—入学時スクリーニング検査の意義についての一考察—、大学教育第 21 号 2024、19-25、2024.3
8. 藤勝 綾香、森福 織江、小林 久美、梅本 智子、中原 敦子、奥屋 茂:ヘルシーキャンパスの推進に向けて—保健管理センターでの取り組み—、大学教育第 21 号 2024、70-74、2024.3
9. 近藤 圭、鬼村 謙二郎、藤原 勇、森本 宏志:新化学物質管理体制への取組、大学教育第 21 号 2024、90-93、2024.3

2. 研究費等交付

保健管理センターでは、日常の保健管理業務に加え、受託研究費や科学研究費補助金等の交付を受けて教育的・社会的貢献の一環として研究活動も行っている。

1) 2022 年度

契約年月日	研究委託者	研究課題	研究経費	研究期間	研究者
2022 年 4 月	科研費:基盤研究 (C)	女性のがんサバイバーを対象とする 職域での運動促進プログラムの作成 と実施の試み	650 千円	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	上田真寿美 齊田菜穂子 前田訓子 奥屋 茂 上田毅

2) 2023 年度

契約年月日	研究委託者	研究課題	研究経費	研究期間	研究者
2022 年 4 月	科研費:基盤研究 (C)	女性のがんサバイバーを対象とする 職域での運動促進プログラムの作成 と実施の試み	910 千円	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	上田真寿美 齊田菜穂子 前田訓子 奥屋 茂 上田毅

3. 講演その他

保健管理センターでは、医師及び保健師が健康教育活動の一環として、学内及び学外からの依頼により、講演活動を行っている。

1) 2022 年度 (2022. 4. 1～2023. 3. 31 の期間内)

年月日	講師	演題・テーマ	場所	参加人数	備考
2022.04.01	保健管理センター 保健師 中原敦子	看護師新採用者オリエンテーション 保健管理センターの紹介 メンタルヘルスについて	医修館 1 階 第 1 講義室	100 名	
2022.04.06	保健管理センター 准教授 森本宏志	授業における安全衛生と TA・SA の責務について	共通教育 SCS 教室	100 名	
2022.05.25	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生委員会の活性化と新規立ち上げ について	Web 研修・セミナー	10 名	
2022.06.09	保健管理センター 准教授 森本宏志	テレワーク指針の改正と労働衛生 管理上の留意点について	山口県 健康づくりセンター	20 名	
2022.06.10	保健管理センター 准教授 森本宏志 保健師 中原敦子	小串地区安全衛生推進員連絡会 山口大学の安全衛生状況と 安全衛生管理の動向について	Moodle にて on demand	100 名	
2022.08.04	保健管理センター 准教授 森本宏志	裁判事例で考える労働衛生管理と 産業医の役割 ～産業医としてどう 考えどう対応するか～	海峡メッセ下関	30 名	
2022.09.02	保健管理センター 准教授 森本宏志	テレワーク指針の改正と労働衛生 管理上の留意点について	海峡メッセ下関	20 名	
2022.10.09	保健管理センター教 授 奥屋 茂	慢性合併症 2 (大血管症、メタボリッ クシンドローム、その他)	Web 講演	225 名	山口県糖尿病療養 指導士講習会
2022.10.27	保健管理センター 保健師 梅本智子	常盤祭衛生指導講習会	工学部 D12 教室	30 名	模擬店出店者
2022.11.02	保健管理センター 准教授 森本宏志	事例検討～衛生管理担当者としてど う考えるか～	ココランド山口・宇部	20 名	
2022.11.17	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働者や高ストレス者への面接 指導演習 (視聴覚教材による実習を 含む)	山口県 セミナーパーク	20 名	
2022.11.24	保健管理センター 准教授 森本宏志	化学物質リスクアセスメントと特殊 健康診断の基本事項と および最近の 法改正と今後の見通しについて	周南地域地場産業 振興センター	20 名	
2023.02.21	保健管理センター 助教 樋口 尚子	知っておきたい心との向き合い方 ～メンタルヘルスと自殺予防～	山口県立農業大学校 本館 講堂	80 名	学生のメンタルヘルス 及び自殺予防について の研修
2023.03.06	保健管理センター 准教授 森本宏志	裁判事例で考える労働衛生管理	Web 研修・セミナー	10 名	

2) 2023 年度 (2023. 4. 1～2024. 3. 31 の期間内)

年月日	講師	演題・テーマ	場所	参加人数	備考
2023.04.03	保健管理センター 保健師 中原敦子	看護師新採用者オリエンテーション 保健管理センターの紹介 メンタルヘルスについて	医学部附属病院 オーデトリウム	100名	
2023.04.05	保健管理センター 准教授 森本宏志	授業における安全衛生と TA・SAの責務について	共通教育 SCS 教室	100名	
2023.05.26	保健管理センター 保健師 藤勝綾香	七夕祭衛生指導講習会	共通教育棟 31 番教室	100名	模擬店出店者
2023.06.09	保健管理センター 准教授 森本宏志 保健師 中原敦子	小串地区安全衛生推進員連絡会 山口大学の安全衛生状況と 安全衛生管理の動向について	Moodle にて on demand	100名	
2023.06.12	保健管理センター 准教授 森本宏志	衛生委員会の活性化と新規立ち上げ について	Web 研修・セミナー	20名	
2023.06.23	保健管理センター 教授 奥屋 茂	短期語学研修での健康管理ガイダンス	Web 講習	89名	国際総合科学部 短期語学研修参加者
2023.07.27	保健管理センター 准教授 森本宏志	産業医実務のトラブルとその防止策 の基本について	山口県健康づくり センター	30名	
2023.08.08	保健管理センター 准教授 森本宏志	産業保健実務のトラブルとその防止 策の基本について	ココランド山口・宇部	30名	
2023.10.08	保健管理センター 教授 奥屋 茂	慢性合併症 2 (大血管症、メタボリ ックシンドローム、その他)	山口県総合保健会館 2階・第 1 研修室	220名	山口県糖尿病療養 指導士講習会
2023.10.16	保健管理センター 保健師 小林久美	姫山祭衛生指導講習会	共通教育棟 2 番教室	50名	模擬店出店者
2023.10.19	保健管理センター 准教授 森本宏志	化学物質のリスクアセスメントをや ってみよう	周南地域地場 産業振興センター	30名	
2023.10.25	保健管理センター 保健師 梅本智子	常盤祭衛生指導講習会	工学部 D21 教室	30名	模擬店出店者
2023.11.15	保健管理センター 准教授 森本宏志	化学物質の安全衛生管理規制の主軸 としての自律的管理の動向とリスク アセスメントについて	パルトピア山口	30名	
2023.11.25	保健管理センター 教授 奥屋 茂	フットケア研究会	医学部霜仁会館 3 階 多目的室	25名	宇部・山陽小野田 フットケア研究会
2023.12.07	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働者や高ストレス者への面接 指導演習	ココランド山口・宇部	30名	
2024.01.15	保健管理センター 准教授 森本宏志	事例で考える安全衛生管理	Web 研修・セミナー	10名	
2024.02.06	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働者や高ストレス者への面接 指導演習	周南地域地場 産業振興センター	30名	
2024.03.06	保健管理センター 准教授 森本宏志	過重労働対策および自殺予防対策に 関する最近の動向について	Web 研修・セミナー	10名	

4. 保健管理センター便り発行

保健管理センターでは、山口大学の職員及び学生に向けて、健康情報及び健康に関する行事や種々サービスの利用に関するインフォメーション提供を目的として、「保健管理センター便り」を年5回発行している。多くの人に注目してもらえるように、表紙にはワンポイントヘルスアドバイスの内容に応じたカラーイラストを掲載している。なお発行方法は、新入生特集号のみ紙媒体とし、他号は保健管理センターホームページ上に Web 版で発行している。

1) 2022 年度

発行月	NO.	ワンポイントアドバイス	本文1	本文2	コラム
4月	277	健康ガイド(新入生特集号)			
6月	278	梅雨の時期を元気に過ごすために	気になる感染症 サル痘 医師 山本 直樹	ストレスマネジメント(23) 他人の力を借りる ～「相談」のススメ～ 保健師 梅本 智子	お知らせ 新任保健師紹介
8月	279	首尾一貫感覚(sense of coherence : SOC)について	専門分化社会でのリスクマネジメントのサイド・エフェクトとサイロ・エフェクト 医師 森本 宏志	子宮頸がん予防ワクチン キャッチアップ接種について 保健師 森福 織江	『センスオブコヒーレンス(SOC)』の構成要素
10月	280	口腔の健康管理について見直しましょう!	気象病 医師 奥屋 茂	大切にしていますか? あなたの「睡眠」 保健師 上野 真佐美	歯周病とは?
1月	281	座り続けることによる身体への影響	「人間関係」での思い込み 医師 樋口 尚子	県内のウォーキング&登山コース(第二弾) ～コロナ禍でも身近な場所で運動を(トンネルつながり)～ 保健師 中原 敦子	今日から実践 短時間で簡単 “かかと落とし”

2) 2023 年度

発行月	NO.	ワンポイントアドバイス	本文1	本文2	コラム
4月	282	健康ガイド(新入生特集号)			
5月	283	自分自身の言葉のパターン化について	可能性への挑戦と失敗学 ～ヒヤリハット報告の意義～ 医師 森本 宏志	健康診断と血圧 ～定期的な測定に意味があります～ 保健師 藤勝 綾香	大学に報告が必要な感染症について
7月	284	熱中症予防	夏バテとその対策 医師 奥屋 茂	ストレスマネジメント(24) 過剰適応 保健師 梅本 智子	熱中症予防 もしものときの対応
10月	285	認知療法	運動はノリノリで! 医師 樋口 尚子	Walking Challenge(ウォーキングチャレンジ)に参加してみませんか? 保健師 森福 織江	認知療法 ～『自動思考』と『信念』について～
1月	286	全国的に増加している感染症「梅毒」への注意喚起	気になる感染症 インフルエンザ 医師 山本 直樹	山大生の生活習慣 保健師 小林 久美	梅毒の予防 心配や心当たりがある時の対応

V 保健管理センター利用状況

V 保健管理センター利用状況

1. 医療機関紹介

1) 山口地区

(1) 2022年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	学生	10	7	8	4	4	2	5	15	9	26	7	3	100
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	4
外 科	学生	1	1	0	1	0	0	1	2	2	1	1	1	11
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	学生	1	2	6	2	3	1	5	4	4	1	5	1	35
	職員	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	4
皮ふ科	学生	7	5	10	7	1	1	2	2	4	2	1	2	44
	職員	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	5
眼 科	学生	1	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
耳鼻科	学生	3	5	4	0	3	3	5	0	0	4	0	0	27
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科	学生	2	0	3	0	0	0	1	1	0	1	0	0	8
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	学生	0	0	2	3	2	0	2	1	2	3	0	0	15
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
精神科	学生	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
	職員	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	学生	3	0	4	1	1	4	3	1	2	3	1	1	24
	職員	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
計	学生	28	23	39	18	14	11	25	32	23	41	15	8	277
	職員	0	2	0	3	2	0	1	2	4	1	3	3	21

(2) 2023年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内 科	学生	16	17	38	38	13	4	22	30	15	10	6	6	215
	職員	0	1	3	0	0	2	0	0	4	0	0	0	10
外 科	学生	1	2	3	3	0	0	1	1	3	1	1	1	17
	職員	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	4
整形外科	学生	1	5	8	2	1	5	12	6	3	4	0	0	47
	職員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
皮ふ科	学生	4	7	8	5	0	0	3	1	0	0	1	1	30
	職員	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	6
眼 科	学生	5	0	4	2	0	0	1	3	2	0	0	0	17
	職員	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	学生	1	0	2	0	0	0	2	1	2	2	2	0	12
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
歯 科	学生	3	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	学生	0	10	0	5	0	2	9	1	2	0	0	0	29
	職員	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0	0	7
精神科	学生	0	0	1	0	0	7	4	0	1	0	0	0	13
	職員	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	学生	3	2	1	2	1	2	4	3	2	1	1	0	22
	職員	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
計	学生	34	49	65	57	16	20	58	46	30	18	11	8	412
	職員	1	9	4	3	3	2	1	1	10	0	2	3	39

※その他には泌尿器科、脳神経外科、救急外来等が含まれる

2) 常盤地区

(1) 2022年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	学生	4	7	6	2	9	0	4	5	6	6	1	2	52
	職員	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	3	7
外科	学生	0	0	4	3	3	0	1	1	1	1	0	0	14
	職員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
整形外科	学生	0	2	1	2	1	0	1	0	0	0	4	3	14
	職員	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4
皮ふ科	学生	0	4	4	3	0	0	0	1	1	0	0	0	13
	職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	学生	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	学生	2	3	5	1	1	0	2	2	3	1	0	0	20
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
歯科	学生	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	5
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	学生	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1	5
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	学生	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	学生	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
計	学生	7	18	20	14	16	0	8	11	11	12	6	6	129
	職員	0	1	0	2	3	2	1	0	2	3	0	4	18

(2) 2023年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	学生	8	3	1	3	1	1	10	4	8	1	1	1	42
	職員	0	1	1	2	0	1	1	0	0	1	0	1	8
外科	学生	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	1	0	6
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	学生	1	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	6
	職員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
皮ふ科	学生	1	3	2	0	0	0	0	0	2	3	0	0	11
	職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
眼科	学生	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	学生	0	1	0	4	0	0	0	0	3	1	0	0	9
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	学生	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	学生	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	学生	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	6
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
計	学生	12	11	8	8	1	3	12	10	18	6	3	1	93
	職員	0	1	1	2	0	2	1	1	0	1	0	2	11

※その他には泌尿器科、脳神経外科、救急外来等が含まれる

3) 小串地区

(1) 2022年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	学生	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	職員	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
外科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	学生	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮ふ科	学生	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	職員	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
眼科	学生	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	学生	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	職員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精神科	学生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	0	0	7
	職員	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
その他	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	学生	10	3	7	0	0	1	0	1	0	6	3	0	31
	職員	2	2	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	11

(2) 2023年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	学生	1	1	3	2	0	0	1	0	2	0	2	0	12
	職員	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
外科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
皮ふ科	学生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
眼科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	学生	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	職員	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	学生	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5
その他	学生	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	職員	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4
計	学生	3	1	5	2	0	0	4	0	2	0	2	0	19
	職員	0	1	0	1	2	3	0	0	0	2	7	0	16

※その他には泌尿器科、脳神経外科、救急外来等が含まれる

保健管理センター月別利用状況内訳

保健管理センター利用状況について年度別・地区別・学生職員別に示した。集計は「相談票」記入者を対象とした。

1) 2022年度

(1) 学生 (山口地区)

2022年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	男			女			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	22	1.28	10	1.34	12	1.23	0	1	0	0	0	0	1	0	0	18	1	1
2. 新生物	1	0.06	0	0.00	1	0.10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	0.17	0	0.00	3	0.31	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	0.06	0	0.00	1	0.10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	986	57.29	371	49.80	615	63.01	79	66	108	102	52	52	96	132	98	70	72	59
6. 神経系の疾患	9	0.52	6	0.81	3	0.31	1	2	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	11	0.64	2	0.27	9	0.92	1	4	2	0	0	0	1	3	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	13	0.76	5	0.67	8	0.82	2	2	1	0	1	2	4	0	0	1	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.06	0	0.00	1	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	22	1.28	10	1.34	12	1.23	1	1	1	1	0	0	1	2	1	10	4	0
11. 消化器系の疾患	22	1.28	7	0.94	15	1.54	1	1	4	4	1	1	2	2	4	1	0	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	36	2.09	20	2.68	16	1.64	4	5	8	5	2	0	3	4	4	1	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14	0.81	5	0.67	9	0.92	2	2	1	0	0	2	0	3	2	1	1	0
14. 尿路器系の疾患	25	1.45	1	0.13	24	2.46	3	3	4	3	2	1	1	5	0	3	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	3	0.17	0	0.00	3	0.31	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	191	11.10	87	11.68	104	10.66	12	18	39	19	8	6	24	22	17	17	6	3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	151	8.77	68	9.13	83	8.50	12	19	24	27	7	2	20	12	8	6	9	5
20. 傷病の外因 (再掲)	151	8.77	68	9.13	83	8.50	12	19	24	27	7	2	20	12	8	6	9	5
交通事故 (自転車も含む)	15	0.87	6	0.81	9	0.92	3	1	0	3	0	0	0	0	4	1	3	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	123	7.15	56	7.52	67	6.86	7	17	22	21	4	2	20	12	4	4	5	5
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	13	0.76	6	0.81	7	0.72	2	1	2	3	3	0	0	0	0	1	1	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	210	12.20	153	20.54	57	5.84	21	8	25	12	8	7	23	42	22	22	14	6
計	1721	100.00	745	100.00	976	100.00	139	133	220	173	82	73	180	230	157	151	108	75

(2) 職員 (山口地区)

2022年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	男			女			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%	実 数	%												
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	74	35.92	24	24.74	50	45.87	6	10	6	8	12	3	3	8	3	4	5	6
6. 神経系の疾患	8	3.88	0	0.00	8	7.34	2	1	0	0	2	0	1	1	0	1	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	2	0.97	2	2.06	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	1	0.49	1	1.03	0	0.00	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	1	0.49	0	0.00	1	0.92	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 消化器系の疾患	1	0.49	1	1.03	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	1	0.49	0	0.00	1	0.92	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	3	1.46	2	2.06	1	0.92	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0
14. 尿路器系の疾患	1	0.49	1	1.03	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	1	0.49	0	0.00	1	0.92	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	20	9.71	6	6.19	14	12.84	0	1	2	1	3	6	1	0	3	1	1	1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	42	20.39	25	25.77	17	15.60	2	3	11	3	6	3	4	5	3	0	0	2
20. 傷病の外因 (再掲)	42	20.39	25	25.77	17	15.60	2	3	11	3	6	3	4	5	3	0	0	2
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	41	19.90	24	24.74	17	15.60	2	3	10	3	6	3	4	5	3	0	0	2
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0.49	1	1.03	0	0.00	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	51	24.76	35	36.08	16	14.68	4	1	1	0	3	7	3	8	3	4	5	12
計	206	100.00	97	100.00	109	100.00	14	18	21	12	26	20	12	26	14	11	11	21

2022年度も、新型コロナウイルス感染症対策のため窓口での相談件数は減少傾向にあるが、体調不良(発熱等)に関する電話・メール相談に対応した。また、新型コロナウイルス感染症に関連した健康観察対応は3766件であった(2022年12月末まで対応)。2022年12月28日以降は感染症報告フォーム・濃厚接触者報告フォームを用いて状況把握や確認を行った。2023年4月2日までに、感染症報告フォームから789件、濃厚接触者報告フォームから381件の報告があった。

(3) 学生 (常盤地区)

2022年度 (常盤地区)

	総 数						月 別											
	男		女															
	実 数	%	実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1. 感染症及び寄生虫症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5. 精神及び行動の障害	131	21.37	110	23.35	21	14.79	6	23	19	17	1	13	12	6	9	8	12	5
6. 神経系の疾患	2	0.33	2	0.42	0	0.00	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	2	0.33	2	0.42	0	0.00	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	10	1.63	6	1.27	4	2.82	0	2	0	1	0	0	1	0	0	5	0	1
11. 消化器系の疾患	10	1.63	8	1.70	2	1.41	1	0	3	0	0	0	2	0	2	0	1	1
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	7	1.14	6	1.27	1	0.70	0	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7	1.14	7	1.49	0	0.00	2	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	5	0.82	0	0.00	5	3.52	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	19	3.10	15	3.18	4	2.82	1	0	3	1	0	1	3	3	2	3	1	1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	86	14.03	59	12.53	27	19.01	13	12	7	19	4	2	3	8	4	2	1	11
20. 傷病の外因 (再掲)	86	14.03	59	12.53	27	19.01	13	12	7	19	4	2	3	8	4	2	1	11
交通事故 (自転車も含む)	1	0.16	0	0.00	1	0.70	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	80	13.05	54	11.46	26	18.31	13	12	6	18	4	2	3	4	4	2	1	11
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	0.82	5	1.06	0	0.00	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	334	54.49	256	54.35	78	54.93	37	39	30	51	27	15	12	32	40	42	7	2
計	613	100.00	471	100.00	142	100.00	62	79	67	90	32	31	34	51	61	62	22	22

(4) 職員 (常盤地区)

2022年度 (常盤地区)

	総 数						月 別											
	男		女															
	実 数	%	実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1. 感染症及び寄生虫症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	14	10.29	4	5.06	10	17.54	1	0	1	1	0	1	3	2	0	1	1	3
6. 神経系の疾患	3	2.21	1	1.27	2	3.51	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
7. 眼及び付属器の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	12	8.82	7	8.86	5	8.77	1	1	1	0	1	1	0	2	0	4	1	0
11. 消化器系の疾患	3	2.21	1	1.27	2	3.51	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	2	1.47	0	0.00	2	3.51	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4	2.94	1	1.27	3	5.26	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
14. 泌尿器系の疾患	2	1.47	0	0.00	2	3.51	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	8	5.88	2	2.53	6	10.53	0	0	0	1	2	2	0	0	2	1	0	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	21	15.44	17	21.52	4	7.02	0	1	1	1	2	1	3	2	1	2	0	7
20. 傷病の外因 (再掲)	21	15.44	17	21.52	4	7.02	0	1	1	1	2	1	3	2	1	2	0	7
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	20	14.71	16	20.25	4	7.02	0	1	1	1	2	1	3	1	1	2	0	7
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0.74	1	1.27	0	0.00	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	67	49.26	46	58.23	21	36.84	4	3	4	7	6	5	8	4	10	11	3	2
計	136	100.00	79	100.00	57	100.00	7	5	10	11	14	12	14	11	13	20	6	13

(5) 学生 (小串地区)

2022年度 (小串地区)

	総 数						月 別												
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	実 数	%	実 数	%	実 数	%													
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	208	46.02	6	5.88	202	57.71	9	5	7	8	6	25	26	29	31	29	24	9	9
6. 神経系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	1	0.22	1	0.98	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	4	0.88	3	2.94	1	0.29	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	1	0.22	1	0.98	0	0.00	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 消化器系の疾患	1	0.22	1	0.98	0	0.00	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	4	0.88	1	0.98	3	0.86	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	1.11	2	1.96	3	0.86	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
14. 泌尿器系の疾患	5	1.11	0	0.00	5	1.43	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	42	9.29	10	9.80	32	9.14	6	5	2	11	0	4	4	3	2	3	2	0	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	35	7.74	18	17.65	17	4.86	3	8	4	4	5	1	4	2	0	1	2	1	1
20. 傷病の外因 (再掲)	35	7.74	18	17.65	17	4.86	3	8	4	4	5	1	4	2	0	1	2	1	1
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	14	3.10	6	5.88	8	2.29	0	0	0	2	5	1	3	1	0	1	1	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	21	4.65	12	11.76	9	2.57	3	8	4	2	0	1	1	0	0	1	1	1	1
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	146	32.30	59	57.84	87	24.86	21	13	22	11	12	3	15	11	16	8	11	3	3
計	452	100.00	102	100.00	350	100.00	45	36	37	35	24	34	49	45	50	42	41	14	14

(6) 職員 (小串地区)

2022年度 (小串地区)

	総 数						月 別												
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	実 数	%	実 数	%	実 数	%													
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	85	38.64	63	59.43	22	19.30	19	17	20	11	4	4	1	2	4	1	1	1	1
6. 神経系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	1	0.45	1	0.94	0	0.00	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 消化器系の疾患	1	0.45	0	0.00	1	0.88	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	2	0.91	2	1.89	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	2.27	3	2.83	2	1.75	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	4	1.82	0	0.00	4	3.51	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	12	5.45	4	3.77	8	7.02	2	1	2	0	1	0	3	1	1	1	0	0	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	6	2.73	2	1.89	4	3.51	1	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
20. 傷病の外因 (再掲)	6	2.73	2	1.89	4	3.51	1	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	4	1.82	1	0.94	3	2.63	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0.91	1	0.94	1	0.88	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	104	47.27	31	29.25	73	64.04	9	9	11	9	9	7	7	12	11	6	7	7	7
計	220	100.00	106	100.00	114	100.00	33	27	34	24	16	13	12	15	18	10	10	8	8

保健管理センター月別利用状況内訳

保健管理センター利用状況について年度別・地区別・学生職員別に示した。集計は「相談票」記入者を対象とした。

2) 2023年度

(1) 学生 (山口地区)

2023年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	男		女		実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%														
1. 感染症及び寄生中症	2	0.11	1	0.13	1	0.09	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1	0.05	1	0.13	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	1086	58.42	446	57.85	640	58.82	75	76	114	120	66	88	116	105	79	92	97	58
6. 神経系の疾患	11	0.59	7	0.91	4	0.37	0	0	0	2	0	0	1	5	2	1	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	14	0.75	6	0.78	8	0.74	2	2	3	2	0	1	1	2	0	1	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	5	0.27	2	0.26	3	0.28	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0
9. 循環器系の疾患	8	0.43	2	0.26	6	0.55	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
10. 呼吸器系の疾患	51	2.74	29	3.76	22	2.02	8	2	12	6	3	1	6	4	6	2	1	0
11. 消化器系の疾患	18	0.97	3	0.39	15	1.38	5	1	0	0	0	0	1	4	1	3	3	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	21	1.13	11	1.43	10	0.92	1	6	3	2	1	1	3	1	2	0	1	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6	0.32	3	0.39	3	0.28	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0
14. 尿路器系の疾患	18	0.97	0	0.00	18	1.65	0	8	3	2	0	0	0	0	2	2	1	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	191	10.27	72	9.34	119	10.94	5	21	27	30	10	3	27	24	18	15	6	5
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	148	7.96	73	9.47	75	6.89	13	24	34	14	1	3	13	17	8	13	4	4
20. 傷病の外因 (再掲)	148	7.96	73	9.47	75	6.89	13	24	34	14	1	3	13	17	8	13	4	4
交通事故 (自転車も含む)	4	0.22	3	0.39	1	0.09	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	132	7.10	66	8.56	66	6.07	10	22	33	12	0	2	13	16	7	10	3	4
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	12	0.65	4	0.52	8	0.74	3	2	1	1	1	0	0	1	0	2	1	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	279	15.01	115	14.92	164	15.07	26	31	47	35	10	11	35	35	23	11	9	6
計	1859	100.00	771	100.00	1088	100.00	139	174	245	213	92	110	205	200	142	140	126	73

(2) 職員 (山口地区)

2023年度 (山口地区)

	総 数						月 別											
	男		女		実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	実 数	%	実 数	%														
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	20	12.99	9	11.11	11	15.07	2	4	3	0	1	0	1	0	1	2	5	1
6. 神経系の疾患	2	1.30	0	0.00	2	2.74	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
7. 眼及び付属器の疾患	7	4.55	4	4.94	3	4.11	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1
8. 耳及び乳様突起の疾患	1	0.65	1	1.23	0	0.00	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	2	1.30	2	2.47	0	0.00	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	11	7.14	5	6.17	6	8.22	1	1	0	0	0	0	1	3	1	2	1	1
11. 消化器系の疾患	1	0.65	1	1.23	0	0.00	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	2	1.30	1	1.23	1	1.37	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	1.30	2	2.47	0	0.00	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
14. 尿路器系の疾患	2	1.30	1	1.23	1	1.37	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	24	15.58	7	8.64	17	23.29	1	4	2	1	0	2	2	2	2	0	5	3
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	33	21.43	19	23.46	14	19.18	3	4	0	1	7	2	6	1	1	2	3	3
20. 傷病の外因 (再掲)	33	21.43	19	23.46	14	19.18	3	4	0	1	7	2	6	1	1	2	3	3
交通事故 (自転車も含む)	1	0.65	0	0.00	1	1.37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	28	18.18	17	20.99	11	15.07	2	4	0	1	4	2	6	1	1	1	3	3
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	2.60	2	2.47	2	2.74	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	47	30.52	29	35.80	18	24.66	2	2	6	2	3	3	6	3	4	5	7	4
計	154	100.00	81	100.00	73	100.00	10	15	13	7	15	9	18	10	9	11	24	13

(3) 学生 (常盤地区)

2023年度 (常盤地区)

	総 数						月 別										
	男		女														
	実 数	%	実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 感染症及び寄生虫症	4	1.09	4	1.49	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	109	29.62	72	26.77	37	37.37	8	16	19	11	5	6	9	19	5	4	4
6. 神経系の疾患	3	0.82	3	1.12	0	0.00	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	3	0.82	2	0.74	1	1.01	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8. 耳及び乳様突起の疾患	2	0.54	2	0.74	0	0.00	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	31	8.42	26	9.67	5	5.05	0	3	1	3	0	2	5	4	9	3	0
11. 消化器系の疾患	5	1.36	3	1.12	2	2.02	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	5	1.36	3	1.12	2	2.02	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7	1.90	5	1.86	2	2.02	2	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	3	0.82	0	0.00	3	3.03	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	34	9.24	24	8.92	10	10.10	3	2	6	2	1	0	6	2	7	3	2
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	73	19.84	63	23.42	10	10.10	13	7	13	7	5	4	7	11	1	1	2
20. 傷病の外因 (再掲)	66	17.93	56	20.82	10	10.10	13	6	13	5	5	4	6	9	1	1	2
交通事故 (自転車も含む)	1	0.27	1	0.37	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	63	17.12	53	19.70	10	10.10	13	6	13	5	5	3	6	9	1	1	1
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0.54	2	0.74	0	0.00	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	89	24.18	62	23.05	27	27.27	13	13	20	14	2	2	3	6	5	4	1
計	368	100.00	269	100.00	99	100.00	41	49	60	42	13	14	32	43	32	18	10

(4) 職員 (常盤地区)

2023年度 (常盤地区)

	総 数						月 別										
	男		女														
	実 数	%	実 数	%	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 感染症及び寄生虫症	2	1.57	1	1.69	1	1.47	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	36	28.35	18	30.51	18	26.47	1	1	6	3	5	0	8	4	7	0	1
6. 神経系の疾患	3	2.36	1	1.69	2	2.94	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	2	1.57	2	3.39	0	0.00	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
10. 呼吸器系の疾患	13	10.24	8	13.56	5	7.35	0	0	1	2	0	3	2	3	1	1	0
11. 消化器系の疾患	5	3.94	1	1.69	4	5.88	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	4	3.15	3	5.08	1	1.47	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6	4.72	2	3.39	4	5.88	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	1
14. 泌尿器系の疾患	2	1.57	0	0.00	2	2.94	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	7	5.51	1	1.69	6	8.82	0	0	1	0	0	3	0	0	1	1	1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	7	5.51	2	3.39	5	7.35	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0	0
20. 傷病の外因 (再掲)	7	5.51	2	3.39	5	7.35	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0	0
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がいない場合は該当せず)	7	5.51	2	3.39	5	7.35	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	40	31.50	20	33.90	20	29.41	0	1	7	3	3	11	2	1	0	4	2
計	127	100.00	59	100.00	68	100.00	2	7	20	9	10	18	15	10	11	7	9

(5) 学生 (小串地区)

2023年度 (小串地区)

	総 数						月 別												
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	実 数	%	実 数	%	実 数	%													
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	32	12.50	6	10.17	26	13.20	4	3	0	0	2	2	0	12	3	2	4	0	0
6. 神経系の疾患	1	0.39	0	0.00	1	0.51	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	1	0.39	0	0.00	1	0.51	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	2	0.78	0	0.00	2	1.02	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 消化器系の疾患	5	1.95	5	8.47	0	0.00	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	2	0.78	0	0.00	2	1.02	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	0.78	2	3.39	0	0.00	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	11	4.30	0	0.00	11	5.58	3	0	2	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	33	12.89	6	10.17	27	13.71	2	7	9	3	0	2	6	3	1	0	0	0	0
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	27	10.55	10	16.95	17	8.63	3	6	2	0	0	3	1	3	3	1	5	0	0
20. 傷病の外因 (再掲)	27	10.55	10	16.95	17	8.63	3	6	2	0	0	3	1	3	3	1	5	0	0
交通事故 (自転車も含む)	2	0.78	0	0.00	2	1.02	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	8	3.13	3	5.08	5	2.54	0	1	1	0	0	0	0	3	2	0	1	0	0
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	17	6.64	7	11.86	10	5.08	3	5	1	0	0	3	1	0	0	0	4	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	140	54.69	30	50.85	110	55.84	10	14	19	6	13	14	10	16	11	10	12	5	5
計	256	100.00	59	100.00	197	100.00	22	32	34	19	16	22	18	35	18	14	21	5	5

(6) 職員 (小串地区)

2023年度 (小串地区)

	総 数						月 別												
	総 数		男		女		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	実 数	%	実 数	%	実 数	%													
1. 感染症及び寄生中症	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 新生物	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. 精神及び行動の障害	37	14.12	2	3.28	35	17.41	1	1	3	0	4	2	5	5	5	4	3	4	4
6. 神経系の疾患	1	0.38	0	0.00	1	0.50	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 眼及び付属器の疾患	1	0.38	0	0.00	1	0.50	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 耳及び乳様突起の疾患	1	0.38	0	0.00	1	0.50	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9. 循環器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10. 呼吸器系の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11. 消化器系の疾患	1	0.38	0	0.00	1	0.50	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	1.91	2	3.28	3	1.49	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
14. 泌尿器系の疾患	2	0.76	0	0.00	2	1.00	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
15. 妊娠、分娩及び産褥	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16. 周産期に発生した病態	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	14	5.34	8	13.11	6	2.99	0	1	2	0	3	2	0	1	0	1	3	1	1
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	11	4.20	2	3.28	9	4.48	0	1	0	1	2	0	2	1	1	0	2	1	1
20. 傷病の外因 (再掲)	11	4.20	2	3.28	9	4.48	0	1	0	1	2	0	2	1	1	0	2	1	1
交通事故 (自転車も含む)	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不慮の事故 (ボールや人など相手がない場合は該当せず)	7	2.67	0	0.00	7	3.48	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	2	1	1
自殺未遂	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	1.53	2	3.28	2	1.00	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	189	72.14	47	77.05	142	70.65	4	4	6	19	18	23	20	22	11	28	23	11	11
計	262	100.00	61	100.00	201	100.00	5	9	14	22	27	28	29	29	18	33	31	17	17

3) 2022年度・2023年度(全地区)

(1) 学生

	学					生				
	2022年度					2023年度				
	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%
1. 感染症及び寄生中症	22	0	0	22	0.79	2	4	0	6	0.24
2. 新生物	1	0	0	1	0.04	0	0	0	0	0.00
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3	0	0	3	0.11	1	0	0	1	0.04
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	0	0	1	0.04	0	0	0	0	0.00
5. 精神及び行動の障害	986	131	208	1325	47.56	1086	109	32	1227	49.42
6. 神経系の疾患	9	2	0	11	0.39	11	3	1	15	0.60
7. 眼及び附属器の疾患	11	0	1	12	0.43	14	3	1	18	0.72
8. 耳及び乳様突起の疾患	13	2	0	15	0.54	5	2	2	9	0.36
9. 循環器系の疾患	1	0	4	5	0.18	8	0	0	8	0.32
10. 呼吸器系の疾患	22	10	1	33	1.18	51	31	0	82	3.30
11. 消化器系の疾患	22	10	1	33	1.18	18	5	5	28	1.13
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	36	7	4	47	1.69	21	5	2	28	1.13
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	14	7	5	26	0.93	6	7	2	15	0.60
14. 尿路性器系の疾患	25	5	5	35	1.26	18	3	11	32	1.29
15. 妊娠、分娩及び産褥	3	0	0	3	0.11	0	0	0	0	0.00
16. 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	191	19	42	252	9.05	191	34	33	258	10.39
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	151	86	35	272	9.76	148	73	27	248	9.99
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	210	334	146	690	24.77	279	89	140	508	20.46
計	1721	613	452	2786	100.00	1859	368	256	2483	100.00

21.のうち、精神科医師による健康相談、カウンセリングは5.に計上

(2) 職員

	職					員				
	2022年度					2023年度				
	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%	吉田実数	常盤実数	小串実数	全体実数	全体%
1. 感染症及び寄生中症	0	0	0	0	0.00	0	2	0	2	0.37
2. 新生物	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
3. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
4. 内分泌、栄養及び代謝疾患	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
5. 精神及び行動の障害	74	14	85	173	30.78	20	36	37	93	17.13
6. 神経系の疾患	8	3	0	11	1.96	2	3	1	6	1.10
7. 眼及び附属器の疾患	2	0	0	2	0.36	7	0	1	8	1.47
8. 耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0.00	1	0	1	2	0.37
9. 循環器系の疾患	1	0	0	1	0.18	2	2	0	4	0.74
10. 呼吸器系の疾患	1	12	1	14	2.49	11	13	0	24	4.42
11. 消化器系の疾患	1	3	1	5	0.89	1	5	1	7	1.29
12. 皮膚及び皮下組織の疾患	1	2	2	5	0.89	2	4	0	6	1.10
13. 筋骨格系及び結合組織の疾患	3	4	5	12	2.14	2	6	5	13	2.39
14. 尿路性器系の疾患	1	2	4	7	1.25	2	2	2	6	1.10
15. 妊娠、分娩及び産褥	1	0	0	1	0.18	0	0	0	0	0.00
16. 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
17. 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0.00
18. 症状、徴候及び異常臨床所見で他に分類されないもの	20	8	12	40	7.12	24	7	14	45	8.29
19. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	42	21	6	69	12.28	33	7	11	51	9.39
21. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	51	67	104	222	39.50	47	40	189	276	50.83
計	206	136	220	562	100.00	154	127	262	543	100.00

21.のうち、精神科医師による健康相談、カウンセリングは5.に計上

3. 健康診断証明書発行状況

健康診断証明書は発行年度の学生定期健康診断の所定の項目をすべて受診していることが条件である。受付・発行は各地区保健管理センターにて行っている。職員については定期健康診断結果再発行は人事課安全衛生対策室で行い、健康診断証明書は保健管理センターにて発行している。

1) 2022年度 ※4月は主に奨学金、教育実習用

(1) 学部別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 文	12	72	36	18	8	20	4	2	2	3	4	27	208
教 育	1	45	45	44	27	21	14	6	3	0	3	8	217
経 済	2	74	48	23	16	9	3	9	11	6	9	23	233
理	5	71	15	7	5	6	6	2	1	2	16	16	152
医	0	17	63	33	12	3	3	3	0	0	33	15	182
工	0	19	18	13	4	5	4	5	2	2	14	14	100
農	1	18	14	8	0	2	2	0	0	0	4	10	59
共同獣医	0	6	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	10
国際総合科学部	0	26	21	2	0	5	11	1	0	2	2	10	80
人文科学研究科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
教育学研究科	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
経済学研究科	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	5
東アジア研究科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
創成科学研究科	1	94	42	27	13	12	11	9	14	35	56	57	371
医学系研究科	0	0	2	3	2	0	1	1	1	1	1	0	12
共同獣医学研究科	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
鳥取大学連合農学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
技術経営研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	22	444	308	179	88	83	61	41	37	53	143	181	1640

(2) 目的発行別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就職用	1	287	245	127	54	58	48	30	32	52	141	171	1246
奨学金用	0	6	0	0	0	0	0	0	4	0	1	3	14
進学用	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
アルバイト用	0	10	11	8	0	0	2	5	0	0	0	4	40
教育実習用	21	138	42	43	34	24	11	4	0	0	1	2	320
その他	0	2	6	1	0	1	0	2	1	1	0	0	14
計	22	444	308	179	88	83	61	41	37	53	143	181	1640

上記自動発行以外に学部医療機関受診分の結果発行および進学・就職等所定用紙での発行（医学部抗体検査結果証明書含む）は181件、職員は54件であった。

2) 2023年度 ※4月は主に奨学金、教育実習用

(1) 学部別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 文	11	48	16	17	10	7	2	2	1	2	7	13	136
教 育	0	40	35	32	34	15	29	8	1	0	3	2	199
経 済	0	68	46	20	2	12	1	10	5	7	12	33	216
理	15	78	8	1	2	6	6	1	2	0	4	10	133
医	0	15	62	52	7	1	2	4	3	2	12	26	186
工	0	15	17	9	3	8	8	5	3	0	6	24	98
農	1	13	4	4	4	7	3	0	0	7	0	6	49
共同獣医	0	6	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	10
国際総合科学部	0	33	11	4	5	6	3	0	1	1	1	20	85
人文科学研究科	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4
教育学研究科	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
経済学研究科	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
東アジア研究科	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	4
創成科学研究科	0	52	40	14	4	14	13	13	33	14	28	49	274
医学系研究科	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	4
共同獣医学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取大学連合農学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技術経営研究科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
計	27	371	242	164	72	77	67	47	52	33	73	185	1410

(2) 目的発行別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就職用	0	236	190	119	30	56	32	34	41	27	71	182	1018
奨学金用	0	4	1	1	0	0	0	3	8	1	1	1	20
進学用	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
アルバイト用	0	6	10	5	4	3	6	2	2	2	1	1	42
教育実習用	27	121	39	34	34	18	28	6	0	1	0	1	309
その他	0	3	2	5	4	0	1	2	1	2	0	0	20
計	27	371	242	164	72	77	67	47	52	33	73	185	1410

上記自動発行以外に学部医療機関受診分の結果発行および進学・就職等所定用紙での発行（医学部抗体検査結果証明書含む）は124件、職員は48件であった。

4. カウンセリング相談件数(山口地区)

保健管理センターの臨床心理士・公認心理師による、2022年度・2023年度における学部・対象別の新規相談件数および相談内容別の対応件数について集計した。

1) 2022年度

①学部別・対象者別の相談件数(新規のみ)

2022年4月1日～2023年3月31日

学部	対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計		
		計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計			
人文	学部生	3						1	4	4	1	1	1	15		
	大学院生													0		
	留学生	3	0	0	0	0	0	1	4	4	1	1	1	0		
	教職員 その他													0		
教育	学部生		1	1			1	2	2	2				9		
	大学院生													0		
	留学生	0	1	1	0	0	1	2	2	2	0	0	0	9		
	教職員 その他													0		
経済	学部生	2		1			1	2	3	2	1		2	14		
	大学院生													0		
	留学生	2	0	1	0	0	1	2	3	2	1	0	2	14		
	教職員 その他													0		
理	学部生			2				1	2	3	1	1	1	10		
	大学院生							1						2		
	留学生	0	0	2	0	0	0	2	2	3	1	1	1	12		
	教職員 その他													0		
医	学部生		1	1				1			1			4		
	大学院生													0		
	留学生	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4		
	教職員 その他													0		
工	学部生								3	5				8		
	大学院生													0		
	留学生	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	0	8		
	教職員 その他													0		
農	学部生			1			1			1			2	5		
	大学院生				1							1		2		
	留学生	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	2	7		
	教職員 その他													0		
共同獣医	学部生													0		
	大学院生													0		
	留学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	教職員 その他													0		
国際総合	学部生		1			1			4	1	1			8		
	大学院生													0		
	留学生	0	1	0	0	1	0	0	4	1	1	0	0	8		
	教職員 その他													0		
学部以外	教職員	0	1	1	0	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0	6
計	学部生	5	3	6	0	1	3	7	18	18	4	2	6	73		
	大学院生	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4			
	留学生	0	4	6	3	2	0	3	8	18	6	3	6	4		
	教職員	0	1	0	2	1	0	0	0	1	1	0	6			
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

②相談内容別の対応件数(新規+継続)

2022年4月1日～2023年3月31日

相談内容	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計	
		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		
対人関係	友人関係	1		6		12		9		5		2		9		13		13		4		4		1		79
	研究室内の関係	1				2					2		1		1		1				2				10	
	家族関係		7	1	11	5	22	3	15		8	1	12	2	17	5	21		19		7		10	2	5	19
	学外の人間関係	2		2				1				5		3		1		4		2		3				23
	その他	3		2		3		2		3		2		2		1		1		1		1		2		23
修学	単位修得	2				2									4		1		1		3				13	
	授業関連	1									2														3	
	卒業・修了論文	1	9		8	1	15	4	13		8		10	5	13	6	18	4	12	2	8		10		7	23
	学生生活全般	5		8		9		8		7		8		8		7		7		5		5		6		83
	その他					3		1		1						1						2		1		9
進路・就職	転部・転科																						1		1	
	進路	2				3					5		1		1								1		13	
	就職	13	15	14	14	14	17	10	10	6	6	4	9	2	3		1		0		0		1	5	7	68
	その他																					1				1
心身問題	心理的問題	16		8		7		10		3		3		16		17		18		19		20		19		156
	精神保健																									0
	健康問題		16		8		7		10		3		3		16		17		18		19		20		19	0
	その他																									0
その他	人権問題																									0
	経済問題										2															2
	その他		0		0		0		0		0		2		1		8		15		2		0		1	2
	UPI・SDS呼び出し												1		1		8		15		2		1		1	27
計		47		41		61		48		25		36		50		65		64		36		41		40	554	

2) 2023年度

①学部別・対象者別の相談件数(新規のみ)

2023年4月1日～2024年3月31日

学部	対象者	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計
		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		
人文	学部生	2		1				3		1		3		2		3		2		2						17
	大学院生																									0
	留学生	2		1		0		3		0		1		3		2		2		5		2		0		2
	教職員																									0
	その他																									0
教育	学部生	1				1						1		2		1		1						1		8
	大学院生					1																				1
	留学生	1		0		2		0		0		1		2		1		1		0		0		1		0
	教職員																									0
	その他																									0
経済	学部生			2		2		1			1		1		2		2		2		1			1		13
	大学院生																									0
	留学生	0		2		2		1		0		1		1		2		2		2		1		0		0
	教職員																									0
	その他																									0
理	学部生	3		1		2		3			1		1		4		2		3		3		1			21
	大学院生	1		1						1								1								4
	留学生	4		2		2		3		1		1		1		4		3		3		1		0		0
	教職員																									0
	その他																									0
医	学部生													1												1
	大学院生																									0
	留学生	0		0		0		0		0		0		0		1		0		0		0		0		0
	教職員																									0
	その他																									0
工	学部生	1						1					1		2		4									9
	大学院生																									0
	留学生	1		0		0		1		0		0		1		2		4		0		0		0		0
	教職員																									0
	その他																									0
農	学部生			1							2		1										1			5
	大学院生																									0
	留学生	0		1		0		0		0		2		1		0		0		0		1		0		0
	教職員																									0
	その他																									0
共同獣医	学部生												1													1
	大学院生																									0
	留学生	0		0		0		0		0		0		1		0		0		0		0		0		0
	教職員																									0
	その他																									0
国際総合	学部生					1		2						1								1				5
	大学院生																									0
	留学生	0		0		1		2		0		0		0		1		0		0		2		0		0
	教職員																						1			1
	その他																									0
学部以外	教職員	0		1		1		0		0		0		0		0		0		0		0		0		1
計	学部生	7		5		6		10		0		6		10		13		12		6		3		2		80
	大学院生	1		1		1		0		1		0		0		0		1		0		0		0		5
	留学生	0		0		7		0		10		0		6		10		13		2		4		0		2
	教職員	0		1		0		0		0		0		0		0		0		0		1		0		2
	その他	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0

②相談内容別の対応件数(新規+継続)

2023年4月1日～2024年3月31日

相談内容		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計		
			計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計		計			
対人関係	友人関係	2		5		10		12		1		3		4		4		4		2		5		3		55	151	
	研究室内の関係	3		2		5		4		2		1		1		1		3		1		1				24		
	家族関係	3	11	6	16	1	21	1	20	3	8	5	13	3	14	4	10	1	8	5	9	3	14	2	7	37		
	学外の人間関係	2		3		5		2		2		4		6		1						4		1		30		
	その他	1						1												1		1		1		5		
修学	単位修得							1				1		2				1						1		6	89	
	授業関連	6		1						2				2								2				13		
	卒業・修了論文		11		7		9		10		4		2		15		10		4		3		7		3	4		
	学生生活全般	5		6		9		9		2		1		11		10		2		4		5		2		66		
	その他																							2		0		
進路・就職	転部・転科	1				1		3														2		2		9	32	
	進路	2		1						1		3				2		2		2						13		
	就職	5	8	2	3	1	2		3		1		3		0		2		2		2		2	1	4	9		
	その他																							1		1		
心身問題	心理的問題	22		24		28		38		16		21		26		25		18		20		22		16		276	283	
	精神保健																									0		
	健康問題		23		26		28		38		16		1	22		26		25		18		22		22		17		1
	その他	1		2																2				1		6		
その他	人権問題																									0	18	
	経済問題																									0		
	その他		0		0		0		0		0		0		0		7		11		0		0		0	0		
	UPI・SDS呼び出し															7		11								18		
計		53		52		60		71		29		40		55		54		43		40		45		31		573		

VI 保健管理センターの業務その他

VI保健管理センターの業務その他

1. 保健管理センターの業務内容

山口大学保健管理センターは、1970年に山口大学の保健管理に関する専門的業務を行う厚生補導施設として設置されて以降、学生及び職員の健康の保持増進を図ることを目的として以下の業務を行っている。

1. 定期及び臨時の健康診断ならびに精神衛生管理
2. 身体及び精神的健康相談
3. 環境衛生及び感染症の予防、蔓延の防止
4. 保健衛生に関する知識の普及
5. 保健管理の実施に関する企画、立案
6. 保健管理に関する調査、研究
7. その他保健管理に関する必要な専門的業務

2. 保健管理センターの関係職員

2023年4月時点

地 区	職種・人数
吉田地区	医師2名、保健師3名、看護師1名、カウンセラー1名 事務職員(学生支援課支援企画係長)1名、事務補佐員1名
小串地区	医師1名、保健師1名、看護師1名
常盤地区	医師1名、保健師1名、看護師1名

非常勤医師26名（主に健康診断の診察を担当）

3. 保健管理センター年間主要行事

	主な健康診断及び行事		主な健康診断及び行事
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式救護 ・雇用時職員健康診断 ・学生健康診断(在学生・新入生:吉田地区) ・学生健康診断(常盤地区) ・(臨時)電離放射線健康診断(小串地区) ※学生定期健康診断再検査 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季入学生等健康診断(吉田・常盤地区) ・(臨時)電離放射線健康診断(小串地区) ※学生定期健康診断再検査 ※健康調査に基づく新入生呼出
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学生定期健康診断(小串地区) ・学生定期健康診断(吉田地区追加日程) ※学生定期健康診断再検査 ※健康診断証明書発行開始 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県立大学看護学部実習受入 ※健康調査に基づく新入生呼出
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・学生定期健康診断(小串地区追加日程) ※学生定期健康診断再検査 ※第1回電離放射線健康診断(問診票判定) 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ※第1回電離放射線健康診断(問診票判定) ※健康調査に基づく新入生呼出
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回電離放射線健康診断(各地区) ・第1回特殊健康診断(各地区) ・職員定期健康診断・第1回特定業務健康診断(吉田地区・附属学校) 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医師免許申請のための健康診断 ・大学入学共通テスト救護 ・第2回電離放射線健康診断(各地区) ・第2回特殊健康診断(各地区) ・第2回特定業務健康診断(吉田・常盤地区)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員定期健康診断・第1回特定業務健康診断(常盤地区) ・オープンキャンパス救護 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学力検査(前期)救護
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員定期健康診断・第1回特定業務健康診断(小串地区) ・総合型選抜試験救護 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回特定業務健康診断(小串地区) ・個別学力検査(後期)救護 ・卒業式救護
定例	<ul style="list-style-type: none"> ・保健管理センター会議(毎月) ・相談部門連絡会 ・保健管理センター便り発行(年5回) ・感染症対策(健康観察等) 	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・学生特別健康診断(実習・課外活動等) ・各種講習会(救急処置・食中毒予防等) ・各種イベント(健康の森, ウォーキングチャレンジ等) ・各学部・研究科入試救護, 救急箱貸出

『METASEQUOIA NO.24』執筆・監修分担

- I 学生の健康管理 : 山本直樹、福江宣子、樋口尚子、梅本智子、藤勝綾香、小林久美
II 職員の健康管理 : 山本直樹、福江宣子、永尾優子、梅本智子、森福織江、中原敦子、小林久美
III 山口大学の安全衛生管理 : 森本宏志、永尾優子、森福織江、梅本智子、中原敦子
IV 特別事業報告 : 福江宣子、小林久美
V 保健管理センター利用状況 : 樋口尚子、藤勝綾香、片岡真穂
VI 保健管理センターの業務その他 : 山本直樹、小林久美

健康科学センター専任教職員

(2024年4月に保健管理センターから健康科学センターへ名称変更となる)

職名	氏名	備考
教授(センター長)	山本直樹	内科学
助教	福江宣子	内科学
助教	永尾優子	内科学
助教	樋口尚子	神経精神医学
保健師	森福織江	
保健師	小林久美	
保健師	藤勝綾香	
保健師	梅本智子	常盤
保健師	中原敦子	小串
看護補佐員	吉開聡美	看護師
看護補佐員	住田知子	看護師(常盤)
看護補佐員	山本屋麻里	看護師(小串)
学生支援課支援企画係長	平川理恵	健康科学センター事務担当
事務補佐員	河村章花	
カウンセラー	片岡真穂	臨床心理士(非常勤)

(2025年3月現在)

METASEQUOIA NO.24

2022年度・2023年度

山口大学保健管理センター年報

2025年3月発行

編集・発行 山口大学健康科学センター

住所 〒753-8511 山口市吉田1677-1

TEL 083-933-5160

FAX 083-933-5163

E-mail hoken@yamaguchi-u.ac.jp

URL <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~hoken/>
